

MITSUBISHI

三菱デジタルレコーダー

形名

DX-TL14

取扱説明書



三菱デジタルレコーダー

Digital Recorder

このたびは三菱デジタルレコーダーをお買い上げいただきありがとうございました。

- ・ ご使用になる前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保存し、必要なときにお読みください。
- ・ 保証書は必ず「お買い上げ日」「販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。記録したデータを個人的に楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

デジタルレコーダーを正しく安全にご使用いただくために、ご使用になる前に必ず6～9ページをお読みください。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

はじめに

基本操作

設置

メニュー一覧

運用

記録時間表

故障かな？

用語集・索引

本機の主な特徴

大容量ハードディスクドライブ内蔵デジタルレコーダー

新画像圧縮伸張方式(WAVELET方式)の採用により、水平解像度450本以上の高画質記録と長時間記録を実現しました。画質設定も5段階の中から選択可能です。メインデバイスとして高信頼性・高速動作の大容量160GBのハードディスクを内蔵しました。記録間隔を1秒30コマから8秒1コマ間の12段階から選択可能、最大2440万コマの連続記録が可能です。

9入カマルチプレクサ機能内蔵

運用するカメラ設置台数の増加に対応し、レコーダーとマルチプレクサとを組み合わせでの運用が一般化しています。デジタル記録の特徴である高画質な再生映像の追求と記録運用の合理化を目指し、使い勝手のよいマルチプレクサ機能を内蔵しました。

動き検知機能

接続している個別の9カメラごとに動く物体を検知しアラーム記録を開始します。動きを検出するエリアドット設定、16x12のドットで分割された検出位置、動きを検出する感度、アラーム記録を開始する最低ドット数など、それぞれを任意に個別に設定することが可能です。これにより、カメラに映った移動物体を識別してアラーム記録する監視体制が構築できます。

カメラ切り換えと分割表示機能

スルーアウト端子付き9カメラ非同期入力対応。分割表示機能として、1・4・9分割とシーケンシャル表示機能を搭載しました。

動作状態表示機能

画面下部または、上部に本機の動作状態を表すことが可能です。

多彩な記録機能

通常記録とアラーム記録の設定を完全に分離することで個別に通常記録設定を保持したまま、アラーム信号を入力したカメラのみ記録間隔を変更したり、より細かな設定が可能です。

エマージェンシー記録

エマージェンシー信号を入力するとすべてに優先して、強制的にアラーム記録または通常記録に指定したカメラによって、最大コマ数、最高画質で指定した時間の記録を行います。

タイトル・コメント記録機能

本機は、RS-232C接続したパーソナルコンピュータから入力したキャラクターを、コメントとして映像・音声と共に記録することができます。また、表示タイトルを設定すると、映像とともに記録することができます。他のレコーダーでも表示させることが可能です。

カメラ毎記録間隔設定機能

カメラごとに個別に記録間隔、記録画質の設定が可能です。

タイマー記録

タイマープログラム

通常記録、アラーム記録を行うカメラパターン、記録間隔、記録画質を運用ごとに4種類登録可能です。また、プリアラーム記録、動き検知機能も個別に設定することができます。

タイマー休日指定

年間の休日をあらかじめ設定することが可能です。

縦置き可能な小型シャーシ

幅30cmのコンパクト設計、付属のスタンドを装着すれば縦置きも可能です。

監視を支える多彩な機能

音声記録機能

1チャンネルのPCM 音声記録が可能です。店舗のレジスタ操作音や接客中の会話などを監視映像と共にクリアな音質で記録することが可能です。

映像改変識別機能

本機を用いて記録された映像は、デジタル記録された各映像ごとに独自方式の改変識別用の処理を付加しました。

優れた拡張性

パーソナルコンピュータからのリモート操作を可能にするRS-232Cインターフェースや各種簡易コントロール端子を標準装備しました。高度なセキュリティシステムにも柔軟に対応できます。

プリアラーム記録機能

アラームセンサーが異常を感知する前からの映像が記録できます。

前面出力端子

モニターやVTRを前面部に接続できます。

コンパクトフラッシュスロット

本機前面部にコンパクトフラッシュスロットを装備しました。コンパクトフラッシュカードへの記録、メニュー内容の書き込みや読み込みが可能です。

電子拡大表示機能

現在お使いのカメラで表示中の映像について任意部分の電子拡大表示が可能です。たとえば、現金受渡カウンター付近の拡大表示などが本体操作で可能になります。

同時録再機能

記録運用中に、記録動作をやめずにハードディスクの記録データを再生することができます。

多彩なサーチ機能

本機前面部のサーチボタンを押すとサーチメニューが表示され、すぐに検索動作に移ることができます。繰り返し検索を行うときに便利です。

はじめに お使いになる前に知っておいていただきたい情報です。

安全のために必ずお守りください … 6-9

各部のなまえとはたらき …… 10-13

- 本体前面部 …… 10
- 本体前面部 (ドア内部) …… 11
- 本体後面部 …… 12
- コンパクトフラッシュカードの挿入・排出方法 …… 13

基本操作編 基本的な操作について説明しています。

基本操作 …… 14-20

- マルチプレクサ機能 …… 14
- メニューの設定方法 …… 14-16
 - メニュー画面から通常画面に戻るには …… 15
 - 日付・時刻の合わせかた …… 15-16
 - 時刻表示画面 …… 16
 - 記録済み容量表示機能 …… 16
- 基本的なマニュアル記録のしかた …… 17-18
 - 通常記録のための記録間隔と記録画質を設定する …… 17-18
- 基本的な再生のしかた …… 19
- 基本的なサーチのしかた …… 19-20
 - タイムデートサーチ …… 19-20

設置編 本機と外部接続機器との接続方法を説明しています。

接続のしかた …… 21-22

- CCTV カメラ、モニター
センサーとの接続 …… 21
- アラーム記録の接続方法 …… 21
- 外部記録機器との接続 …… 22
- 本機の縦置き設置方法 …… 22

初期設定 …… 23

- デバイスの初期化 …… 23

メニュー一覧 メニューに関して説明しています。

メニュー画面一覧 …… 24-27

- <設定>メニュー …… 24-26
- <サーチ>メニュー …… 27

運用編 システムとしてお使いになるときの設定のしかたです。

<時刻・画面表示設定> …… 28-29

- 時刻設定 …… 28
- 画面表示形式 …… 28
- 画面表示位置 …… 28
- カメラ表示設定 …… 28
- カメラタイトル・メモ設定 …… 29
- 動作モード表示 …… 29

<マルチプレクサ設定> …… 30-33

- マルチプレクサ機能関連ボタンの
動作/動作表 …… 30-31

- カメラ番号ボタンの動作 …… 30
- 分割/シーケンスボタンの動作 …… 30
- 拡大ボタンの動作 …… 30
- 分割/シーケンスボタン、拡大ボタン、
カメラ番号ボタンの動作表 …… 31
- 4分割表示位置 …… 32
- 9分割表示位置 …… 32
- シーケンス表示 …… 33
- 分割表示画質 …… 33

<動き検知設定> …… 34-36

- 設定カメラ選択 …… 34
- カメラ毎動作設定 …… 34
- 検知エリアドット設定 …… 34-35
- 感度 …… 35
- 記録開始ドット …… 35
- 動作テストモード …… 36

<マニュアル記録設定> …… 37-38

- 通常記録、アラーム記録に関する設定 …… 37
- 通常記録・アラーム記録の記録運用設定 …… 37-38
- アラーム記録時間 …… 38
- プリアラーム記録設定 …… 38

<タイマー記録設定> …… 39-43

- タイマー記録設定 …… 39
- タイマー設定 …… 39
 - <タイマー設定>画面の構成 …… 39-40
- タイマー休日設定 …… 41
- 通常記録・アラーム記録の記録運用設定A~D …… 41
- アラーム記録時間 …… 42
- プリアラーム記録設定 …… 42

<基本設定・情報表示> …… 44-50

- HDD 運用設定 …… 44-45
 - HDD リピート記録 …… 44
 - HDD リピート再生 …… 44
 - 改変確認再生 …… 44
 - カメラ切換再生 …… 45
- 音声記録設定 …… 45
- I/O 端子設定 …… 46-48
 - MODE OUT 1~4 …… 46
 - ボタン音 …… 46
 - ブザー …… 46
 - 残量検出位置 …… 47
 - CALL OUT 設定 …… 47-48
 - HDD 残量発報 …… 47
 - HDD フル …… 48
 - エマージェンシー記録 …… 48
- 通信設定 …… 48-49
 - RS-232C 運用 …… 48
 - RS-232C 設定 …… 48-49
- 情報表示・保守設定 …… 49-50
 - 情報表示(HDD)/情報表示(CFC) …… 49
 - 障害ログリスト …… 49
 - メニュー初期化 …… 50
 - HDD データ消去/CFC データ消去 …… 50

もくじ(つづき)

運用編 (つづき)

<メニュークイック設定>	51
メニュークイック設定	51
本機のメニュー設定を更新するには	51
本機のメニュー設定の内容をコンパクト フラッシュカードに保存するには	51
運用例	52-55
運用例 1	52-53
運用例 2	53-54
運用例 3	54-55
いろいろな記録	56-57
プリアラーム記録	56
エマーゼンシー記録	56
シリーズ記録	56-57
シリーズ記録の設定例	56-57
いろいろな再生	58-59
静止画再生	58
シャトル再生/ダイレクトシャトル再生	58
シャトルホールド	58
コマ送り	58
逆再生	58
高速早送り/早戻し再生	59
再生間隔の変更	59
記録中の同時再生	59
いろいろなサーチ	60-64
<サーチ方式設定>	60
サーチ方式	60
カメラ選択	60
リスト検索時間設定	60
再生デバイス選択	60
<タイムデートサーチ>	60
<記録インデックスサーチ>/ <アラームインデックスサーチ>	61
<スキップサーチ>	62
<アラームリストサーチ>	62-63
開始点サーチ/終了点サーチ	64
コピーのしかた	65-66
HDD からコンパクトフラッシュカードに コピーする/コンパクトフラッシュカードから HDD へリストアする	65
レコーダーからビデオテープにコピーする	66
便利な機能について	67-71
停電補償回路	67
停電復帰記録	67
本機稼働中の停電発生、後面部 MAIN スイッチ OFF 操作時の履歴の記録	67
リセットボタン	67
簡易ロック/パスワードロック	67-69
簡易ロック	67
パスワードロック	68-69

表示カメラ設定	70
アラームディスプレイ	70

パーソナルコンピュータとの接続	72
モデムを介して接続する場合	72
ダイレクト接続する場合	72
RS-232C 端子について	72
RS-232C ケーブル	72

コマンドコード表について	73-74
--------------------	-------

通信設定	73
コマンドコード体系	73
コマンドコード体系の概要	73-74
直接動作指定コマンド形式	73
擬似操作パネルコマンド形式	74
状態遷移通知機能	74
コマンド受取確認通知機能	74

コマンドコード表	75-91
----------------	-------

コマンドコード	75-90
文字コード一覧	91

コメントサーチ	92-93
---------------	-------

コメントサーチ用コマンドコード	92
コメント記録に使用できる文字	92
実施例	93

記録時間表

記録時間表	94-95
-------------	-------

連続記録可能時間表	94
HDD の連続記録可能時間(160GB の場合)	94
コンパクトフラッシュカードの 連続記録可能時間(64MB の場合)	94
プリアラーム記録時間表	95

故障かな?

故障かな? 故障かなと思うとき参考にできます。

「故障かな」と思う前に	96-97
-------------------	-------

警告表示とCALL OUT信号の出力	98
--------------------------	----

用語集・索引

用語集/設定カメラ数・ 記録間隔設定と記録動作の関係	99
-------------------------------------	----

索引	100-101
----------	---------

制御入出力信号と回路について	102
----------------------	-----

EMERGENCY / ALARM IN / REC / CLOCK ADJ 入力端子	102
MODE OUT1 ~ 4 出力端子	102
CALL OUT 出力端子	102

仕様	103
----------	-----

この取扱説明書の読み方

・マークの見かた



(操作上、参考にしてください)

操作上、参考にさせていただきたい情報を記載しています。



(お気をつけください)

操作上、気をつけてさせていただきたい情報を記載しています。



(参照ページをごらんください)

参照項目とページ数を記載しています。

参考

(参考にしてください)

その他、参考にさせていただきたい情報を記載しています。

・見たい項目の探しかた



右ページにインデックスを配置しています。また、取扱説明書の前半部分には「もくじ」が、後半部分には「索引」が記載されています。そのほか本文中にも参照ページが記載されています。

・困ったときは








「故障かな」と思う前に (96、97ページ) を読み適切な処置をお取りください。

安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
--	---

■ 図記号の意味は次のとおりです。

 絶対に行わないでください	 絶対に分解・修理はしないでください	 絶対に触れないでください
 絶対に水にぬらさないでください	 絶対にぬれた手で触れないでください	
 必ず指示に従い、行ってください	 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください	

警告

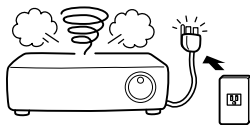
万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

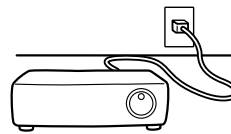
煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!



使用禁止

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。

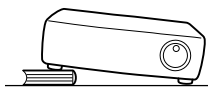
電源プラグを、コンセントからすぐに抜くことができる場所に設置する



電源プラグがすぐ抜ける場所

異常発生時、電源プラグをコンセントからすぐに抜くことができないと、火災の原因となります。

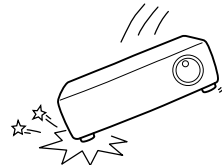
不安定な場所には置かない



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

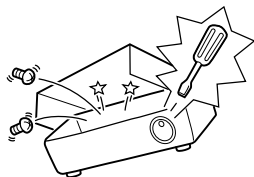
落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない



使用禁止

火災や感電の原因となります。

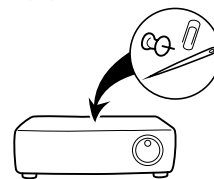
キャビネット(天板)をはずしたり、改造しない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

内部に異物を入れない

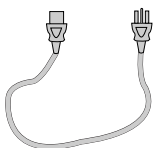


禁止

通風口や排気口から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

警告

付属の電源コードを使用する

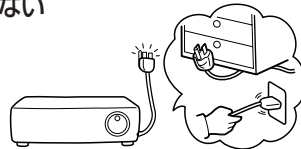


付属の電源コード

これ以外の電源コードを使うと、外部からの耐ノイズ入力性能が低下したり、火災の原因となります。アース端子は安全のための接地アースです。コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください(有料)。電源プラグのアース端子をガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取り付けしないでください。

電源コードを傷つけない

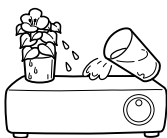
- 重いものをのせない
- 引っ張らない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 加熱しない
- 加工しない
- 束ねない



禁止

コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

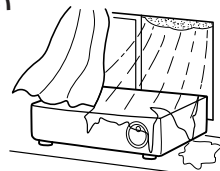
花瓶やコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない



水ぬれ禁止

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

水でぬらさない

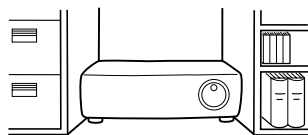


水ぬれ禁止

火災や感電の原因となります。雨天、降雪中、水辺、窓辺での使用は、特にご注意ください。

通風口、排気口をふさがない

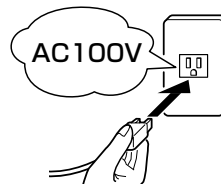
- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない



禁止

通風口、排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

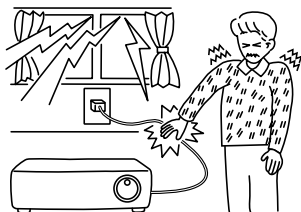
正しい電源電圧(交流100V)で使う、また配線器具の定格電流をこえない



交流100V

交流100V以外の電圧で使用した場合や配線器具の定格電流をこえて使用すると、火災や感電の原因となります。また、たこ足配線はしないでください。

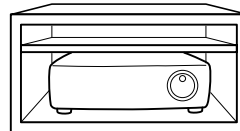
雷が鳴り出したら本体および電源プラグには触れない



接触禁止

感電の原因となります。

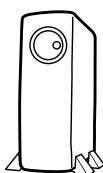
まわりに15cm以上すきまをあける(特に後面)



すきまをあける

内部に熱がこもり、火災の原因となります。放熱をよくするために、他の機器から離して設置してください。

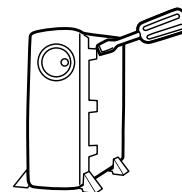
縦置き時は向きに注意し、必ず付属の専用スタンドを使用する、また傾けずに置く



付属のスタンド

専用のスタンドを使用しない場合、吸気孔が塞がれ火災の原因となります。

底面のツメをはずして分解しない



分解禁止

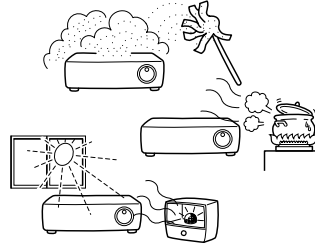
感電の原因となります。

安全のために必ずお守りください(つづき)

⚠ 注意

設置時は、次のような場所には置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 直射日光の当たる場所
- 熱器具の近く
- 閉めきった自動車内など、高温になるところ
- 製氷倉庫など、低温になるところ
- 自動車内など、振動が多いところ
- 温泉地など、硫化水素などのガスが発生するところ
- 海岸近くなど、塩分の多いところ



設置禁止

このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶ける、記録ドライブ等の劣化を早めるなどにより、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。

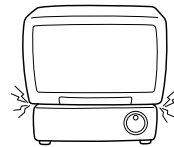
接続したまま本機を移動させない



禁止

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源が入った状態で移動させると内蔵HDDを破損させる恐れがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認し、1分以上たったあとで移動させてください。

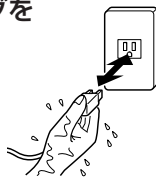
本機の上に重いものを置かない
本機の上にのらない



禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

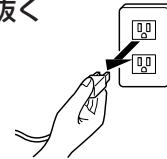
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

電源プラグを持って抜く



プラグを持つ

電源コードを引っ張ると、コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する



ほこりを取る

ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

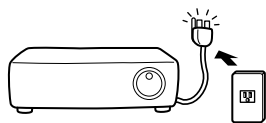
5年に一度は内部の掃除を依頼する



内部掃除

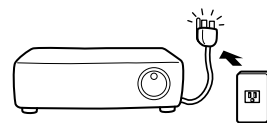
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、販売店にご相談ください。

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく



プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う

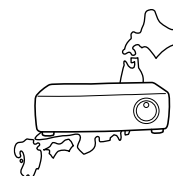


プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

本機は日本国内専用です

放送方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。
This digital recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.



日本専用

使用上のお願い

ハードディスク (HDD)について

- ・本機は、精密機器であるハードディスクを搭載しております。本機取扱いには、十分ご注意ください。
- ・本機に振動や衝撃を与えないでください。特に通電中やハードディスクへのアクセス中は、故障の原因となりますので十分ご注意ください。
- ・記録・再生の動作中または通電中に、電源プラグを抜かないでください。
- ・本機は、記録運用中にハードディスク等に軽微な障害が発生した場合、自動復帰にて記録運用を継続するシステムを搭載しておりますが、故障の早期発見のため、1年ごとに点検を依頼されることをおすすめします。
- ・本体の電源を切ってから少なくとも1分間は移動させないでください。

設置場所と取扱い

- ・初めてご使用になるときは、本機内蔵の停電補償回路を動作させるために、48時間以上連続通電を行って充電してください。
- ・使用電源は、消費電力の大きな機器(コピー機、空調機器など)と同じコンセントからとらないでください。
- ・他の機器とあまり近づけないでください。機器がお互いに悪影響を与える可能性があります。
- ・強い磁気をもっているものを近づけないでください。映像に悪影響を与えたり、記録が損なわれることがあります。
- ・殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- ・ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
- ・この製品は、クラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合、電波妨害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。
- ・デジタルレコーダーのハードディスクと冷却ファンは、駆動部品です。安定した記録を継続するため、ハードディスクや冷却ファンは、3万時間を目安に交換をおすすめします。(ただし、この時間は、あくまでも目安であり、部品を保証するものではありません。<情報表示・保守設定>画面の「運用時間」を、点検の目安にすると便利です。)
- ・許容周囲温度を必ずお守りください。低温でご使用になる場合は、10分以上通電を行ったのち、ご使用ください。

設置場所の移動

- ・移動させるときは、必ずMAINスイッチをOFFにし、完全に停止したのを確認したあと、電源プラグをコンセントから抜いてください。通電中に過度な衝撃が与えられると、機器内部の電子部品やハードディスクをいためることがあります。特に、電源ボタンまたはアクセスインジケータが点滅中は、ご注意ください。
- ・内部に衝撃を与えないように緩衝材などで包んでください。

お手入れ

- ・キャビネットの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
- ・汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよくしぼって汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ・ベンジンやシンナーなどの溶剤は、使わないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

大切な記録の場合

- ・必ず事前に記録を行い、正常に記録されていることを確認してください。
- ・本機を使用中、本体もしくは接続機器等の不具合により、記録されなかったり正常に再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。
- ・万一の故障や事故に備えて、大切な記録の場合は定期的にバックアップをとられることをおすすめします。

著作権について

- ・本機はデジタル方式で記録を行うため、著作権を有する映像などを記録する際には注意が必要です。

動き検知機能について

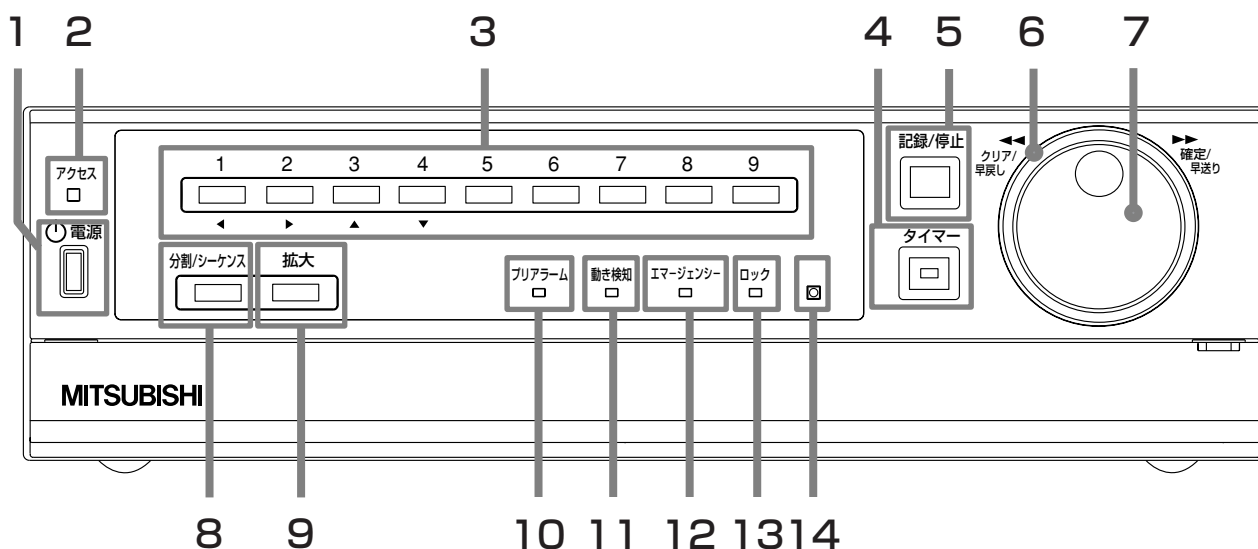
- ・本機に内蔵されている動き検知機能は、入力される映像信号の状態などにより、誤動作する場合があります。本機の検出機能を用いて発報するシステムなどに接続している場合は、誤動作にご注意ください。また、誤動作が問題となる場合は、別のセンサーを取り付けて後面部のアラーム入力端子を使用してください。

記録時間と製品保証について

- ・連続記録可能時間とメニュー画面に表示される見積り時間は、機能動作上の連続記録可能時間であり、製品保証期間ではありません。また、使用部品の動作信頼性を保証する期間でもありません。

各部のなまえとはたらき

■ 本体前面部



1 電源ボタン

後面部のMAINスイッチがONのときに押すと、電源が入り、ボタンが点灯します。もう一度押すと、待機状態となり、消灯します。
起動時など動作の移行中は、ボタンが点滅し、他の動作を受け付けません。

2 アクセスインジケータ

内蔵ハードディスクやコンパクトフラッシュカードにアクセスしているときに点灯します。

3 カメラ番号ボタン (1~9)

押すと、本機に接続されたカメラの映像を画面に表示します。

4 タイマーボタン

押すと、タイマー記録/待機状態になり、ボタンが点灯します。1秒以上押し続けると、タイマー記録/待機状態が解除されボタンが消灯します。

5 記録/停止ボタン

押すと、記録を開始し、ボタンが点灯します。1秒以上押し続けると、記録を停止し、消灯します。
アラーム記録中に1秒以上押し続けると、記録を停止します。タイマー記録動作中は、押ししても記録は停止しません。

6 シャトル

メニュー設定、サーチ設定、再生時のスピード調整、早送り、早戻しなどをするときに使います。

7 ジョグ

メニュー設定、サーチ設定、コマ送り再生などをするときに使います。

8 分割/シーケンスボタン

押すと、マルチプレクサ機能で選択した画面の4分割、9分割、シーケンス表示が切り換わります。

9 拡大ボタン

1画表示中に拡大ボタンを1回押すと1倍に、2回押すと2倍に、3回押すと4倍に拡大表示されます。1画表示では、画面の中心に拡大中心点(X)が表示され、カメラ番号ボタン(1、2、3、4)を押すと拡大中心点を軸に画面を移動できます。

10 プリアラームインジケータ

プリアラーム記録中は点滅し、プリアラーム記録待機中は点灯します。

11 動き検知インジケータ

動き検知機能が動作中に点灯し、動作検出中に点滅します。

12 エマージェンシーインジケータ

エマージェンシー記録中に点滅し、記録が完了すると点灯します。

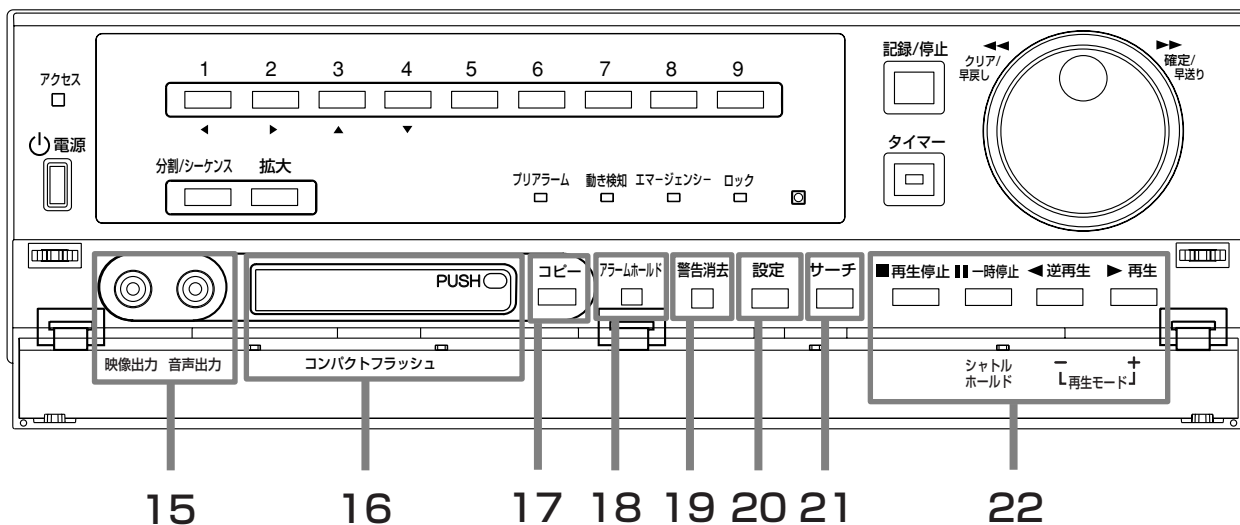
13 ロックインジケータ

簡易ロックまたは、パスワードロック中に点灯します。

14 ロックボタン

本体後面部のMAINスイッチ(主電源)がONのときにボールペンの先などを使って押すと、簡易ロックになります。5秒以上押し続けると、<パスワードロック設定>画面が表示され、パスワードを設定することができます。
ロック中は、インジケータが点灯します。

■ 本体前面部（ドア内部）



15 アナログ出力端子

映像出力端子
RCAピンの映像出力端子です。

音声出力端子
RCAピンの音声出力端子です。

16 コンパクトフラッシュスロット

データ、メニューの保存・読み出しを目的とした、コンパクトフラッシュカードが使用できます。使用しない場合は、レコーダー内部にゴミ、ほこりが入らないよう、コンパクトフラッシュスロットカバーを取り付けてください。

17 コピーボタン

押すと、<コピー>画面が表示されます。コピー動作中は、ボタンが点灯します。コンパクトフラッシュスロットにカードが挿入されていない場合は、コピーはできません。

18 アラームホールドボタン

押すと、アラーム信号および動き検知を5分間受け付けなくなります。受け付けない間は、ボタンが点滅します。

19 警告消去ボタン

押すと、画面上の警告表示を消去し、データクリアの実行などに使用します。

20 設定ボタン

下記の動作設定を行います。

- ・カメラごとの記録運用
- ・アラーム記録運用
- ・マルチプレクサ機能
- ・動き検知機能
- ・タイマープログラム機能
- ・情報表示設定
- ・外部コントロール端子設定
- ・その他、初期設定

21 サーチボタン

下記の動作検索を行います。

- ・タイムデートサーチ
- ・記録インデックスサーチ
- ・アラームインデックスサーチ
- ・スキップサーチ
- ・アラームリストサーチ
- ・開始点サーチ/終了点サーチ

22 操作ボタン

再生停止ボタン

押すと、再生を停止します。

一時停止/シャトルホールドボタン

再生中に押すと、静止画再生になり、ボタンが点灯します。もう一度押すと、再び再生を開始し、消灯します。シャトル再生中に押すと、シャトルから手を離しても任意の再生速度を保持します。

逆再生ボタン

押すと、逆再生を始め、ボタンが点灯します。

再生ボタン

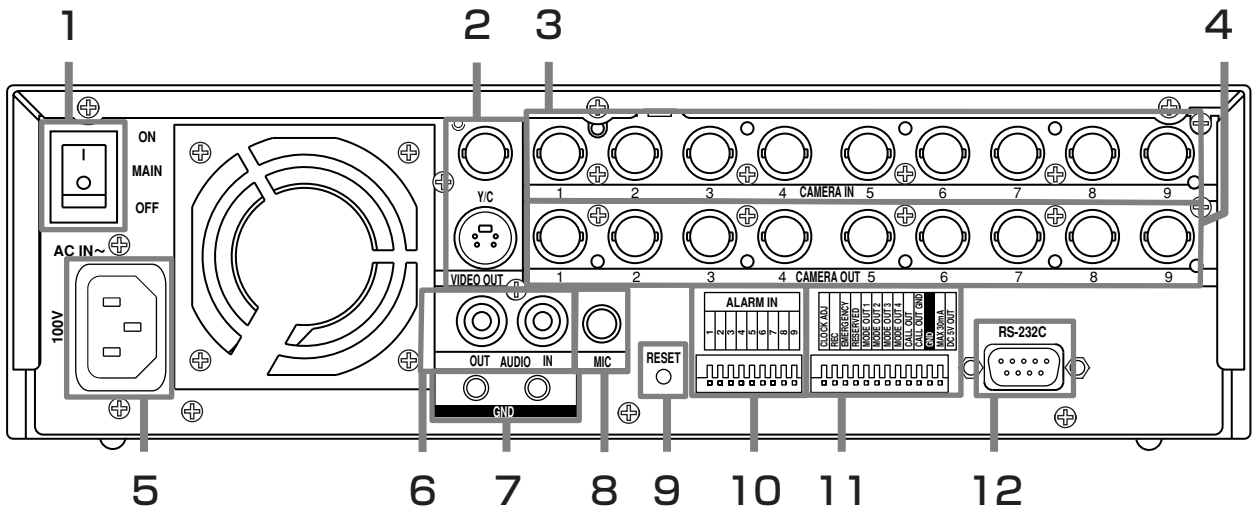
押すと、再生を始め、ボタンが点灯します。

再生モード

再生中または、逆再生中に再生(+)、逆再生(-)のボタンを押すことにより、再生間隔を切り換えることができます。

各部のなまえとはたらき(つづき)

■ 本体後面部



1 MAINスイッチ

主電源スイッチです。本機を使用する場合は、ONにします。ONにしないと、前面部の電源ボタンで電源の入/切ができません。

2 VIDEO端子

VIDEO OUT端子
BNCコネクターのモニター映像出力端子です。

S(Y/C)OUT端子
輝度信号と色信号に分割された映像信号の出力端子で、より高画質な映像表示が可能になります。VIDEO OUTとの同時出力が可能です。

3 CAMERA IN端子

BNCコネクターのカメラ映像入力端子です。

4 CAMERA OUT端子

BNCコネクターのカメラ映像出力端子です。MAINスイッチがONならば、それぞれのCAMERA IN端子に入力されたカメラ映像はスルー出力が可能です。

5 電源コード差込口

付属の電源コードを差し込みます。アース端子は、安全のための接地アースです。本機の電源コードは、必ずアース付きの交流100Vのコンセントに差し込んでください。

❗ コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください(有料)。電源プラグのアース端子を、ガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取り付けしないでください。

❗ 付属品の電源コードをご使用ください。

6 AUDIO端子

AUDIO IN端子
RCAピンの音声入力端子です。

AUDIO OUT端子
RCAピンの音声出力端子です。

7 GND端子

共用のGND端子です。

8 MICジャック

600Ωインピーダンスのマイクロフォン入力端子です。AUDIO IN端子より優先されます。

9 RESETボタン

押すと初期状態となり、電源が切れます。この場合、映像データ、メニュー設定や現在時刻は取り消されずそのまま保持されます。

10 ALARM IN端子

アラーム信号を入力するための端子です。

11 I/O端子

CLOCK ADJ端子
時刻表示の時刻を合わせるための入力端子です。この端子にCLOCK ADJ信号が入力されると、時刻が最も近い正時(00分00秒)に設定/変更されます。

参考 後面部のCLOCK ADJ端子が接地すると、日付・時刻表示が最も近い正時(00分)に設定されます。たとえば、表示時刻が11時29分59秒のときは、11時00分00秒に設定され、11時30分00秒のときは、12時00分00秒に設定されます。

REC端子
記録を開始させるための入力端子です。タイマー記録中には、働きません。

EMERGENCY端子
強制的にエマージェンシー記録モードへ移行させるための入力端子です。

RESERVED端子
使用できません。

MODE OUT端子(1~4)
本機の状態を外部に伝えるための出力端子です。本機の状態の選択は、<I/O端子設定>画面の「MODE OUT 1」~「MODE OUT 4」で設定を行います。

CALL OUT端子・CALL OUT GND端子
本機の障害を外部に知らせるための端子とその専用GND端子です(アイソレーション端子)。外部に伝える情報表示の選択は、<I/O端子設定>画面の「CALL OUT設定」で行う項目と、共通で出力される項目があります。

DC 5V OUT端子
直流電圧出力のための端子で、MAINスイッチと電源ボタンがONの場合のみ出力します。最大電流は30mAです。

12 RS-232C端子

RS-232C端子付きのホスト機器(パーソナルコンピューターなど)と接続するための端子です。

■ コンパクトフラッシュカードの挿入・排出方法

- ① コンパクトフラッシュカードをご使用になる前に、コンパクトフラッシュカードの取扱説明書で使用上の注意などを確認してください。

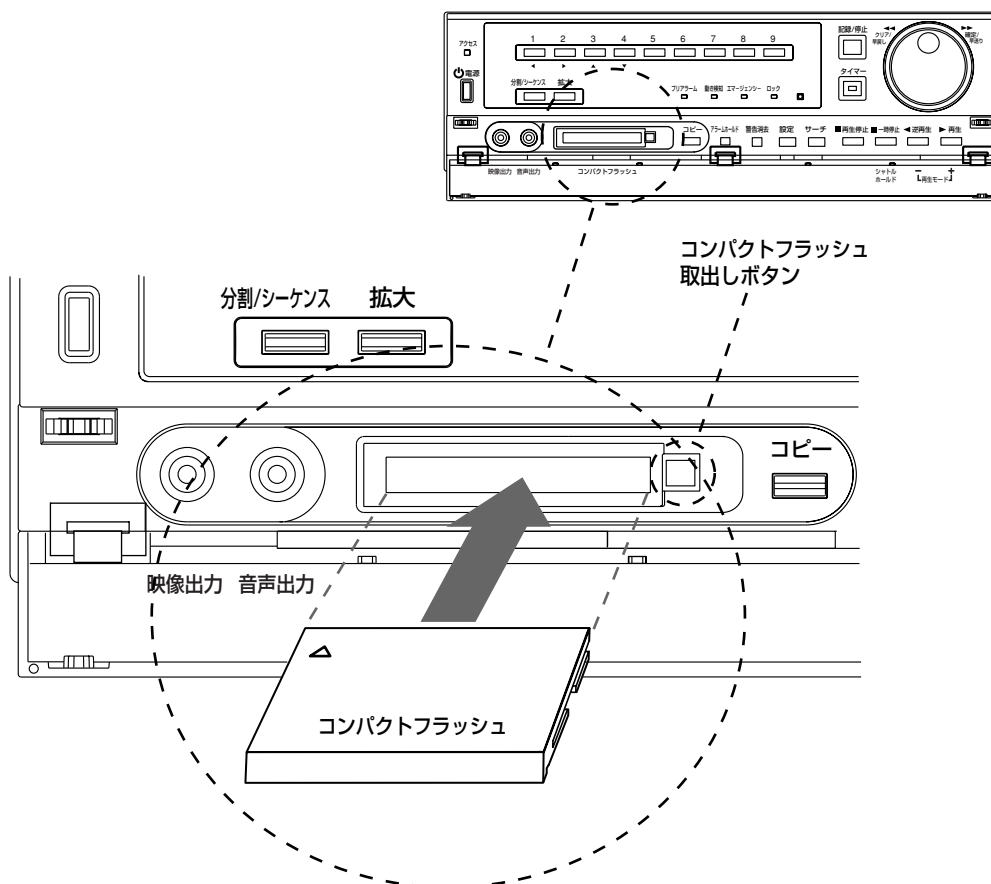
<カードの挿入>

- 1 本体に取り付け済みの付属品のコンパクトフラッシュスロットカバーを取り外す。
- 2 左右に切り欠きがある面を下側にし、取出しボタンが飛び出すまでしっかりと差し込む。

- ① コピー/リストア中、メニューのコピー/読み出し中およびカードを挿入直後は、カードの排出を行わないでください。カードやデータが破損する恐れがあります。
- ① コンパクトフラッシュカードは、しっかり挿入してください。挿入が不完全では正常に動作しない恐れがあります。
- ① 当社が推奨するコンパクトフラッシュカードをご使用ください。当社が推奨していないカードを使用した場合、データの読み書きが正常に動作しない恐れがあります。
- ① 新しいカードをご使用になる場合は、<情報表示・保守設定>画面の「CFCデータ消去」を実行してください。

<カードの排出>

- 1 取出しボタンを押して、カードを排出する。
- 2 コンパクトフラッシュスロットカバーを取り付ける。



基本操作

■ マルチプレクサ機能

本機前面部に配置されているボタンを使ってマルチプレクサ機能の一部を操作することができます。

1 カメラ番号ボタン(1~9)

本機後面部のCAMERA IN端子1~9に接続されたカメラの映像を画面に表示します。

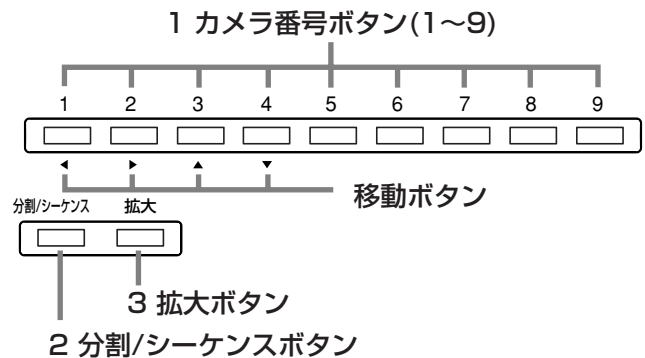
- ▶ カメラ番号ボタンを押すことにより、接続されたカメラが記録対象に設定されていなくても、映像を表示することができます。

2 分割/シーケンスボタン

<マルチプレクサ設定>画面で設定された9分割表示、3種類の4分割シーケンシャル表示(a、b、c)、4分割シーケンシャル表示および1画シーケンシャル表示の順に切り換わります。(再生時にはシーケンシャル表示はスキップされます。)

3 拡大ボタン

1画表示中に拡大ボタンを押すと1倍画面が表示され、その中心に拡大中心点(X)が表示されます。さらに押すと2倍、4倍と拡大表示されます。移動ボタンを押すことにより中心点を軸に拡大表示画面を上下左右へ移動させることができます。(「30ページ」[拡大ボタンの動作])



拡大ボタンを押すことにより、カメラ番号ボタン1~4の機能が移動ボタンに切り換わります。

■メニューの設定方法

本機は、使用する目的に合わせて、メニュー画面で動作条件を設定することができます。設定方法は、メニュー画面によって多少の違いがありますが、ここでは画面表示形式設定を例にジョグとシャトルを使った基本的な設定方法を説明します。

例) 画面表示形式を「3」に変更する。(初期設定は「1」)

1 本機後面部のMAINスイッチをONにしアクセスインジケーターが消灯したあと、前面部の電源ボタンを押す。

- ・画面に「セットアップ中」が表示され起動を始めます。
- ・アクセスインジケーター点滅中は、電源ボタンを押しても受け付けません。インジケーターが消灯してから電源ボタンを押してください。

2 起動後、本機前面部のドア内部の設定ボタンを押す。

- ・<設定>画面が表示されます。

- ▶ 各設定ボタンを押し、メニュー画面を表示させると背景画面が暗くなり、表示文字が見やすくなります。

3 カーソル(>>)が「時刻・画面表示設定」にあることを確認し、シャトルを右に回す。

- ・<時刻・画面表示設定>画面が表示されます。(「28ページ」)

4 ジョグを回して「画面表示形式」へカーソル(>>)を移動させ、シャトルを右に回す。

- ・「画面表示形式」の設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

- ▶ ジョグを右に回すとカーソル(>>)が下へ、左に回すと上へ移動します。

5 ジョグを回して「3」を表示させる。

- ・画面表示下側の表示形式サンプルが<表示形式3>に変わります。



<設定>
>>時刻・画面表示設定
マルチプレクサ設定
動き検知設定
マニュアル記録設定
タイマー記録設定
基本設定・情報表示

メニュークイック設定

メモ:

<時刻・画面表示設定>
>>時刻設定
画面表示形式 1
画面表示位置
カメラ表示設定 カメラ番号
カメラタイトル・メモ設定
動作モード表示 下

<表示形式1>

2004-01-01 00:00:00

6 シャトルを右に回す。

- ・ 設定項目が確定し、点滅がとまります。
 - ・ 引き続き他の設定を行う場合は、ステップ4、5の操作を繰り返します。
- 🔴 ・ 設定項目が点滅中にシャトルを左に回すと1つ前の状態に戻ります。
- ・ 画面から抜ける場合は、シャトルを左に回す。

<時刻・画面表示設定>	
時刻設定	
>>画面表示形式	3
画面表示位置	
カメラ表示設定	カメラ番号
カメラタイトル・メモ設定	
動作モード表示	下
<表示形式3>	
2004-01-01 木	
00:00:00 0.03秒 99% A00001	

◆メニュー画面から通常画面に戻るには

ジョグ・シャトルを使用しメニュー画面の設定を行ったあと、通常画面に戻る方法を説明します。

1 設定項目の点滅がとまり、希望する設定に変更されていることを確認する。

- ・ 設定項目が点滅しているときには、その設定は確定されていません。上記設定方法を参考に、設定の確定を行ってください。
- ・ その他の項目を続けて設定する場合、または設定項目を確認する場合は、シャトルを1回左に回して、1つ前の画面に戻ることができます。

🔴 設定項目が点滅中はこの動作を受け付けません。

2-1 (1階層ずつメニュー画面に戻して通常画面に戻る場合は・・・)

- ・ 開いたメニュー画面の分だけシャトルを左に回してください。シャトルを1回左に回すごとに1つ前のメニュー画面に戻ります。

2-2 (直接、通常画面に戻る場合は・・・)

- ・ 設定ボタンを押すことにより、1度にメニュー画面が消え通常画面に戻ります。

❗ 設定項目が点滅中は、設定ボタンを押してもメニュー画面は消えません。

◆日付・時刻の合わせかた

❗ 記録を始める前に、あらかじめ日付と現在時刻を正確に合わせる必要があります。

例) 2005年3月3日 午後6時30分(18:30)に合わせる。
(初期設定は「2004年01月01日 00:00:00」)

1 設定ボタンを押して<設定>画面を表示させる。

2 カーソル(>>)が「時刻・画面表示設定」にあることを確認し、シャトルを右に回す。

- ・ <時刻・画面表示設定>画面が表示されます。

3 カーソル(>>)が「時刻設定」にあることを確認し、シャトルを右に回す。

- ・ <時刻設定>画面が表示されます。

4 カーソル(>>)が「年」にあることを確認し、シャトルを右に回す。

- ・ 「年」の項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

5 ジョグを回して「2005」年を表示させ、シャトルを右に回す。

- ・ 設定が確定し、点滅がとまります。

6 ジョグを右に回してカーソル(>>)を「月」の項目へ移動させる。

🔴 ジョグを右に回すとカーソル(>>)が下へ、左に回すと上へ移動します。

7 ステップ4~6の操作を繰り返し「月」、「日」を設定する。

<時刻設定>	
>>年	2004
月	01
日	01
時刻	00:00:00

設定例)

<時刻設定>	
>>年	2004



シャトルを右に回す→設定項目が点滅

<時刻設定>	
>>年	2004



ジョグを回して「2005」を選択

<時刻設定>	
>>年	2005



シャトルを右に回して確定→点滅がとまる

<時刻設定>	
>>年	2005

基本操作(つづき)

8 ジョグを回してカーソル(>>)を「時刻」の項目まで移動させ、シャトルを2回右に回す。

- ・ 1回目で「時間」の項目が反転表示になり、2回目で背景が赤色表示に変わり、点滅します。

9 ジョグを回して「18」を表示させ、シャトルを右に回す。

- ・ 設定が確定し、点滅がとまります。

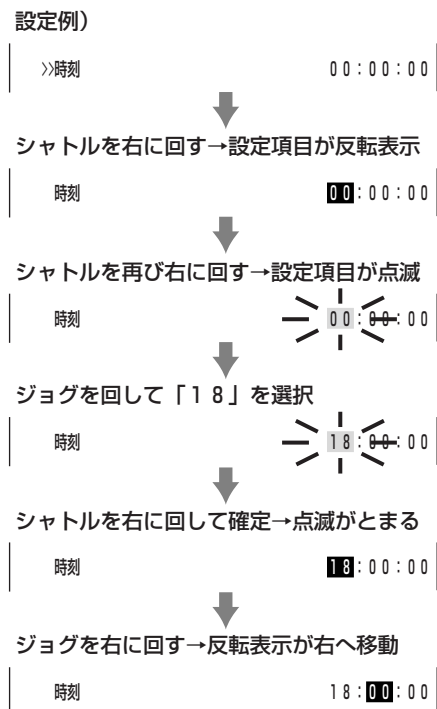
▶ 時刻は24時間表示になっています。

10 ステップ8、9の操作を繰り返し「分」、「秒」を設定する。

11 シャトルを右に回す。

- ・ 設定が確定し、点滅がとまります。

12 シャトルを左に回す。



◆時刻表示画面

本機の電源を入れると、画面に下図のような日付・時刻表示が出ます(表示形式3のとき)。

▶ その他の表示形式の設定方法は、☞28ページ「画面表示形式」。

▶ 記録中は、HDD使用量が表示されます。記録を停止すると表示は一旦クリアされ(記録一時停止時はクリアされません)、再び記録を開始すると、しばらくしてから再びHDD使用量が表示されます。

参考

本機は4桁年号表示を導入しています。表示可能範囲は2001年1月1日から2099年12月31日までの99年カレンダーです。うるう年の自動計算機能も内蔵しています。2099年12月31日を過ぎると、再び2001年表示に戻ります。

年	月	日	曜日	HDD使用量
2004	01	01	木	00:00:00 0.03秒 10% A00001
			再生間隔	アラーム記録番号
	時	分	秒	(1画面再生時のみ表示)

◆記録済み容量表示機能

本機は<I/O端子設定>画面の「残量検出位置」の設定項目を「HDD」に選択すると画面上に指定された記録デバイス(HDD)の使用容量を常時表示させることができます。なお、表示の「%」部分は、HDDとして認識された全HDD容量に対する比率となります。この機能を有効にするには下記の設定が必要です。

- 1) <I/O端子設定>画面の「残量検出位置」でデバイスの選択と記録残量設定をする。(☞47ページ)
- 2) <時刻・画面表示設定>画面の「画面表示形式」で「3」を選択する。(☞28ページ)

■ 基本的なマニュアル記録のしかた

ここでは、マニュアル操作による通常記録のしかたを説明します。記録を始める前に、記録設定の確認が必要です。☞44ページ<HDD運用設定>画面の「HDDリピータ記録」の設定を確認したあと、記録運用の設定を始めます。

- ❗ この設定は、通常記録のための設定です。タイマー記録運用での記録設定は、☞39ページ<タイマー記録設定>画面上で設定する必要があります。ご注意ください。

◆ 通常記録のための記録間隔と記録画質を設定する

通常記録を行うためには、運用するカメラごとに「通常間隔」、「通常画質」を設定する必要があります。

通常間隔の設定項目(初期設定は「0.6秒」)

「0.3秒」、「0.6秒」、「0.9秒」、「1.2秒」、「1.5秒」、「1.8秒」、
「3秒」、「4.5秒」、「9秒」、「18秒」、「36秒」、「72秒」、「-----」

「-----」：設定したカメラでは記録を行いません。

- ❗ 通常記録(アラーム記録)の選択可能な記録間隔は、運用するカメラの台数やアラーム記録時のカメラ選択項目(☞37ページ)により下記の表のように表示される間隔が変わります。ご注意ください。

運用カメラ台数	1台	2台	3台	4台	5台	6台	7台	8台	9台
記録間隔短い ↑	0.03秒	0.06秒	0.1秒	0.13秒	0.16秒	0.2秒	0.23秒	0.26秒	0.3秒
	0.06秒	0.13秒	0.2秒	0.26秒	0.33秒	0.4秒	0.46秒	0.53秒	0.6秒
	0.1秒	0.2秒	0.3秒	0.4秒	0.5秒	0.6秒	0.7秒	0.8秒	0.9秒
	0.13秒	0.26秒	0.4秒	0.53秒	0.66秒	0.8秒	0.93秒	1.06秒	1.2秒
	0.16秒	0.33秒	0.5秒	0.66秒	0.83秒	1秒	1.16秒	1.33秒	1.5秒
	0.2秒	0.4秒	0.6秒	0.8秒	1秒	1.2秒	1.4秒	1.6秒	1.8秒
	0.33秒	0.66秒	1秒	1.33秒	1.66秒	2秒	2.33秒	2.66秒	3秒
	0.5秒	1秒	1.5秒	2秒	2.5秒	3秒	3.5秒	4秒	4.5秒
	1秒	2秒	3秒	4秒	5秒	6秒	7秒	8秒	9秒
	2秒	4秒	6秒	8秒	10秒	12秒	14秒	16秒	18秒
↓ 記録間隔長い	4秒	8秒	12秒	16秒	20秒	24秒	28秒	32秒	36秒
	8秒	16秒	24秒	32秒	40秒	48秒	56秒	64秒	72秒

通常画質の設定項目(初期設定は「スタンダード」)

「スーパー」、「ハイ」、「スタンダード」、「ベーシック」、「ロング」

例) 通常記録で、カメラ番号①の通常間隔を「1.5秒」、通常画質を「ハイ」に設定する。

- 1 設定ボタンを押して<設定>画面を表示させる。
- 2 ジョグを回してカーソルを「マニュアル記録設定」に移動させ、シャトルを右に回す。
・ <マニュアル記録設定>画面が表示されます。
- 3 カーソルが「記録運用設定」にあることを確認し、シャトルを右に回す。
・ <記録運用設定>画面が表示されます。

<マニュアル記録設定>	
>>記録運用設定	5秒切
アラーム記録時間	
プリアラーム記録設定	

アラーム記録時のカメラ選択項目

<記録運用設定>			>>アラームプラスCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔	ALM画質
①	0.6秒	スタンダード	0.6秒	スタンダード
②	0.6秒	スタンダード	0.6秒	スタンダード
③	0.6秒	スタンダード	0.6秒	スタンダード
④	0.6秒	スタンダード	0.6秒	スタンダード
⑤	0.6秒	スタンダード	0.6秒	スタンダード
⑥	0.6秒	スタンダード	0.6秒	スタンダード
⑦	0.6秒	スタンダード	0.6秒	スタンダード
⑧	0.6秒	スタンダード	0.6秒	スタンダード
⑨	0.6秒	スタンダード	0.6秒	スタンダード
<見積り時間>			□□時間□□分	

見積り時間に関しては、☞94ページ「連続記録可能時間表」を参考にしてください。

設定例)

<マニュアル記録設定>	
>>記録運用設定	
↓	
シャトルを右に回す→<記録運用設定>画面表示へ	
<記録運用設定>	アラームプラスCH
番号 通常間隔 通常画質	ALM間隔 ALM画質
>>① 0.6秒 スタンダード	0.6秒 スタンダード

基本操作(つづき)

4 カーソルがカメラ番号「①」にあることを確認し、シャトルを右に回す。

- ・「通常間隔」の設定項目が反転表示に変わります。

5 シャトルを再び右に回す。

- ・「通常間隔」の設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

❗ 設定内容の点滅中は、設定ボタンを押してもメニュー画面は消えません。

6 ジョグを回して「1.5秒」を選択し、シャトルを右に回す。

- ・設定が確定し、点滅がとまります。

7 ジョグを右に回して「通常画質」の設定項目を反転表示させ、シャトルを右に回す。

- ・通常画質の設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

❗ 設定内容の点滅中は、設定ボタンを押してもメニュー画面は消えません。

8 ジョグを回して「ハイ」を選択し、シャトルを右に回す。

- ・設定が確定し、点滅がとまります。

<見積り時間>について

- ・「通常間隔」、「通常画質」の設定によって記録可能な時間が<見積り時間>として表示され、アラーム記録内容を変更しても反映されません。(C94ページ「連続記録可能時間表」)

9 設定が完了するとシャトルを左に回す。

- ・カーソルがカメラ番号の左どなりへ移動します。
- ・引き続き他のカメラ番号を設定する場合は、ジョグを回して希望するカメラ番号までカーソルを移動させ、ステップ4～8を繰り返して設定してください。

10 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押して通常画面へ戻る。

11 記録/停止ボタンを押す。

- ・記録/停止ボタンが点灯し、記録が始まります。

12 記録を停止する場合は、もう一度記録/停止ボタンを1秒以上押し続ける。

- ・記録が停止し、記録/停止ボタンが消灯します。

設定例)

<記録運用設定>		アラームプラスCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔 ALM画質
>>①	0.6秒	スタンダード	0.6秒 スタンダード

シャトルを右に回す→設定項目が反転表示

<記録運用設定>		アラームプラスCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔 ALM画質
①	0.6秒	スタンダード	0.6秒 スタンダード

シャトルを再び右に回す→設定項目が点滅

<記録運用設定>		アラームプラスCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔 ALM画質
①	0.6秒	スタンダード	0.6秒 スタンダード

ジョグを回して「1.5秒」を選択

<記録運用設定>		アラームプラスCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔 ALM画質
①	1.5秒	スタンダード	0.6秒 スタンダード

シャトルを右に回して確定→点滅がとまる

<記録運用設定>		アラームプラスCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔 ALM画質
①	1.5秒	スタンダード	0.6秒 スタンダード

ジョグを右に回す→反転表示が右に移動

<記録運用設定>		アラームプラスCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔 ALM画質
①	1.5秒	スタンダード	0.6秒 スタンダード

シャトルを右に回す→反転表示が点滅

<記録運用設定>		アラームプラスCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔 ALM画質
①	1.5秒	スタンダード	0.6秒 スタンダード

ジョグを回して「ハイ」を選択

<記録運用設定>		アラームプラスCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔 ALM画質
①	1.5秒	ハイ	0.6秒 スタンダード

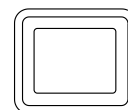
シャトルを右に回して確定→点滅がとまる

<記録運用設定>		アラームプラスCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔 ALM画質
①	1.5秒	ハイ	0.6秒 スタンダード

シャトルを左に回す

<記録運用設定>		アラームプラスCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔 ALM画質
>>①	1.5秒	ハイ	0.6秒 スタンダード

記録/停止

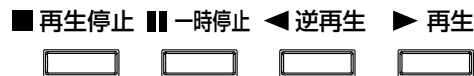


■ 基本的な再生のしかた

本機は記録した映像をいろいろな方法で再生することができます。この「基本操作編」ではもっとも一般的な再生のしかたを説明します。

1 本機前面部のドア内部の再生ボタンを押す。

- ・ HDDの記録内容が再生されます。
- ・ 電源を入れたあとは、記録された最も古い映像から再生が始まります。それ以外は、前に再生を停止させたところから再生を始めます。



- ▶ <HDD運用設定>画面の「HDDリピート再生」の設定が「切」の場合、HDDの物理的な終端または記録部分の終端にくと、再生を停止します。「HDDリピート再生」の設定が「入」の場合は、記録されている映像データを繰り返し再生します。(☞ 44ページ「HDDリピート再生」)

1-1 再生デバイスを変更する。

- ・ 再生デバイスの初期設定は、HDDです。
- ・ 再生デバイスをコンパクトフラッシュカードに変更する場合は、サーチボタンを2回押して☞ 60ページ<サーチ方式設定>画面を表示させ、「再生デバイス選択」で「CFC」(コンパクトフラッシュカード)を選択してください。

2 再生を一時停止する場合は、一時停止ボタンを押す。

- ・ 再生を開始する場合はもう一度、一時停止ボタンまたは、再生ボタンを押してください。

3 再生をやめる場合は、再生停止ボタンを押す。

- ・ HDD再生/停止時は、停止した位置より次回再生を始めます。
- ・ CFC再生/停止時は、カードの記録された最も古い映像から次回再生を始めます。

■ 基本的なサーチのしかた

本機では、サーチボタンを押すだけで繰り返しよくご使用になるサーチメニューを表示させることができます。

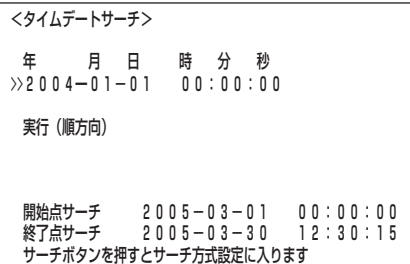
◆ タイムデートサーチ

本機はいろいろなサーチ機能を使って頭出しをすることができます。この「基本操作編」では基本的なサーチ機能である、タイムデートサーチの方法を説明します。この方法では、日、時、分、秒、任意のカメラ番号によるサーチが可能です。

例) HDDの2005年3月3日、午後9時25分40秒(21:25:40)のカメラ番号③の場面を探したいとき。

1 サーチボタンを押して<タイムデートサーチ>画面を表示させる。

- ・ サーチボタンを押して表示されるサーチメニューの初期設定は、「タイムデートサーチ」です。



2 カーソルがサーチ指定日のとなりであることを確認し、シャトルを2回右に回す。

- ・ 1回目で設定項目が反転表示になり、2回目で背景が赤色表示に変わり、点滅します。

3 ジョグを回して「年」の項目に「2005」を表示させ、シャトルを右に回す。

- ・ 設定が確定し、点滅がとまります。

4 ジョグを回して「月」の項目を反転表示させ、シャトルを右に回す。

- ・ 設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

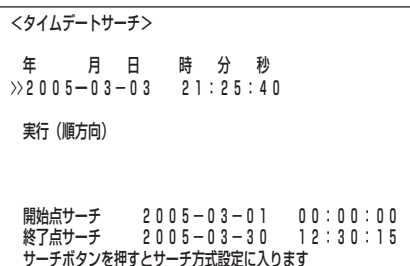
5 ジョグを回して「月」の項目に「03」を表示させ、シャトルを右に回す。

- ・ 設定が確定し、点滅がとまります。

6 ステップ4、5の操作を繰り返し、「日」、「時間」、「分」、「秒」を設定する。

- ▶ サーチをせずにサーチ画面から抜ける場合は、シャトルを左に回す、またはサーチボタンを2回押してください。

- ▶ サーチ機能を選択するための<サーチ方式設定>については、☞ 60ページ。



基本操作(つづき)

7 **サーチボタンを押して<サーチ方式設定>画面を表示させる。**

8 **カーソルが「カメラ選択」にあることを確認し、シャトルを右に回す。**

- ・設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

9 **ジョグを回してカメラ番号「③」を選択し、シャトルを右に回す。**

- ・設定が確定し、点滅がとまります。

- ・設定項目(初期設定「全て」)

「全て」、「①」、「②」、「③」、「④」、「⑤」、「⑥」、「⑦」、「⑧」、「⑨」

「全て」: カメラ番号①～⑨すべてについてサーチします。

<サーチ方式設定>		タイムデート
サーチ方式		③
>>カメラ選択		
再生デバイス選択		HDD
開始	2005-03-01	00:00:00
終了	2005-03-30	12:30:15

10-1 (再生デバイスを変更する場合は・・・)

ジョグを回して「再生デバイス選択」を選択し、シャトルを右に回す。

- ・設定項目の背景が赤色表示に変わり点滅し、ジョグを回して希望する再生デバイスを表示して確定する。

- ・設定項目(初期設定は「HDD」)

「HDD」 : HDDの内容を再生するときに選択します。

「CFC」 : コンパクトフラッシュの内容を再生するときに選択します。

10-2 (サーチ方式を変更する場合は・・・)

ジョグを回して「サーチ方式」を選択し、シャトルを右に回す。

- ・設定項目の背景が赤色表示に変わり点滅し、ジョグを回して希望するサーチメニューを表示させ確定する。

- ・設定項目(初期設定は「タイムデート」)

「タイムデート」、「記録インデックス」、「アラームインデックス」、「スキップ」、「アラームリスト」

11 **設定が完了すると、シャトルを左に回す。**

- ・<タイムデートサーチ>画面へ戻り、カーソルがサーチ指定日の左どなりに表示されます。

12 **ジョグを回して実行(順方向)を選択し、シャトルを右に回す。**

- ・タイムデートサーチが始まり、設定した日時(同日の最も近い時刻)の映像が静止画再生で表示されます。

- ・サーチ結果は<サーチ方式設定>画面の「カメラ選択」設定で「全て」を選択した場合は、9分割表示されます。カメラ番号を個別に選択した場合は、1画表示の静止画再生になります。

➡ 設定した時刻の記録がない場合、同じカメラ番号で設定した日時に一番近い時刻の映像を静止画再生します。

➡ 記録の状態によっては、正しくタイムデートサーチできない場合があります。

❗ 「カメラ選択」設定で「全て」を選択した場合、サーチ結果を9分割表示から希望するカメラ番号の映像を選んで1画表示させるには、サーチボタンを押してサーチメニューを消したあと、希望するカメラ番号ボタンを押してください。見たい映像が1画表示されます。

<タイムデートサーチ>		
年 月 日	時 分 秒	
2005-03-03	21:25:40	
>>実行(順方向)		
開始点サーチ	2005-03-01	00:00:00
終了点サーチ	2005-03-30	12:30:15
サーチボタンを押すとサーチ方式設定に入ります		

13 **サーチ結果を再生する。**


- ・再生ボタン、または一時停止ボタンを押す。

➡ 再生については、58,59ページ「いろいろな再生」。

14 **再生、静止画再生をやめる場合は、再生停止ボタンを押す。**

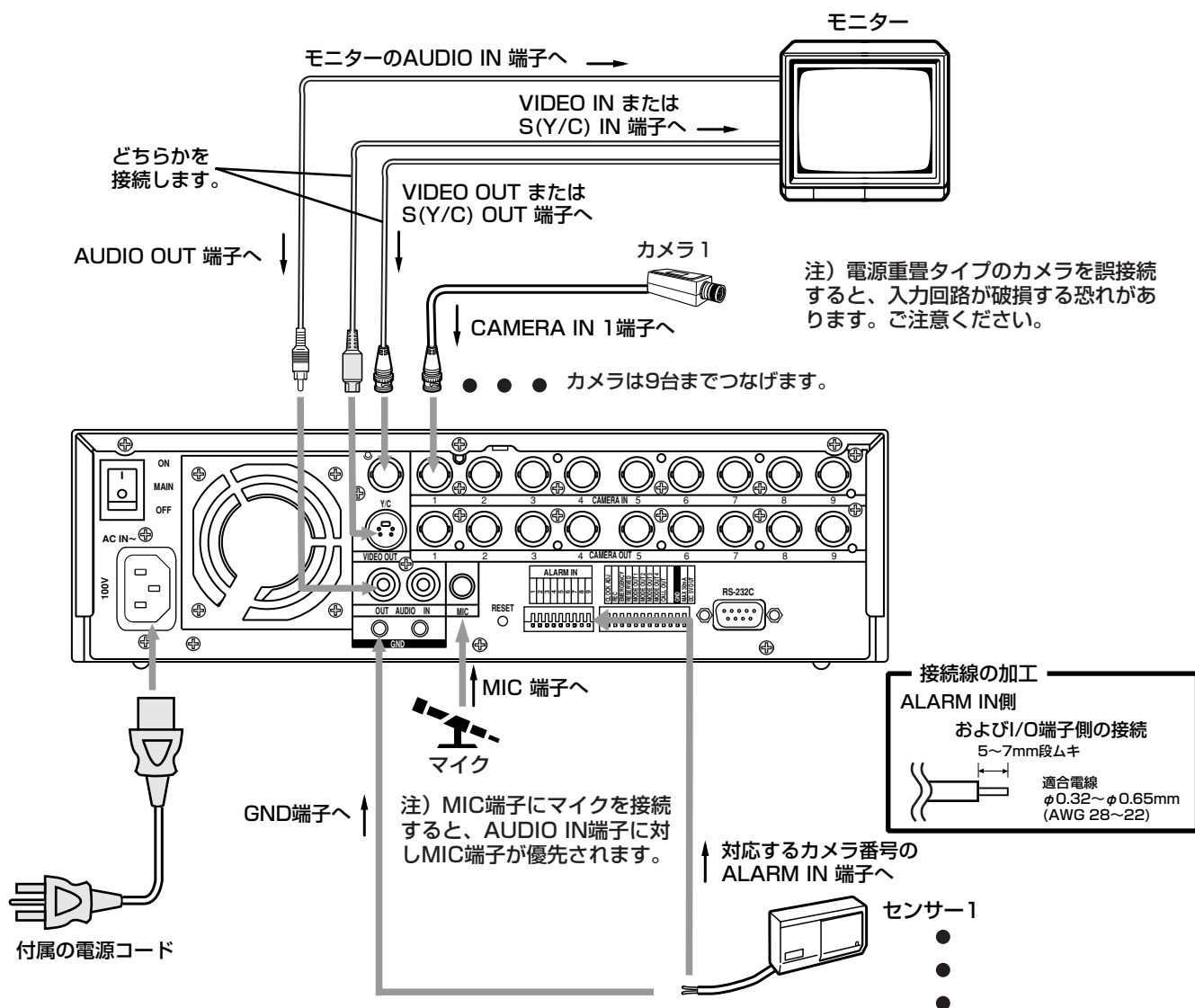
- ・通常画面に戻ります。

15 **サーチ設定画面を消す場合は、サーチボタンを2回押す。**

<タイムデートサーチ>		
年 月 日	時 分 秒	
2005-03-03	21:25:40	
>>実行(順方向)		
開始点サーチ	2005-03-01	00:00:00
終了点サーチ	2005-03-30	12:30:15
サーチボタンを押すとサーチ方式設定に入ります		

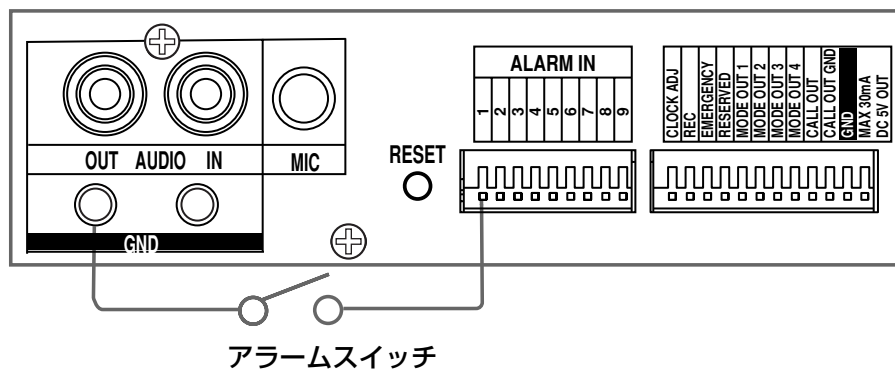
接続のしかた

■ CCTVカメラ、モニター、センサーとの接続



■ アラーム記録の接続方法

下図は、カメラ番号1に対応したアラーム信号の場合の接続例です。



接続のしかた(つづき)

■ 外部記録機器との接続

本機は、前面部に映像出力(RCA)／音声出力(RCA)端子を、後面部にS(Y/C)OUT／VIDEO OUT(BNC)／AUDIO OUT(RCA)端子を搭載しています。

映像信号は、前面部の映像出力端子と後面部のVIDEO OUT／S(Y/C)OUT端子から同時出力が可能です。同様に音声信号も、前面部の音声出力端子と後面部のAUDIO OUT端子から同時出力が可能です。

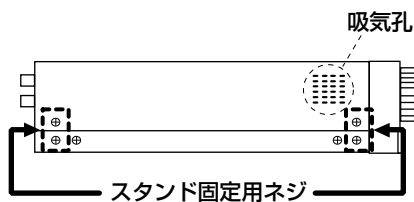
これらの端子にアナログビデオ記録装置を接続することにより、記録内容のコピーを行うことができます。

■ 本機の縦置き設置方法

本機は、付属の縦置き用スタンドを取り付けることにより、縦置きが可能となります。

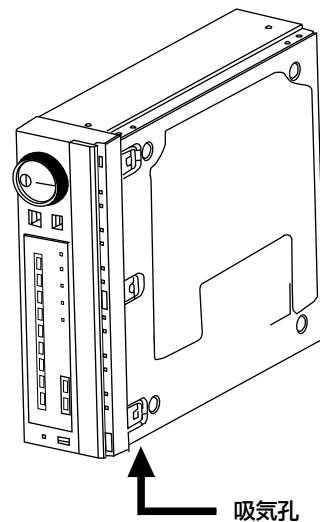
- ❗ 縦置きする場合は、必ず付属のスタンドを使用してください。吸気孔が塞がれ火災の原因となります。

1 本機正面から向って左側面のスタンド固定用ネジを4本はずす。

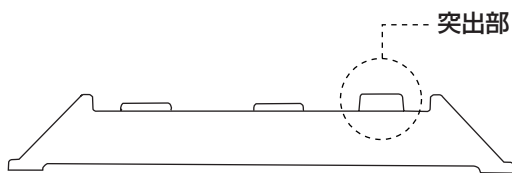


2 ジョグが上になるようにして、縦向きに置く。

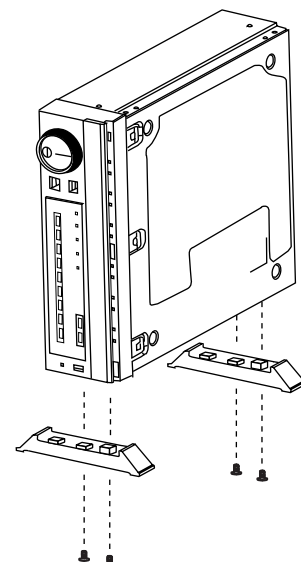
- ❗ 本機の吸気孔が必ず下になるようにして、縦向きに置いてください。逆向きに置くと、吸気孔による本機内部の冷却効果が弱くなるとともに、重心が高くなるため本機が倒れやすくなります。



3 付属の縦置き用スタンドの突出部を右にする。本機と穴が一致するように合わせる。



4 縦置き用スタンドの下側から、スタンド固定用のネジで本機と縦置き用スタンドを固定する。



初期設定

■ デバイスの初期化

<デバイス初期化>設定では、デバイスの初期化を行います。デバイス初期化を行うと、デバイスのデータがすべて消去されます。

1 本機後面部のMAIN スイッチをONにしアクセスインジケータが 消灯したあと、記録/停止ボタンを押したまま、前面部の電源ボタン を押す。

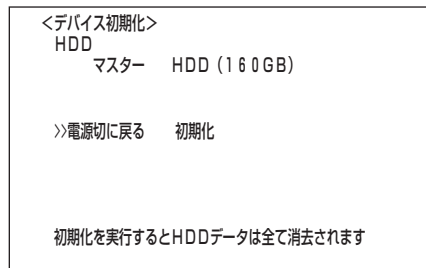
- ・画面に「セットアップ中」が表示され起動を始めます。起動が完了すると、<デバイス初期化>画面が表示されます。
- ・アクセスインジケータ点滅中は、電源ボタンを押しても受け付けません。インジケータが消灯してから電源ボタンを押してください。

2 ジョグを回して「初期化」を選択し、シャトルを右に回す。

- ・画面に「セットアップ中」が表示され、初期化を開始します。
- ・初期化終了後、通常画面へ戻ります。

❗ デバイス「初期化」を実行するとHDDのデータはすべて初期化されます。また、アラームリストは全て消去され、再び00001から登録されます。ご注意ください。

➡ 初期化を実行しない場合は、「電源切に戻る」を選択してください。



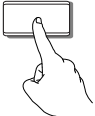
メニュー画面一覧

■ <設定>メニュー

<設定>メニューでは、本機を使用する上で基本的な設定を行うことができます。設定の詳細については参照ページをごらんください。

① 再生中、記録中、プリアラーム記録待機中は、一部のメニュー内容の変更はできません。

設定



メインメニュー

<設定>
>>時刻・画面表示設定
マルチブレイク設定
動き検知設定
マニュアル記録設定
タイマー記録設定
基本設定・情報表示
メニューイック設定
MtE:

サブメニュー (1)

<時刻・画面表示設定>
>>時刻設定
画面表示形式
画面表示位置
カメラ表示設定
カメラタイトル・メモ設定
動作モード表示
<表示形式1>
2004-01-01 00:00:00

◆ 時刻・画面表示設定 14-16,28,29ページ

サブメニュー (2)

<時刻設定>
>>年
月
日
時刻
2004
01
01
00:00:00

◆ 時刻設定 15,16ページ

画面表示位置
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

◆ 画面表示位置 28ページ

<カメラタイトル・メモ設定>
>>①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
メモ
>>選択で文字入力画面

◆ カメラタイトル・メモ設定 29ページ

<文字列入力>
.....
! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { } ~
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネハヒフヘホ
マミムモヤユヨリルリロワヲンファイエオヤユヨツ
あいうえおかきくけこさしすせそたちつととなにぬねのはひふへほ
まみむもやゆよりるるるわをんあいうえおやゆよつ
シヤトル<<で終了

◆ 文字列入力 29ページ

<マルチブレイク設定>
>>4分割表示位置
9分割表示位置
シーケンス表示
分割表示画面
シャープ

◆ マルチブレイク設定 30-33ページ

<4分割表示位置>
>>4分割 (a)
(0) (2) (6) (8)
(3) (4) (7) (9)
4分割 (c)
(0) (9)

◆ 4分割表示位置 32ページ

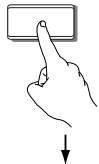
<9分割表示位置>
>>9分割
(0) (2) (3)
(4) (5) (6)
(7) (8) (9)

◆ 9分割表示位置 32ページ

<シーケンス表示>
表示順
カメラ
切替時間
>>1
2
3
4
5
6
7
8
9
4分割 abc
① 1秒
② 1秒
③ 1秒
④ 1秒
⑤ 1秒
⑥ 1秒
⑦ 1秒
⑧ 1秒
⑨ 1秒
1秒

◆ シーケンス表示 33ページ

設定



メインメニュー

<設定>
>>時刻・画面表示設定
マルチプレクサ設定
動き検知設定
マニュアル記録設定
タイマー記録設定
基本設定・情報表示
メニュークイック設定
メモ:

サブメニュー (1)

<動き検知設定>
>>設定カメラ選択
カメラ毎動作設定
検知エリアドット設定
感度
記録開始ドット
動作テストモード

◆ 動き検知設定 34-36ページ

サブメニュー (2)

検知エリアドット設定
動作テストモード

◆ 検知エリアドット設定 34,35ページ

<マニュアル記録設定>
>>記録運用設定
アラーム記録時間
プリアラーム記録設定

◆ マニュアル記録設定 17,18,37,38ページ

<記録運用設定>
アラームプラスCH
番号 通常間隔 通常画質 ALM間隔 ALM画質
>>① 0.6秒 スタンダード 0.6秒 スタンダード
② 0.6秒 スタンダード 0.6秒 スタンダード
③ 0.6秒 スタンダード 0.6秒 スタンダード
④ 0.6秒 スタンダード 0.6秒 スタンダード
⑤ 0.6秒 スタンダード 0.6秒 スタンダード
⑥ 0.6秒 スタンダード 0.6秒 スタンダード
⑦ 0.6秒 スタンダード 0.6秒 スタンダード
⑧ 0.6秒 スタンダード 0.6秒 スタンダード
⑨ 0.6秒 スタンダード 0.6秒 スタンダード
<見積り時間>

◆ 記録運用設定 17,18,37,38ページ

<タイマー記録設定>
>>タイマー設定
タイマー休日設定
記録運用設定 A 通常・アラーム記録一設定
記録運用設定 B 通常・アラーム記録一設定
記録運用設定 C 通常・アラーム記録一設定
記録運用設定 D 通常・アラーム記録一設定
アラーム記録時間
プリアラーム記録設定

◆ タイマー記録設定 39-43ページ

<タイマー設定>
曜日 開始時刻 終了時刻 運用 P1 動検知
>>1 --- --- --- --- --- ---
2 --- --- --- --- --- ---
3 --- --- --- --- --- ---
4 --- --- --- --- --- ---
5 --- --- --- --- --- ---
6 --- --- --- --- --- ---
7 --- --- --- --- --- ---
8 --- --- --- --- --- ---
指定曜日 土 - 日

◆ タイマー設定 39,40ページ

<タイマー休日設定>
月 / 日

◆ タイマー休日設定 41ページ

<記録運用設定 A>
アラームプラスCH
番号 通常間隔 通常画質 ALM間隔 ALM画質
>>① 0.6秒 スタンダード 0.6秒 スタンダード
② 0.6秒 スタンダード 0.6秒 スタンダード
③ 0.6秒 スタンダード 0.6秒 スタンダード
④ 0.6秒 スタンダード 0.6秒 スタンダード
⑤ 0.6秒 スタンダード 0.6秒 スタンダード
⑥ 0.6秒 スタンダード 0.6秒 スタンダード
⑦ 0.6秒 スタンダード 0.6秒 スタンダード
⑧ 0.6秒 スタンダード 0.6秒 スタンダード
⑨ 0.6秒 スタンダード 0.6秒 スタンダード
<見積り時間>

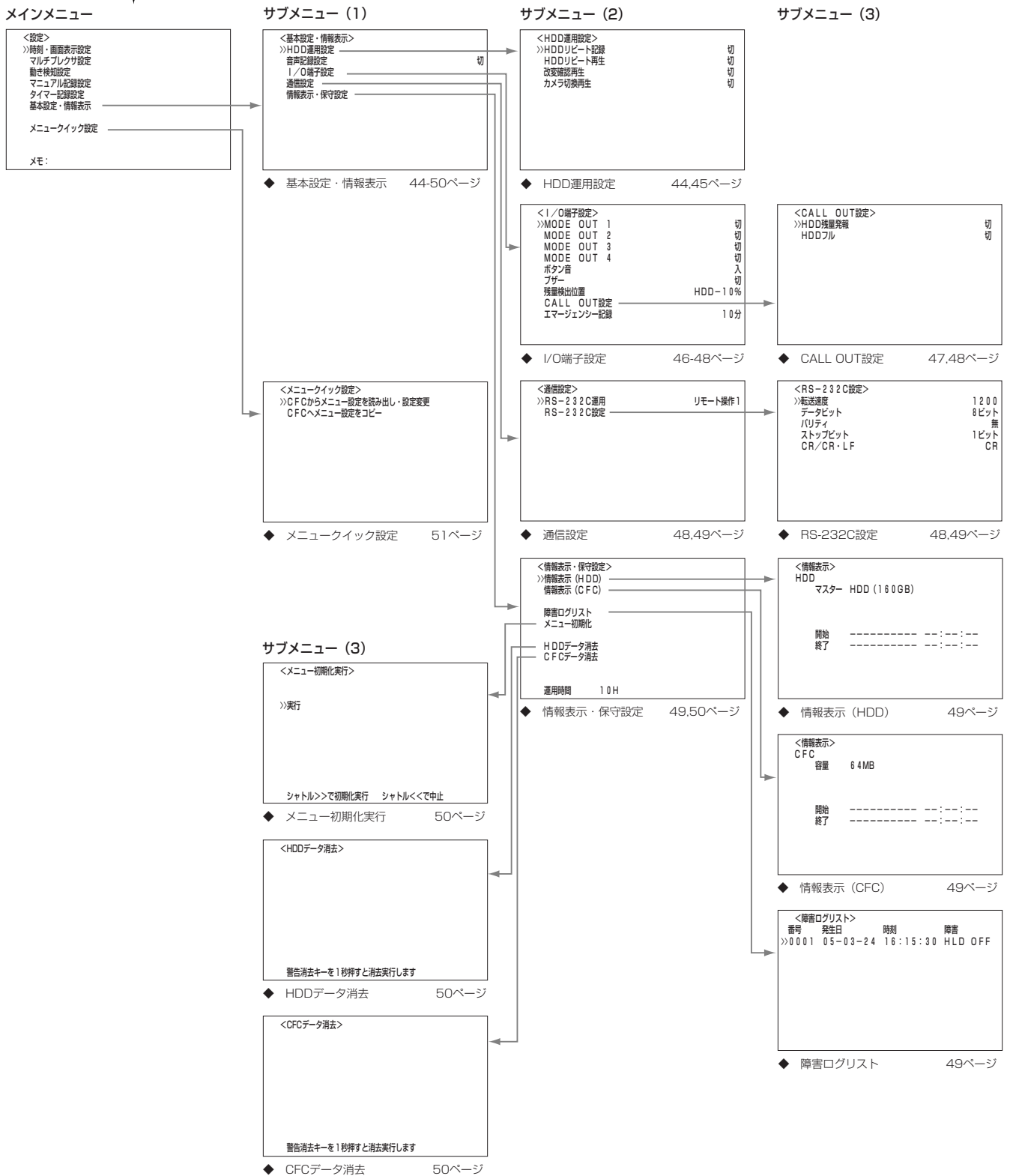
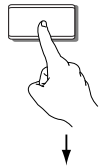
◆ 記録運用設定 A~D 41ページ

注意) 見積り時間に関しては、94ページ「連続記録可能時間表」を参考にしてください。

メニュー画面一覧(つづき)

■ <設定>メニュー(つづき)

設定



■ <サーチ>メニュー

サーチ



メインメニュー

<タイムデートサーチ>
 年 月 日 時 分 秒
 >>2004-01-01 00:00:00
 実行 (順方向)
 開始点サーチ -----:-----
 終了点サーチ -----:-----
 サーチボタンを押すとサーチ方式設定に入ります

◆ タイムデートサーチ 19,20ページ

<記録インデックスサーチ>
 >>インデックス数 01
 実行 (順方向)
 実行 (逆方向)
 開始点サーチ -----:-----
 終了点サーチ -----:-----
 サーチボタンを押すとサーチ方式設定に入ります

◆ 記録インデックスサーチ 61ページ

<アラームインデックスサーチ>
 >>インデックス数 01
 実行 (順方向)
 実行 (逆方向)
 開始点サーチ -----:-----
 終了点サーチ -----:-----
 サーチボタンを押すとサーチ方式設定に入ります

◆ アラームインデックスサーチ 61ページ

<スキップサーチ>
 >>実行 (順方向)
 実行 (逆方向)

◆ スキップサーチ 62ページ

<アラームリストサーチ>
 >>00004 2005-03-01 04:00:00 ①
 00003 2005-03-01 03:00:00 E
 00002 2005-03-01 02:00:00 ①
 00001 2005-03-01 01:00:00 E
 サーチボタンを押すとサーチ方式設定に入ります

◆ アラームリストサーチ 62,63ページ

サブメニュー (1)

<サーチ方式設定> タイムデート
 サーチ方式 全て
 >>カメラ選択
 再生デバイス選択 HDD
 開始 -----:-----
 終了 -----:-----

◆ サーチ方式設定 60ページ

<サーチ方式設定> 記録インデックス
 >>サーチ方式
 再生デバイス選択 HDD
 開始 -----:-----
 終了 -----:-----

◆ サーチ方式設定 60ページ

<サーチ方式設定> アラームインデックス
 サーチ方式 全て
 >>カメラ選択
 再生デバイス選択 HDD
 開始 -----:-----
 終了 -----:-----

◆ サーチ方式設定 60ページ

<サーチ方式設定> スキップ
 サーチ方式 全て
 >>カメラ選択
 再生デバイス選択 HDD
 開始 -----:-----
 終了 -----:-----

◆ サーチ方式設定 60ページ

<サーチ方式設定> アラームリスト
 >>サーチ方式 全て
 >>>カメラ選択
 リスト検索時間設定 *****-**-** **:*:*:*
 再生デバイス選択 HDD
 開始 2005-03-01 00:00:00
 終了 2005-03-30 12:30:15

◆ サーチ方式設定 60ページ

<時刻・画面表示設定>

■ 時刻設定 — 15,16ページ

■ 画面表示形式

日付・現在時刻などの表示形式が設定できます。

表示形式の設定項目(初期設定は「1」)

- 「1」: 年月日、現在時刻を表示します。
- 「2」: 年月日、曜日、現在時刻、再生間隔(1画再生時のみ)を表示します。
- 「3」: 年月日、曜日、現在時刻、再生間隔(1画再生時のみ)、HDD使用量(残量検出位置を「HDD」に設定した場合の記録時、再生時)、アラーム記録番号(アラーム記録時、再生時)を表示します。
- 「4」: アラーム時にのみ、年月日、曜日、現在時刻を表示します。
- 「5」: ワーニング時にのみ、ワーニングメッセージを表示します。
- 「6」: 何も表示しません。

1 設定ボタン → <設定> → <時刻・画面表示設定>画面の「画面表示形式」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

■ 画面表示位置

日付・現在時刻などの表示の位置が設定できます。

1 設定ボタン → <設定> → <時刻・画面表示設定>画面の「画面表示位置」を選択し、シャトルを右に回す。

・ <画面表示位置>画面が表示されます。

2 ◀、▶、▲、▼ ボタンとジョグで表示を希望する位置まで移動させ、シャトルを右に回す。

・ 設定が確定します。

🔄 ジョグを回すことにより連続して縦方向の移動が可能です。

3 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

■ カメラ表示設定

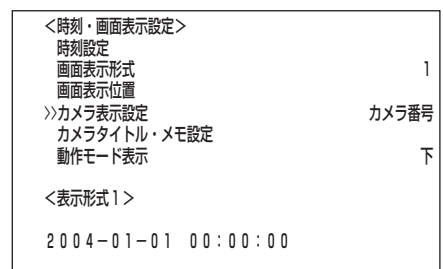
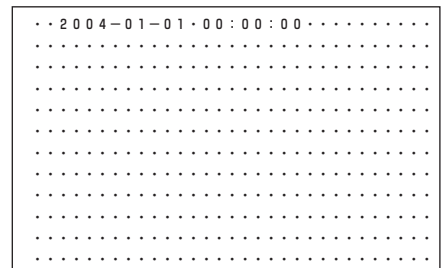
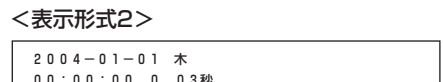
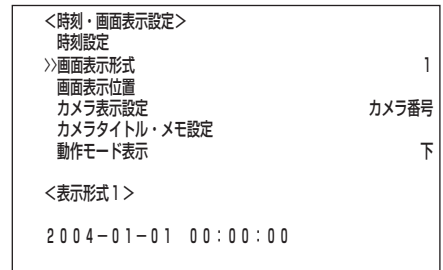
「カメラタイトル・メモ設定」で設定したタイトルやメモを画面に表示したり、カメラ番号のみを表示するなどを、選択することができます。

設定項目(初期設定は「カメラ番号」)

- 「カメラ番号」: カメラ番号のみを表示します。
- 「タイトル」: 「カメラタイトル・メモ設定」で設定したタイトルを表示します。
またタイトルは、映像とともに記録することができます。
- 「コメント」: RS-232Cで設定したコメントを表示します。
- 「無」: 何も表示しません。

1 設定ボタン → <設定> → <時刻・画面表示設定>画面の「カメラ表示設定」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。



■ カメラタイトル・メモ設定

接続しているカメラごとに、個別にタイトルを設定することができます。「カメラ表示設定」で「タイトル」を選択した場合、画面にタイトルが表示され、設置されたカメラ場所などがよりわかりやすい監視システムを構築することができます。

- ➡ **タイトルは、最大16文字まで入力できます。**
画面に表示される文字数は、1画表示：16文字すべて、4分割表示：最初から10文字まで、9分割表示：最初から6文字までを表示します。

例) カメラ番号①に「いりく`ち」、カメラ番号④に「カウンタ1」というタイトルと、「き`んこう」というメモをつけるとき。

1 設定ボタン → <設定> → <時刻・画面表示設定>画面の「カメラタイトル・メモ設定」を選択し、シャトルを右に回す。

・ <カメラタイトル・メモ設定>画面が表示されます。

2 ジョグを回してカメラ番号①を選択し、シャトルを右に回す。

・ <文字列入力>画面が表示され、文字列の一番左の位置が反転表示されます。

3 シャトルを右に回す。

・ 下段の入力文字の一番左の位置「 」(スペース)が赤色表示に変わり、点滅します。

4 ◀、▶、▲、▼ボタンとジョグで入力選択用の文字から「い」を選択し、シャトルを右に回す。

・ 文字列の一番左の位置に、「い」が反転表示されます。

- ➡ **ジョグを回すことにより連続して横方向の移動が可能です。**

5 ジョグを右に回して、右どなりの文字列を反転表示させる。

6 ステップ3~5の操作を繰り返し、文字列に「いりく`ち」と入力する。

・ 入力した文字を消去したいときは、1番左上の位置「 」(スペース)にカーソルを合わせ、シャトルを右に回し、確定する。

・ 間違って入力した文字を変更したいときは、
1 文字列の文字が反転表示中に、ジョグを回して変更したい文字を反転させる。
2 ステップ3、4の操作を行う。

7 入力が完了したら、シャトルを左に回す。

・ <カメラタイトル・メモ設定>画面に戻ります。

8 ステップ2~7の操作を繰り返し、カメラ番号④とメモを設定する。

9 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

■ 動作モード表示

再生、コピー、記録やアラーム記録(エマージェンシー記録時は、赤字でアラーム記録と表示)などの動作状態を画面下または、画面上に表示できます。

設定項目(初期設定は「下」)

「下」: 画面下側に動作状態を表示します。

「切」: 動作状態を表示しません。

「上」: 画面上側に動作状態を表示します。

1 設定ボタン → <設定> → <時刻・画面表示設定>画面を「動作モード表示」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<カメラタイトル・メモ設定>

```
>>① .....
② .....
③ .....
④ .....
⑤ .....
⑥ .....
⑦ .....
⑧ .....
⑨ .....
メモ .....
>>選択で文字入力画面
```

<文字列入力>

```
■ .....
! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ * * * . . . . .
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 . . . . .
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z . . . . .
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z . . . . .
アイウエオカキクケコサシスセソチツトナニヌネノヒフヘホ
マムメモヤユヨラリルロワヲンアイウエオヤユヅ . . . . .
あいうえおかきくけこさしすせそたちつとにぬねのはひふへほ
まみむめもやゆよりるれろわをんいうえおやゆよ . . . . .
シャトル<<で終了
```

<カメラタイトル・メモ設定> 入力例

```
<カメラタイトル・メモ設定>
① いりく`ち
② .....
③ .....
④ カウンタ1
⑤ .....
⑥ .....
⑦ .....
⑧ .....
⑨ .....
>>メモ き`んこう
>>選択で文字入力画面
```

カメラタイトル 表示例 (9分割画面)

2005-03-08 21:25:40		
いりく`ち		
カウンタ1		

メモ 表示例

```
<設定>
>>時刻・画面表示設定
マルチプレクサ設定
動き検知設定
マニュアル記録設定
タイマー記録設定
基本設定・情報表示

メニュークイック設定

メモ: き`んこう
```

<時刻・画面表示設定>

```
時刻設定
画面表示形式 1
画面表示位置
カメラ表示設定 カメラ番号
カメラタイトル・メモ設定
>>動作モード表示 下
```

<表示形式1>

2004-01-01 00:00:00

<マルチプレクサ設定>

本機のマルチプレクサ機能は、接続されたカメラの映像を4分割や9分割にして画面に表示させることができます。また、表示するカメラ番号の順番を設定することができます。(14ページ「マルチプレクサ機能」)

■ マルチプレクサ機能関連ボタンの動作／動作表

◆ カメラ番号ボタンの動作

カメラ番号ボタンを押すと、そのカメラ番号に接続されたカメラの映像が1画表示になります。また、分割／シーケンシャル画面表示中でも、カメラ番号ボタンを押すことによって、特定のカメラの1画表示に切り換えることができます。

◆ 分割／シーケンスボタンの動作

分割／シーケンスボタンを押すことにより、マルチプレクサ設定の各分割表示位置で設定された下記の表示モードを、順に表示することができます。

表示できるモード

「9分割」、「4分割(a)」、「4分割(b)」、「4分割(c)」、「4分割シーケンシャル」、「1画シーケンシャル」

- ▶ 記録内容の再生中は、下線部の表示のみ、選択できます。
- ・ <HDD運用設定>画面の「カメラ切換再生」を「入」にすると、1画シーケンシャル再生をすることができます。
- ・ 分割表示の位置は、<マルチプレクサ設定>画面の「4分割表示位置」、「9分割表示位置」で設定できます。
- ・ カメラ映像の更新速度は、接続カメラ台数が多くなるほど遅くなります。<記録運用設定>画面の「通常間隔」または「ALM間隔」を「-----」にして、必要のないカメラを運用からはずしておくと、よりスムーズな映像を見ることができます。

画面を1画表示に戻したいときは…

カメラ番号ボタン(1～9)を押すと、分割／シーケンシャル表示が解除されて、押したボタンのカメラ番号の1画表示に戻ります。もう一度分割／シーケンスボタンを押すと、解除前の分割／シーケンシャル表示画面に戻ります。

- ❗ メニュー画面を同時に表示している場合は、カメラ番号ボタン(1～9)を押しても1画表示に戻りません。一度メニュー画面を消してから、カメラ番号ボタン(1～9)を押してください。

◆ 拡大ボタンの動作

1画表示中に拡大ボタンを押すことにより、表示中の映像を1倍、2倍または4倍に拡大することができます。

- ❗ 拡大表示機能は、1画表示中にのみ設定が可能です。また、移動ボタンを押すことにより、1倍画面のときのみ拡大中心点(X)を軸に上下左右へ移動できます。

1 1画表示中に、拡大ボタンを押す。

- ・ 1画表示の左上に「1倍」、画面の中心に拡大中心点(X)が表示されます。

2 画面を上下左右へ移動させる場合は、▲、▼、◀、▶ ボタンを押す。

- ▶ 拡大中心点の位置は、表示画面を変えたり電源を切っても記憶していますので、拡大して見たい場所があらかじめ決まっている場合などに便利です。

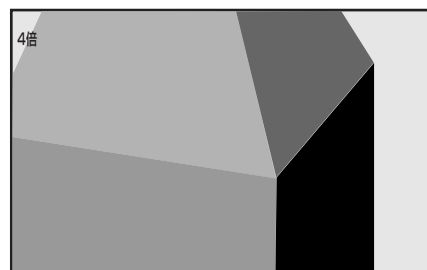
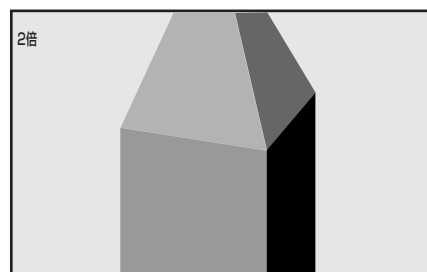
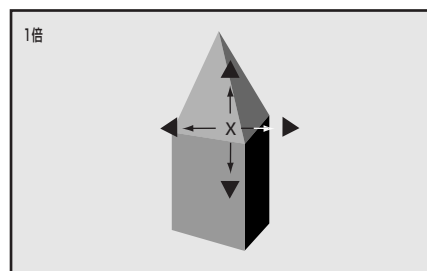
3 拡大ボタンを押す。

- ・ ボタンを押すたびに、画面が2倍、4倍、通常、1倍の順に切り換わります。

- ▶ 拡大機能は、記録内容の再生中にも使用することができます。

参考

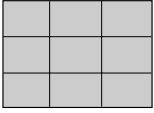


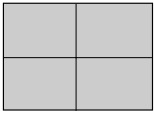


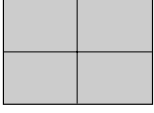


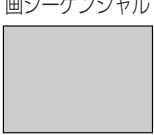






- ・ 複数台のカメラの記録映像を1画表示で再生中に、一時停止させて拡大操作を行うと、黒画面が表示されることがあります。この場合は、ジョグを回してコマを送ることにより、拡大画面を表示させることができます。
- ・ 本機の拡大表示機能は、電子拡大方式ですので、拡大時に画面細部がブロック状に見えることがあります。



◆ 分割／シーケンスボタン、拡大ボタン、カメラ番号ボタンの動作表

分割／シーケンスボタン、拡大ボタンおよびカメラ番号ボタンは、下記のように動作します。

- ① カメラから映像信号の入力がないカメラ番号の映像は、青く表示されます。また、「表示カメラ設定」を「無し」に設定しているカメラの映像は黒く表示されます。(70ページ「表示カメラ設定」)

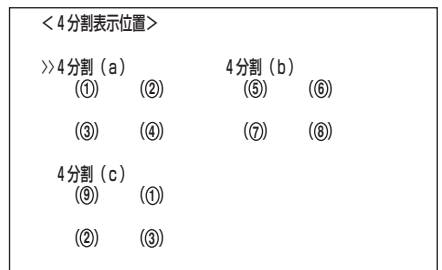
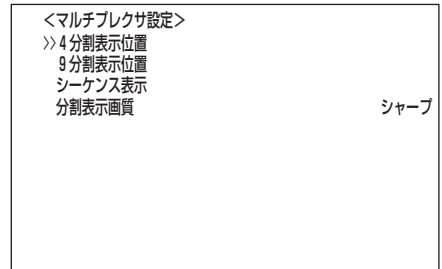
画面表示	分割／ シーケンスボタン	拡大ボタン	カメラ番号ボタンの動きと点灯・消灯	参照 ページ
9分割 	分割／シーケンス  消灯	拡大  消灯	<マルチプレクサ設定>→<9分割表示位置>画面で選択されているカメラ番号の映像を9分割表示します。映像表示中は、該当するカメラ番号ボタンが点灯します。	32
4分割 (a) 4分割 (b) 4分割 (c) 	分割／シーケンス  消灯	拡大  消灯	<マルチプレクサ設定>→<4分割表示位置>画面で選択されているカメラ番号の映像を4分割表示します。映像表示中は、該当するカメラ番号ボタンが点灯します。	32
4分割シーケンシャル  4分割表示が切り換わります	分割／シーケンス  点灯	拡大  消灯	<マルチプレクサ設定>→<シーケンス表示>画面で設定された4分割の映像を表示し、設定された切り換え時間で指定された順番に更新します。映像表示中は、該当するカメラ番号ボタンが点灯します。	33
1画シーケンシャル  1画表示が切り換わります	分割／シーケンス  点灯	拡大  消灯	<マルチプレクサ設定>→<シーケンス表示>画面で設定されたカメラ番号の映像を1画表示し、設定された切り換え時間で指定された順番に更新します。映像表示中は、該当するカメラ番号ボタンが点灯します。	33
1画表示	非拡大 モード時  消灯	拡大  消灯	表示中のカメラ番号ボタンが点灯します。	14,30
	拡大 モード時 (1倍、2倍、 4倍)  消灯	拡大  点灯	1倍、2倍、4倍で拡大表示中のカメラ番号ボタンが点灯します。	14,30
アラーム記録中及び 動き検知記録中 分割／シーケンシャル表示中 に、アラーム信号が入力され たとき			9分割、4分割、1画表示に関わらず、アラーム記録中のカメラ番号ボタンが点滅します。	56

<マルチプレクサ設定>(つづき)

■ 4分割表示位置

4分割表示位置では、a、b、cの3種類の4分割画面を設定することができます。

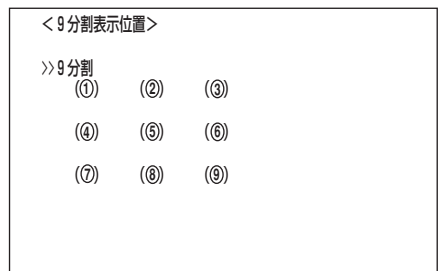
- 1 **設定ボタン** → **<設定>** → **<マルチプレクサ設定>画面の「4分割表示位置」を選択し、シャトルを右に回す。**
 - ・ <4分割表示位置>画面が表示されます。
 - 2 **ジョグを回して設定する分割表示(a、b、c)を選択し、シャトルを右に回す。**
 - ・ (1番左上の)カメラ番号が反転表示になります。
 - 3 **ジョグを回して反転表示を設定するカメラ番号に移動させ、シャトルを右に回す。**
 - ・ カメラ番号の背景が赤色表示に変わり、点滅します。
 - 4 **ジョグを回して設定するカメラ番号を表示させ、シャトルを回す。**
 - ・ 点滅がとまります。
- ❗ 1つの分割表示に同じカメラ番号を重複して設定できます。再生中は、重複したうちの一番若いカメラ番号の位置に映像が表示されます。
- 5 **ステップ3、4の操作を繰り返し、希望するカメラ番号を設定する。**
 - 6 **設定が完了したら、シャトルを左に回す。**
 - ・ 設定が確定し、カーソルが表示されます。
 - 7 **他の分割表示も設定する場合は、ステップ2~6の操作を繰り返す。**
 - 8 **すべての設定が完了したら、シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。**



❗ カメラ番号の点滅中は、<4分割表示位置>画面から抜けることはできません。

■ 9分割表示位置

- 1 **設定ボタン** → **<設定>** → **<マルチプレクサ設定>画面の「9分割表示位置」を選択し、シャトルを右に回す。**
 - ・ <9分割表示位置>画面が表示されます。
 - 2 **シャトルを右に回す。**
 - ・ (一番左上の)カメラ番号が反転表示になります。
 - 3 **ジョグを回して反転表示を設定するカメラ番号に移動させ、シャトルを右に回す。**
 - ・ カメラ番号の背景が赤色表示に変わり、点滅します。
 - 4 **ジョグを回して希望するカメラ番号を表示させ、シャトルを右に回す。**
 - ・ 点滅がとまります。
- ❗ 分割表示に同じカメラ番号を重複して設定できます。再生中は、重複したうちの一番若いカメラ番号の位置に映像が表示されます。
- 5 **ステップ3、4の操作を繰り返し、希望するカメラ番号を設定する。**
 - 6 **設定が完了したら、シャトルを左に回す。**
 - ・ 設定が確定し、カーソルが表示されます。
 - 7 **シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。**



❗ カメラ番号の点滅中は、<9分割表示位置>画面から抜けることはできません。

■ シーケンス表示

接続されたカメラの映像の、表示順序を自動的に切り換えたり、切換時間を設定することができます。
また、「4分割表示位置」で設定した3種類の分割表示を、自動的に切り換えたり、同じカメラを繰り返し表示することもできます。

1 設定ボタン → <設定> → <マルチプレクサ設定>画面の「シーケンス表示」を選択し、シャトルを右に回す。

- ・ <シーケンス表示>画面が表示されます。

<シーケンス表示>		
表示順	カメラ	切換時間
>>1	①	1秒
2	②	1秒
3	③	1秒
4	④	1秒
5	⑤	1秒
6	⑥	1秒
7	⑦	1秒
8	⑧	1秒
9	⑨	1秒
4分割	abc	1秒

2 希望する表示順(1~9)を選択し、シャトルを2回右に回す。

- ・ 1回目で「カメラ」番号が反転表示になり、2回目で背景が赤色表示に変わり、点滅します。
- ・ 設定項目(初期設定は「①」)

「①」、「②」、「③」、「④」、「⑤」、「⑥」、「⑦」、「⑧」、「⑨」、「—」

「—」：表示しません。

3 希望するカメラ番号を表示させ、シャトルを右に回す。

- ・ 設定項目が確定します。

4 ジョグを右に回して反転表示を「切換時間」に移動させ、シャトルを右に回す。

- ・ 「切換時間」の設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

5 希望する切換時間を表示させ、シャトルを右に回す。

- ・ 設定が確定し、点滅がとまります。
- ・ 切換時間は、1秒単位で最大30秒まで設定できます。

6 ステップ2~5の操作を繰り返し、他の表示順のカメラ番号と切換時間を設定する。

7-1 (4分割シーケンシャル表示の切り換え設定を行う場合は・・・)

「4分割」を選択し、シャトルを2回右に回す。

- ・ 1回目で設定項目が反転表示になり、2回目で背景が赤色表示に変わり、点滅します。

7-2 希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。

- ・ 設定項目が確定します。
- ・ 設定項目(初期設定は「abc」)

「abc」、「ab」

「abc」：4分割(a)、(b)、(c)をシーケンス表示します。

「ab」：4分割(a)、(b)をシーケンス表示します。

7-3 ジョグを右に回して「切換時間」に反転表示を移動させ、シャトルを右に回す。

- ・ 設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

7-4 希望する切換時間を表示させ、シャトルを右に回す。

- ・ 設定が確定し、点滅がとまります。

8 すべての設定が完了したら、シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

■ 分割表示画質

カメラの映像を分割表示する場合の画質を設定することができます。

設定項目(初期設定は「シャープ」)

「シャープ」：映像の細部を見ることができます。

「ソフト」：画面のちらつきを押さええます。

- ❗ 「分割表示画質」を「ソフト」に設定すると、4分割、9分割表示中の映像のフリッカー(ちらつき)を軽減できますが、垂直解像度が落ちます。

1 設定ボタン → <設定> → <マルチプレクサ設定>画面の「分割表示画質」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<マルチプレクサ設定>	
4分割表示位置	
9分割表示位置	
シーケンス表示	
>>分割表示画質	シャープ

<動き検知設定>

このメニューは、カメラから取り込んだ映像に対し、映像内での動きの変化を検知してアラーム記録を開始する、動き検知機能の条件を設定するためのものです。

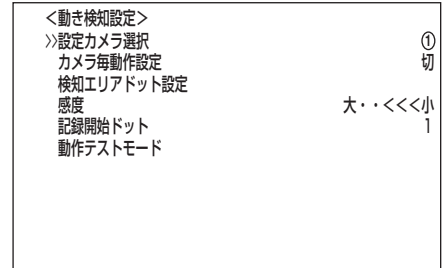
■ 設定カメラ選択

ここでは、動き検知設定をするカメラを選択します。カメラごとに設定を行なえるので、より細かい設定が可能となります。

設定項目（初期設定は「①」）

「①」、「②」、「③」、「④」、「⑤」、「⑥」、「⑦」、「⑧」、「⑨」

- ① 任意のカメラ番号を1画表示している状態から<動き検知設定>画面を表示させた場合は、その任意のカメラ番号が「設定カメラ選択」の初期状態設定値として表示されます。



1 設定ボタン → <設定> → <動き検知設定>画面の「設定カメラ選択」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 「設定カメラ選択」設定を確定すると、背景画面は選択されたカメラ番号の映像に切り換わります。

3 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

- ① <動き検知設定>のメニュー画面を表示させた状態では、動き検知機能は働きません。

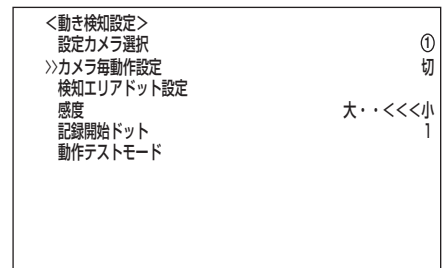
■ カメラ毎動作設定

ここでは、接続しているカメラごとに、個別に動き検知機能の有効/無効を選択します。この設定を有効にして、初めて選択で指定した設定カメラの動き検知が動作します。

- ① カメラごとに動き検知を「入」にしてください。

設定項目（初期設定は「切」）

「入」：接続しているカメラの動き検知機能を有効にします。
「切」：接続しているカメラの動き検知機能を無効にします。



1 上記「設定カメラ選択」に、動き検知機能の有効/無効を設定したいカメラを選択する。

2 「カメラ毎動作設定」で、希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。

・設定が確定し、点滅がとまります。

■ 検知エリアドット設定

ここでは、動き検知機能を有効にするエリアを設定します。接続しているカメラごとに、個別に取り込んだ映像を16×12に均等分割してドット表示した192の検知エリアから任意に選択し、設定することができます。

設定マークの意味（初期設定は、全エリアが「●」（有効））

「●」：動き検知機能が有効なエリアを示します。
「・」：動き検知機能が無効なエリアを示します。

- 📍 カメラ1台につき複数箇所のエリアが設定できます。

画面の設定例)

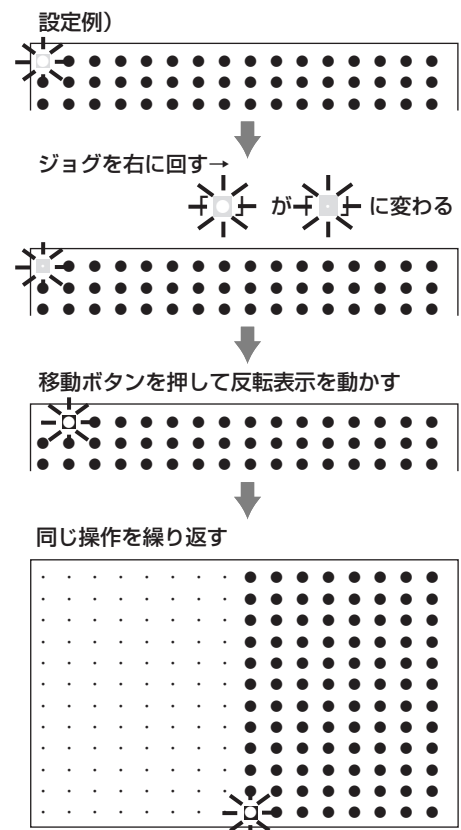
設定カメラ選択で設定したカメラから取り込んだ映像に対し、

- ・画面右半分を動き検知機能が有効なエリアとして、「●」を表示させる。
- ・画面左半分を動き検知機能が無効なエリアとして、「・」を表示させる。

1 上記「設定カメラ選択」で、検知エリアを設定したいカメラを選択する。

2 「検知エリアドット設定」を選択し、シャトルを右に回す。

・検知エリアのドット画面が表示され、一番左上のドットの背景が赤色表示になり、点滅します。



- 3 ◀、▶、▲、▼ボタンで有効／無効を変更したいドットを選択し、ジョグを右に回す。
・「●」(有効)設定が「・」(無効)設定に変わります。
 - ➡ 分割/シーケンスボタンを押すとすべてのドットが「●」(有効)設定に変わり、拡大ボタンを押すとすべてのドットが「・」(無効)設定に変わります。
 - 4 ステップ3の操作を繰り返し、有効／無効を変更したいすべてのドットを選択し、変更する。
 - 5 シャトルを左に回す。
・設定が確定し、1つ前の<動き検知設定>画面に戻ります。
- ❗ 検知エリアドット設定中は、他の設定を受け付けません。設定途中でメニュー画面を抜ける場合は、シャトルを左に回してください。

■ 感度

ここでは、取り込んだ映像データの変化を検知する感度を設定します。1台のカメラにつき、約0.5秒ごとに映像データをサンプリングして約0.5秒前の映像と比較し、それぞれの輝度の差を5段階に分けて感度として設定することができます。

設定項目(初期設定は「大・・・<<<小」)

「大・・・・<小」、「大・・・・<<小」、「大・・・<<<小」、「大・<<<<小」、
「大<<<<<小」

- ➡ 「大・・・・<小」～「大<<<<<小」と“<”が増えるごとに感度が高くなります。
- ➡ わずかな変化で感知させたいときは、「大<<<<<小」を選択してください。ただし、その場合、蛍光灯のちらつきなどで誤動作する場合がありますので、ご注意ください。

- 1 ④ 34ページ「設定カメラ選択」で、感度を設定したいカメラを選択する。
- 2 「感度」に希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。
・設定が確定します。

■ 記録開始ドット

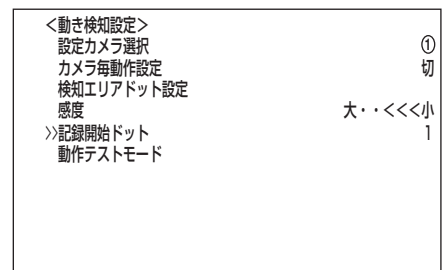
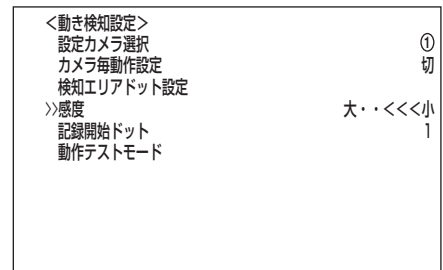
ここでは、検知エリアの有効ドット数に対し、動き検知の動作を開始するための最低ドット数を設定します。これにより、設定された最低ドット数以上で変化を検出した場合、動き検知が動作します。

設定項目(初期設定は「1」)

「1」、「2」、…、「192」

- ❗ 記録開始ドット数は、検知エリアの有効ドット数を上限値として設定してください。それ以上の数値を設定すると、動き検知機能は動作しません。


- 1 ④ 34ページ「設定カメラ選択」で、記録開始ドット数を設定したいカメラを選択する。
- 2 「記録開始ドット」に希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。
・設定が確定します。

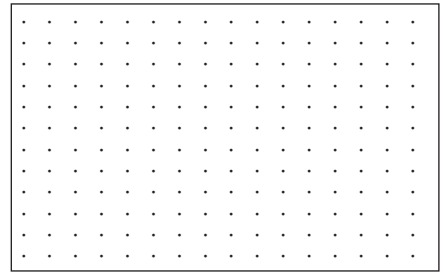


<動き検知設定>(つづき)

■動作テストモード

ここでは、これまでに設定してきた動き検知の動作の確認を行います。

- 1  34ページ「設定カメラ選択」で、動作テストをしたいカメラを選択する。
- 2 次段の「カメラ毎動作設定」に「入」を表示させ、シャトルを右に回す。
 - ・設定が確定します。
- 3 「動作テストモード」を選択し、シャトルを右に回す。
 - ・動作テストが始まります。
- 4 「動作テストモード」を終了する場合は、シャトルを左に回す。
 - ・動作テスト中は、動き検知の有効エリアを画面上に「・」で表示します。感度、記録開始ドット数のそれぞれの設定条件を満たして動き検知されたと認識した場合、画面上に「●」を表示します。意図するような動作をしていないときは、設定し直してください。



動き検知の注意事項

- ・連続して変化が検出されている場合、アラーム記録も連続するため、設定変更などの機能を受け付けられません。このとき、アラームホールドボタンを押すことにより、5分間動き検知機能を強制的に停止させることができます。この間に設定変更などを行うことができます。この停止は、5分後自動的に復帰し障害ログリストに履歴が残されます。アラームホールドを解除する場合は、もう一度アラームホールドボタンを押してください。
- ・動き検知設定が有効な場合は、ALARM IN端子が接地されるか動きを検出するかのどちらかにより、アラーム記録を開始します。アラーム記録時の入力信号は、後面部のALARM IN端子が常に優先されます。
- ・動き検知インジケータは、動き検知機能が動作中に点灯し、動き検知中に点滅します。
- ・本機の動き検知は、特に感度を高く設定している場合、入力される映像信号の状態などにより誤動作する場合があります。本機の動き検知を使って発報するシステムなどに接続しているときは、誤動作にご注意ください。
- ・動き検知でアラーム記録を行いたいときは、<記録運用設定>画面の該当するカメラ番号の「ALM間隔」を、必ず「-----」以外に設定してください。
- ・<動き検知設定>画面の項目を設定中は、検知記録動作はしません。

<マニュアル記録設定>

■ 通常記録、アラーム記録に関する設定

本機は、通常記録とアラーム記録の設定項目を独立して個別に設定することができます。これにより、通常記録設定を保持したままアラーム信号を入力したカメラのみ記録間隔を変更したり、より細かな設定が可能です。

- ❗ アラーム記録中は、一部の設定・運用変更が制限されます。アラームホールドボタンを押し、追加するアラーム入力を止め、記録を停止させることにより制限を解除することができます。
- ❗ 記録中は、<記録運用設定>画面の設定項目を変更することはできません。ご注意ください。
- ❗ カメラが接続されていないカメラ番号を記録運用カメラに設定した場合、「映像信号無し」の警告表示がでます。(☞98ページ「警告表示とCALL OUT信号の出力」)

■ 通常記録・アラーム記録の記録運用設定

ここでは、通常記録時の記録間隔、記録画質とアラーム記録時の記録間隔、記録画質とプリアラーム記録の有無を設定することができます。(通常記録に関しては、☞17,18ページ「基本的なマニュアル記録のしかた」)

プリアラーム記録とは、アラーム記録時に本機後面部のALARM IN端子が接地または、動き検出される(数秒)前からの映像を記録させることです。(☞56ページ「プリアラーム記録」)

1 設定ボタン → <設定> → <マニュアル記録設定>画面の「記録運用設定」を選択し、シャトルを右に回す。

- ・ <記録運用設定>画面が表示されます。

2 ジョグを回してカーソルをアラーム記録時のカメラ選択項目に移動させ、シャトルを右に回す。

- ・ 設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。
- ・ 設定項目(初期設定は「アラームプラスCH」)

「オールCH」 : アラーム記録時に運用設定したすべてのカメラでアラーム記録します。

「アラームCH」 : アラーム記録時に運用設定したカメラのうち、アラーム信号が入力したカメラのみでアラーム記録を行います。複数のカメラにアラーム信号が入力した場合、アラーム信号が入ったすべてのカメラでアラーム記録を行います。

「アラームプラスCH」 : 通常記録中にアラーム信号が入力されたカメラのみ、記録コマ数がALM間隔設定のコマ数で記録され、他のカメラは通常間隔で記録します。

3 希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。

- ・ 設定が確定し、点滅がとまります。

4 (通常記録の記録間隔、記録画質を設定する場合は・・・)

ジョグを回して希望するカメラ番号を選択し、シャトルを2回右に回す。

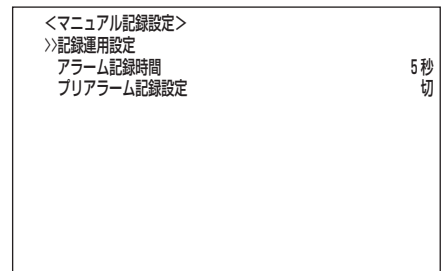
- ・ 1回目で「通常間隔」の設定項目が反転表示になり、2回目で背景が赤色表示に変わり、点滅します。

- ・ 通常間隔の設定項目(初期設定は「0.6秒」)

「0.3秒」、「0.6秒」、「0.9秒」、「1.2秒」、「1.5秒」、「1.8秒」、「3秒」、「4.5秒」、「9秒」、「18秒」、「36秒」、「72秒」、「-----」

「-----」: 設定したカメラでは記録を行いません。

- ☛ 通常記録に関する設定方法、☞17,18ページ「通常記録のための記録間隔と記録画質を設定する」。



<記録運用設定>			アラーム記録時のカメラ選択項目	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔	ALM画質
①	0.6秒	スタンダード	0.6秒	スタンダード
②	0.6秒	スタンダード	0.6秒	スタンダード
③	0.6秒	スタンダード	0.6秒	スタンダード
④	0.6秒	スタンダード	0.6秒	スタンダード
⑤	0.6秒	スタンダード	0.6秒	スタンダード
⑥	0.6秒	スタンダード	0.6秒	スタンダード
⑦	0.6秒	スタンダード	0.6秒	スタンダード
⑧	0.6秒	スタンダード	0.6秒	スタンダード
⑨	0.6秒	スタンダード	0.6秒	スタンダード
<見積り時間>			□□□時間□分	

見積り時間に関しては、☞94ページ「連続記録可能時間表」を参考にしてください。

<マニュアル記録設定>(つづき)

- 5 希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。
 - ・ 設定が確定し、点滅がとまります。
- 6 ジョグを右に回して「通常画質」の設定項目を反転表示させ、シャトルを右に回す。
 - ・ 通常画質の設定項目の背景が赤色表示され、点滅します。
 - ・ 通常画質の設定項目(初期設定は「スタンダード」)
「スーパー」、「ハイ」、「スタンダード」、「ベーシック」、「ロング」
- 7 希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。
 - ・ 設定が確定し、点滅がとまります。
- 8 (アラーム記録の記録間隔、記録画質を設定する場合は・・・)
ステップ4～7を繰り返し、「ALM(ALARM)間隔」、「ALM(ALARM)画質」も同様に希望する設定項目を選択する。
- 9 設定が完了するとシャトルを左に回す。
 - ・ カーソルがカメラ番号の左どなりへ移動します。
- 10 引き続き、他のカメラ番号を設定する場合は、ジョグを回して希望するカメラ番号までカーソルを移動させ、ステップ4～9を繰り返し設定する。
- 11 すべての設定が完了するとシャトルを左へ回す、または設定ボタンを押す。

■ アラーム記録時間

アラーム記録時の記録時間を設定することができます。

設定項目(初期設定は「5秒」)

「2秒」、「5秒」、「10秒」、「15秒」、「30秒」、「45秒」、「1分」、「2分」、「5分」、「10分」、「20分」、「30分」、「60分」、「接点」

「接点」：ALARM IN端子の接地が解除されるまでアラーム記録を続けます。

- 1 設定ボタン → <設定> → <マニュアル記録設定>画面の「アラーム記録時間」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。
- 2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

■ プリアラーム記録設定

この設定ではプリアラーム記録の入/切と、プリアラーム記録時の記録時間を設定することができます。

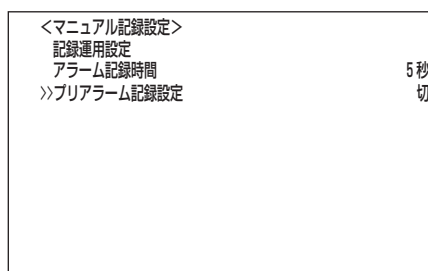
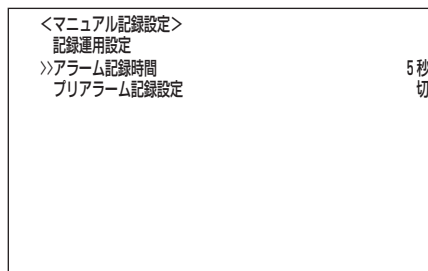
設定項目(初期設定は「切」)

「切」、「短」、「中」、「長」

👉 具体的なプリアラーム記録時間については、📖 95ページ「プリアラーム記録時間表」。

❗ 「プリアラーム記録設定」で「短」、「中」、「長」のいずれかを選択した場合は、「記録運用設定」、「アラーム記録時間」の設定内容を変更することはできません。設定変更する場合は、「プリアラーム記録設定」を「切」に選択し直してください。

- 1 設定ボタン → <設定> → <マニュアル記録設定>画面の「プリアラーム記録設定」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。
- 2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。



<タイマー記録設定>

■ タイマー記録設定

よく使用する運用パターンをあらかじめ3種類まで設定しておくことができます。さらに、通常記録/アラーム記録時の運用カメラ、記録間隔、記録画質を記録運用設定A~Dに個別に設定しておくことにより、運用を切り換えるだけで設定でき非常に便利です。

- ① 記録する前に、あらかじめ日付と現在時刻を正確に合わせておいてください。
(☞15,16ページ「日付・時刻の合わせかた」)

■ タイマー設定

◆ <タイマー設定>画面の構成

1) プログラム番号

1つの運用で最高8つのプログラム設定を行うことができます。

2) 曜日

「日」から「土」までを指定できます。

「毎日」：毎日同じ時刻に記録するとき。

「指定」：下の「9)指定曜日」で設定した期間に記録するとき。

「休日」：<タイマー休日設定>画面で指定した休日に記録をするとき。

3) 記録開始時刻

時刻は、24時間表示です。

- ① 予約時刻が重なってしまった場合は、プログラム番号の大きい方のプログラムが優先して記録されます。

4) 翌日表示 : 記録が翌日までおよぶときにこのマークが表示されます。

5) 記録終了時刻

6) 運用

「A運用」~「D運用」：<タイマー記録設定>画面の「記録運用設定 A」から「記録運用設定 D」で設定した、カメラ運用の種類と記録間隔で記録するとき。(☞41ページ「通常記録・アラーム記録の記録運用設定A~D」)

「スキップ」 : 一時的にタイマー記録を休止するとき。(そのプログラム番号の指定時間帯の記録は行われません。)

7) 動検知

動き検知機能の「入」、「切」を指定することができます。

8) 選択したタイマー設定番号(P1~P3)が表示されます。

9) 指定曜日

開始曜日と終了曜日を設定します。上の2) 曜日で「指定」を選択した場合、ここで設定された開始曜日から終了曜日までの期間が有効となります。

設定例) 「タイマー設定 P2」のプログラム番号1に、指定曜日水曜日から土曜日の12:30から13:00まで、動き検知機能を有効「入」にして「記録運用設定 A」でタイマー記録するとき。

1 設定ボタン→<設定>→<タイマー記録設定>画面を表示させる。

2 カursorが<タイマー設定>の左どなりにあることを確認して、シャトルを2回右に回す。

・1回目で設定項目「P1」が反転表示になり、2回目で背景が赤色表示に変わり、点滅します。

3 ジョグを回して「P2」を選択し、シャトルを右に回す。

・設定が確定し、点滅がとまります。

4 ジョグを右に回して「設定」を反転表示させ、シャトルを右に回す。

・<タイマー設定>の画面が表示されます。

1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)
<タイマー設定>							
>>1	曜日	開始時刻	終了時刻	運用	P1		
2	---	---	---	---	---	---	---
3	---	---	---	---	---	---	---
4	---	---	---	---	---	---	---
5	---	---	---	---	---	---	---
6	---	---	---	---	---	---	---
7	---	---	---	---	---	---	---
8	---	---	---	---	---	---	---
指定曜日		土 - 日					

9)

<タイマー記録設定>		P1-設定
>>タイマー設定		
タイマー休日設定		
記録運用設定 A		通常・アラーム記録-設定
記録運用設定 B		通常・アラーム記録-設定
記録運用設定 C		通常・アラーム記録-設定
記録運用設定 D		通常・アラーム記録-設定
アラーム記録時間		5秒
プリアラーム記録設定		短

<タイマー設定>						P 2
>>1	曜日	開始時刻	終了時刻	運用	動検知	
2	---	---	---	---	---	---
3	---	---	---	---	---	---
4	---	---	---	---	---	---
5	---	---	---	---	---	---
6	---	---	---	---	---	---
7	---	---	---	---	---	---
8	---	---	---	---	---	---
指定曜日		土 - 日				

<タイマー記録設定>(つづき)

- 5 カーソルがプログラム番号「1」の左どなりにあることを確認し、シャトルを2回右に回す。
 ・1回目で設定項目「曜日」が反転表示になり、2回目で背景が赤色表示に変わり、点滅します。
- 6 ジョグを回して「曜日」の項目に「指定」を表示させ、シャトルを右に回す。
 ・設定が確定し、点滅がとまります。
 ❶ 間違った曜日を選択した場合は、シャトルを右に回したあと、ジョグで正しい曜日を表示し、シャトルをもう一度右に回してください。
- 7 ジョグを右に回して、反転表示を開始時刻の“時間の位”へ移動させ、シャトルを右に回す。
 ・開始時刻の時間の位の背景が赤色表示に変わり、点滅します。
- 8 ジョグを回して開始時刻の“時間の位”に「12」を表示させ、シャトルを右に回す。
 ・設定が確定し、点滅がとまります。
- 9 ステップ7、8の操作を繰り返し、開始時刻の“分の位”を「30」に、終了時刻の“時間の位”を「13」に、“分の位”を「00」にして確定する。
- 10 ジョグを右に回して反転表示を「運用」に移動させ、シャトルを右に回す。
 ・「運用」の設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。
- 11 ジョグを回して「運用」の項目に「A運用」を表示させ、シャトルを右に回す。
 ・設定が確定し、点滅がとまります。
- 12 ジョグを右に回して反転表示を「動検知」に移動させ、シャトルを右に回す。
 ・「動検知」の設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。
- 13 ジョグを回して「動検知」の項目に「入」を表示させ、シャトルを右に回す。
 ・設定が確定し、点滅がとまります。
- 14 他のプログラム番号に連続してタイマー予約を入力する場合は、ステップ5～13を繰り返す。
- 15 ジョグを回して指定曜日を選択し、シャトルを2回右に回す。
 ・1回目で「開始曜日」が反転表示になり、2回目で背景が赤色表示に変わり、点滅します。
- 16 ジョグを回して開始曜日の項目に「水」を表示させ、シャトルを右に回す。
 ・設定が確定し、点滅がとまります。
- 17 ジョグを回して反転表示を終了曜日に移動させ、シャトルを右に回す。
 ・「終了曜日」の背景が赤色表示に変わり、点滅します。
- 18 ジョグを回して終了曜日の項目に「土」を表示させ、シャトルを右に回す。
 ・設定が確定し、点滅がとまります。
- 19 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。
 ・シャトルを左に回すとカーソルが1つ前の動作に戻り、設定ボタンを押すと<タイマー記録設定>画面が消え通常画面に戻ります。

<タイマー設定>						P 2
	曜日	開始時刻	終了時刻	運用	動検知	
>>1	指定	12:30	13:00	A運用	入	
2	---	---	---	---	---	
3	---	---	---	---	---	
4	---	---	---	---	---	
5	---	---	---	---	---	
6	---	---	---	---	---	
7	---	---	---	---	---	
8	---	---	---	---	---	
	指定曜日	水 - 土				

❶ プログラム内に未設定の項目(—表示)がある場合は、シャトルを左に回しても設定画面から抜けることはできません。そのときは、未設定の項目をすべて設定してください。

- 20 タイマーボタンを押す。
 ・タイマーボタンが点灯します。
 ・現在時刻がタイマー予約設定時刻内であれば、タイマー記録が開始されます。
 ・現在時刻がタイマー予約設定時刻外であれば、電源が切れて記録待機状態になります。
 ・もう一度タイマーボタンを1秒以上連続で押すと、タイマー記録/タイマー記録待機状態は解除されます。

❶ アラーム記録中は、タイマーボタンは働きません。

❶ プログラム内容を消去したい場合や、設定をせずに途中でプログラムを抜きたい場合は、プログラム設定中に警告消去ボタンを押してください。

■ タイマー休日設定

年間の休日をあらかじめ設定することができます。

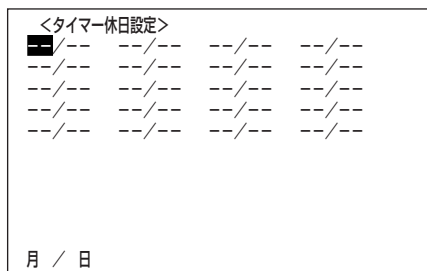
- 1 設定ボタン → <設定> → <タイマー記録設定>画面の「タイマー休日設定」を選択し、希望する休日を表示させ確定する。
- 2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

① <タイマー休日設定>で休日を設定し、<タイマー設定>の曜日設定で「休日」を選択した場合に、「休日」を選択したプログラムが他のプログラムに対し優先して記録されます。

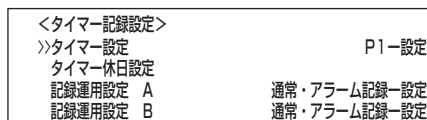
■ 通常記録・アラーム記録の記録運用設定A～D

通常記録/アラーム記録時の運用カメラ、記録間隔、記録画質を記録運用設定A～Dの4つのパターンにあらかじめ設定することが可能です。(☞17,18ページ「通常記録のための記録間隔と記録画質を設定する」、☞37,38ページ「通常記録・アラーム記録の記録運用設定」)

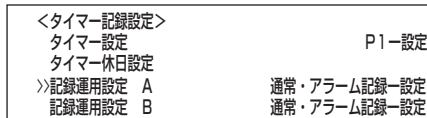
- 1 設定ボタン → <設定> → <タイマー記録設定>画面の「記録運用設定 A」を選択し、シャトルを右に回す。
- 2 ジョグを回して希望する選択項目「通常・アラーム記録」または「プリアラーム」を選択し、確定する。
設定項目(初期設定は「通常・アラーム記録」)
「通常・アラーム記録」 : 通常記録、アラーム記録ができ、プリアラーム記録はできません。
「プリアラーム」 : アラーム記録、プリアラーム記録ができ、通常記録はできません。
- 3 他の記録運用設定 B～Dも設定する場合は、ステップ2の操作を繰り返し、設定する。



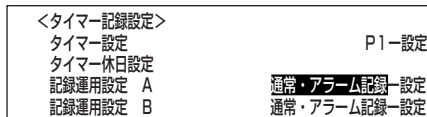
設定例)



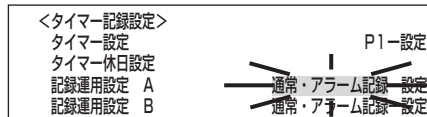
ジョグを右に回す→記録運用設定 Aに移動



シャトルを右に回す→設定項目が反転表示



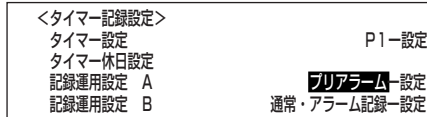
シャトルを右に回す→設定項目が点滅



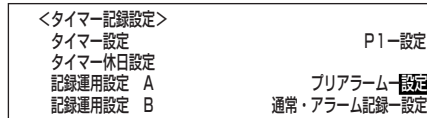
ジョグを回して「プリアラーム」を選択



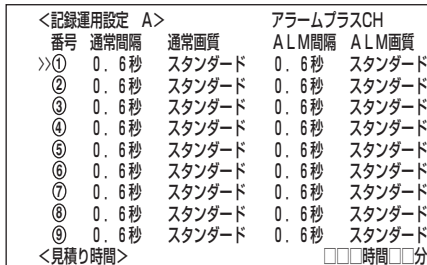
シャトルを右に回して確定→点滅がとまる



ジョグを右に回す→反転表示が右に移動



シャトルを右に回す
→<記録運用設定 A>画面表示へ



<タイマー記録設定>(つづき)

■ アラーム記録時間

アラーム記録時の記録時間を設定することができます。(☞38ページ「アラーム記録時間」)

■ プリアラーム記録設定

プリアラーム記録時の記録時間を設定することができます。

設定項目(初期設定は「短」)

「短」、「中」、「長」

➡ 具体的なプリアラーム記録時間については、☞95ページ「プリアラーム記録時間表」。

1 設定ボタン → <設定> → <タイマー記録設定>画面の「プリアラーム記録設定」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<タイマー記録設定>		
タイマー設定		P1-設定
タイマー休日設定		
記録運用設定 A		通常・アラーム記録-設定
記録運用設定 B		通常・アラーム記録-設定
記録運用設定 C		通常・アラーム記録-設定
記録運用設定 D		通常・アラーム記録-設定
アラーム記録時間		5秒
>>プリアラーム記録設定		短

設定ミスがあると記録は行われません。タイマー記録のミスを防ぐために本機は、下図のような方法でミスをお知らせします。適切な処置を行ってください。

本機の状態	エラーの内容	処置	ページ
タイマーボタンが点滅する。(ピッピッピッとブザーが鳴ります)	1) 日付・時刻が未設定である。 2) タイマー予約した設定が予約運用設定されていない。 3) プログラムの設定中である。	1) 日付・時刻を設定する。 2) 正しい予約運用を設定する。 3) 設定を確定する。	15 39,40 39,40
タイマー記録に設定した時間なのにタイマー記録の状態にならない。	・ <HDD運用設定>画面の「HDDリピート記録」の設定を「切」にしている場合に、HDDの記録容量が無くなった。	・ 警告消去ボタンを押し、警告表示を消す。 ・ 「HDDリピート記録」の設定を「入」にする。	98 44

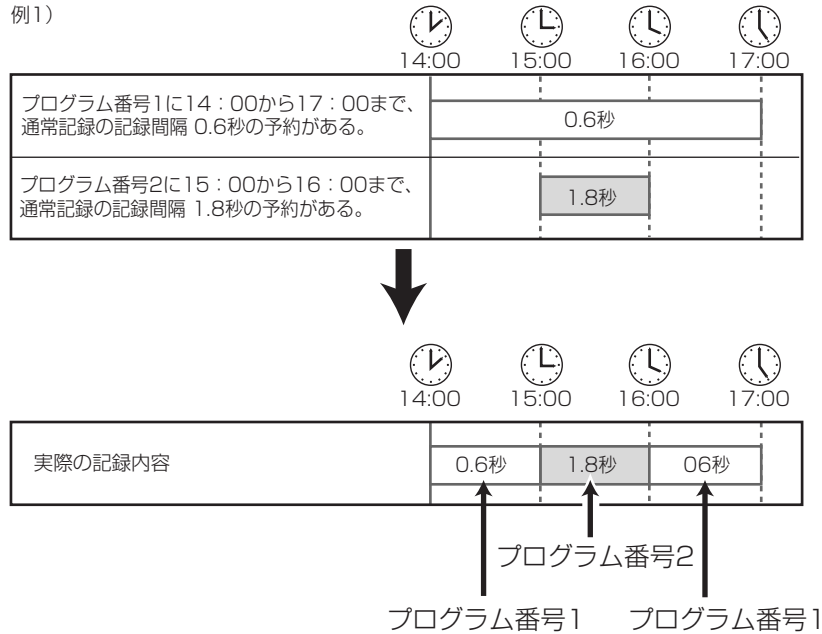
・予約時刻が重なってしまった場合は

予約時刻が重なってしまった場合は、プログラム番号の大きい方のプログラムが優先して記録されます。
例1)

・プログラム番号1に14:00から17:00まで通常記録の記録間隔 0.6秒。

・プログラム番号2に15:00から16:00まで通常記録の記録間隔 1.8秒。

の2つの設定がされています。これらの設定では15:00から16:00の1時間に2つの記録予約が重なっているために、その時間内はプログラム番号2の予約が優先され、実際の記録は下図例1)のようになります。

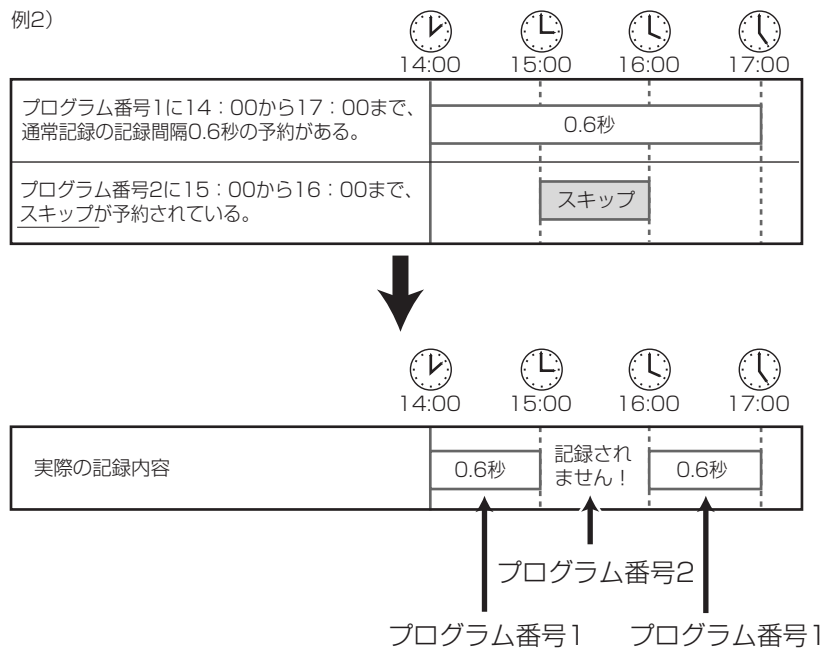


例2)

・プログラム番号1に14:00から17:00まで通常記録の記録間隔 0.6秒。

・プログラム番号2に15:00から16:00までスキップ。

この設定では15:00から16:00の1時間に2つのタイマー設定が重なっているために、その時間内はプログラム番号2の予約が優先され、実際の記録は下図例2)のように15:00から16:00までスキップされます。



<基本設定・情報表示>

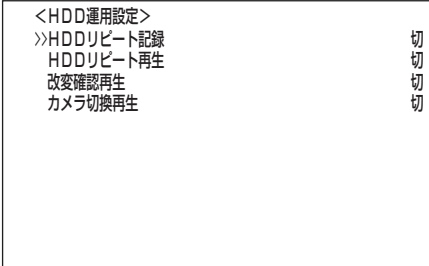
■ HDD運用設定

◆ HDDリピート記録

記録中にHDDの記録容量がなくなったときの動作を設定します。

設定項目(初期設定は「切」)

- 「入」 : 自動的にHDDの最初まで戻り、再び記録(上書き)を始めます。
- 「記録待機」 : 記録中にHDDの容量がなくなると、記録が停止し記録待機状態になります。その後REC端子が接地されるか、または記録ボタンを押すと再び記録を始めます。(参照56,57ページ「シリーズ記録」)アラーム入力の接点が一時的に接地されつづけているときや、タイマー記録中は、一時記録を停止し、その後HDDの最初から記録を再開します。
- 「切」 : 記録を停止し、画面に「記録フル」と表示します。再び記録をするときは、警告消去ボタンを押して警告表示を解除してから、記録ボタンを押します。



1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <HDD運用設定>画面の「HDDリピート記録」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

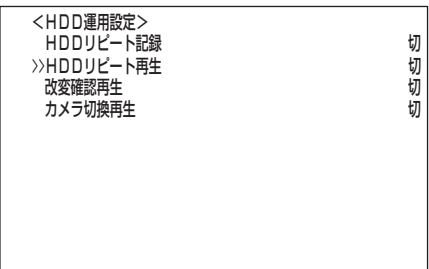
2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

◆ HDDリピート再生

HDDに記録されている内容を、繰り返し再生することができます。

設定項目(初期設定は「切」)

- 「入」 : 記録されているデータの終わりまで再生すると、自動的に記録されているデータの最初まで戻り、再び再生を始めます。
- 「切」 : 記録されているデータの終わりまで再生すると、停止します。



1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <HDD運用設定>画面の「HDDリピート再生」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

◆ 変更確認再生

この機能は、本機で記録した映像や記録日時に変更処理が施されたかどうかを確認するための機能です。変更が確認されると「データ改ざんエラー」警告が表示されます。

設定項目(初期設定は「切」)

- 「入」 : 再生中に、変更処理識別を行い、変更部分で警告を表示します。
- 「切」 : 変更処理識別を行いません。

❗ 記録、再生時に支障をきたす場合がありますので通常は、「切」に設定してください。

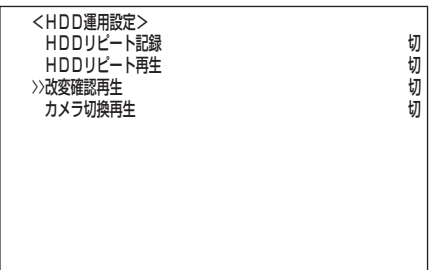
1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <HDD運用設定>画面の「変更確認再生」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

3 変更処理識別したいデバイスを選択し、再生する。

❗ 何らかの原因で記録データが破損した部分を再生した場合にも、警告を表示します。

❗ 変更確認中にシャトルで煩雑な再生操作を行うと警告表示「データ改ざんエラー」が表示されることがあります。変更確認は、再生もしくは再生間隔変更による再生で行ってください。



◆ カメラ切替再生

本機の記録映像をアナログビデオ記録装置などにバックアップする場合に、各カメラの映像を順番に1画表示で再生して、バックアップすることができます。

1画シーケンシャル再生中は、分割/シーケンスボタンが点灯します。

また、各カメラの再生順番/時間は、記録した映像の順番となります。

設定項目(初期設定は「切」)

「入」：1画シーケンシャル再生されます。

「切」：1画シーケンシャル再生されません。

- ➡ 再生間隔0.03秒でカメラ切替再生されます。再生間隔を変更する場合は、再生ボタン(逆再生ボタン)を押してください。(59ページ「再生間隔の変更」)

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <HDD運用設定>画面の「カメラ切替再生」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

3 再生ボタンを押す。

4 記録されているカメラ番号のいずれか1つのカメラ番号ボタンを押す。
・1画シーケンシャル再生をはじめます。

- ➡ 記録間隔の長い映像をカメラ切替再生するとき、記録するときに選択した1番大きいカメラ番号の再生される映像は、長く再生されます。

- ➡ 押したカメラ番号ボタンのカメラ番号(タイトル)のみを表示し、他のカメラ番号に対応したカメラ番号(タイトル)表示はしません。表示が不要な場合は、<カメラ表示設定>画面で「無」を選択してください。

<HDD運用設定>
HDDリポート記録
HDDリポート再生
変更確認再生
>>カメラ切替再生

切
切
切
切

■ 音声記録設定

本機は、映像と共に音声を記録することができます。音声記録をすると連続記録可能時間は音声記録をしないときに比べ、短くなります。ご注意ください。

設定項目(初期設定は「切」)

「入」：映像と共に音声を記録します。

「切」：音声を記録しません。

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示>画面の「音声記録設定」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

- ❗ 「音声記録設定」を「入」に設定した場合、<記録運用設定>、<記録運用設定 A>～<記録運用設定 D>画面の<見積り時間>の右どなりにスピーカマーク(🔊)が表示されます。

- ❗ 「音声記録設定」を「入」に設定しても下記の設定条件では音声記録できません。ご注意ください。

- ・通常記録を設定する場合、「記録運用設定」の「通常間隔」がすべて「3秒」より長く設定されていると音声記録できません。このとき、<見積り時間>の右どなりに(🔊 X)が表示されます。

- ・アラーム記録時のカメラ選択項目が下記の場合。

「オールCH」、「アラームCH」：アラーム記録時に運用設定したすべてのカメラの「ALM間隔」が「3秒」より長く設定されているとき。

「アラームプラスCH」：通常記録、アラーム記録に運用設定したすべてのカメラの「通常間隔」、「ALM間隔」が「3秒」より長く設定されているとき。

<基本設定・情報表示>
HDD運用設定
>>音声記録設定
I/O端子設定
通信設定
情報表示・保守設定

切

<記録運用設定>		アラームプラスCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔 ALM画質
>>①	0.6秒	スタンダード	0.6秒 スタンダード
②	0.6秒	スタンダード	0.6秒 スタンダード
③	0.6秒	スタンダード	0.6秒 スタンダード
④	0.6秒	スタンダード	0.6秒 スタンダード
⑤	0.6秒	スタンダード	0.6秒 スタンダード
⑥	0.6秒	スタンダード	0.6秒 スタンダード
⑦	0.6秒	スタンダード	0.6秒 スタンダード
⑧	0.6秒	スタンダード	0.6秒 スタンダード
⑨	0.6秒	スタンダード	0.6秒 スタンダード
<見積り時間> 〇〇		〇〇時間〇〇分	

<基本設定・情報表示>(つづき)

■ I/O端子設定

◆ MODE OUT 1~4

本機の状態を後面部のMODE OUT端子から出力(接点の短絡)することができます。MODE OUT端子は4つあり、端子ごとに個別に出力形態を設定できます。

設定項目(初期設定は「切」)

- 「記録中」 : 記録中に信号を出力します。
- 「再生中」 : 再生中に信号を出力します。
- 「残量」 : HDDの残量が後述の「残量検出位置」で指定した数値に達すると、信号を出力します。
- 「パワーオン」 : 本機の電源が入のときに信号を出力します。
- 「動き検知1」~「動き検知4」 : 動き検知記録中に検知したカメラの番号を、2進数表現で出力します。(MODE OUT1~MODE OUT4は連動します。) また、最後に入力された動き検知が2秒間保持されます。
- 「アラーム記録」 : アラーム記録中に信号を出力します。
- 「切」 : 信号を出力しません。

① MODE OUTによる残量警告は、記録中のみ出力されます。

- 1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <I/O端子設定> 画面を表示させる。
- 2 4つのMODE OUT端子のうち、信号を出力したい端子の「MODE OUT (1~4)」に希望する設定項目を表示させ確定する。
- 3 他の端子も設定する場合は、ステップ2の操作を繰り返す。
- 4 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

◆ ボタン音

本機前面部の操作ボタンやジョグ・シャトル操作時にボタン音が鳴るようにすることができます。

- 1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <I/O端子設定> 画面の「ボタン音」を選択し、希望の設定項目を表示させ確定する。
- 2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

◆ ブザー

HDDの残量数値が<I/O端子設定>画面の「残量検出位置」で設定した値になると、ブザーが鳴るようにすることができます。このほか、アラーム記録、エマージェンシー記録を開始したときや警告が表示されたときにも、ブザーを鳴らすことができます。

設定された残量数値に達したときのみブザーを鳴らすには…

- 1) <I/O端子設定>画面の「ブザー」で「残量」を選択する。
- 2) <I/O端子設定>画面の「残量検出位置」で残量数値を設定する。

設定された残量数値に達したときや警告が表示されたときにブザーを鳴らすには…

- 1) <I/O端子設定>画面の「ブザー」で「警告」を選択する。
- 2) <I/O端子設定>画面の「CALL OUT設定」でHDDの残量数値(HDD残量発報)を設定をする。

設定項目(初期設定は「切」)

設定項目	ブザー	「残量検出位置」で設定された残量数値に達したとき	障害が発生して警告表示されたとき	アラーム記録またはエマージェンシー記録を開始したとき
「残量」		鳴る	鳴らない	鳴らない
「警告」		鳴らない	鳴る	鳴らない
「アラーム」		鳴らない	鳴らない	鳴る
「切」		鳴らない	鳴らない	鳴らない

- 1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <I/O端子設定> 画面の「ブザー」を選択し、希望の設定項目を表示させ確定する。
- 2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<I/O端子設定>		
>>MODE OUT 1		切
MODE OUT 2		切
MODE OUT 3		切
MODE OUT 4		切
ボタン音		切
ブザー		切
残量検出位置		HDD-10%
CALL OUT設定		
エマージェンシー記録		10分

カメラ番号とMODE OUT出力の関係

番号	MODEOUT端子			
	1	2	3	4
①	○	×	×	×
②	×	○	×	×
③	○	○	×	×
④	×	×	○	×
⑤	○	×	○	×
⑥	×	○	○	×
⑦	○	○	○	×
⑧	×	×	×	○
⑨	○	×	×	○

○ : 信号を出力します
× : 信号を出力しません

<I/O端子設定>		
MODE OUT 1		切
MODE OUT 2		切
MODE OUT 3		切
MODE OUT 4		切
>>ボタン音		切
ブザー		切
残量検出位置		HDD-10%
CALL OUT設定		
エマージェンシー記録		10分

<I/O端子設定>		
MODE OUT 1		切
MODE OUT 2		切
MODE OUT 3		切
MODE OUT 4		切
ボタン音		切
>>ブザー		切
残量検出位置		HDD-10%
CALL OUT設定		
エマージェンシー記録		10分

◆ 残量検出位置

記録中にHDDの記録容量が少なくなったことを知らせる警告が出力可能です。そのとき残量数値を設定します。

- 記録中に記録容量が少なくなると、次のような方法で出力されます。
 - ・ <時刻・画面表示設定>画面の「画面表示形式」を「3」に設定しているときは、HDD使用量表示が点滅します。
 - ・ <I/O端子設定>画面の「ブザー」を「残量」に設定しているときは、ブザーが鳴ります。

デバイスの設定項目（初期設定は「HDD」）
 「HDD」：HDDの残量少の警告を発します。
 「切」：残量少に対する警告を発しません。

残量検出位置の設定項目（初期設定は「10%」）
 「2%」、「4%」、「6%」、「8%」、「10%」、「15%」、「20%」、「30%」、
 「40%」、「50%」

<I/O端子設定>		
MODE OUT 1		切
MODE OUT 2		切
MODE OUT 3		切
MODE OUT 4		切
ボタン音		入
ブザー		切
>>残量検出位置		HDD-10%
CALL OUT設定		
エマージェンシー記録		10分

- 1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <I/O端子設定>画面の「残量検出位置」を選択し、シャトルを2回右に回す。
 - ・ 1回目でデバイス設定項目が反転表示となり、2回目で背景が赤色表示に変わり、点滅します。
- 2 ジョグを回して希望するデバイスを表示させ、シャトルを右に回す。
 - ・ 設定が確定し、点滅がとまります。
- 3 ジョグを右に回して反転表示を残量数値へ移動させ、シャトルを右に回す。
 - ・ 残量数値の背景が赤色表示に変わり、点滅します。
- 4 ジョグを回して希望する残量数値を表示させ、シャトルを右に回す。
 - ・ 設定が確定し、点滅がとまります。
- 5 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

◆ CALL OUT設定

CALL OUT設定とは、本機が発する警告信号を後面部のCALL OUT端子から出力することにより、外部に知らせるための設定です。

- ① CALL OUT設定は、配線による誤動作を低減させるため、フォトプラ出力となっています。☞ 102ページ「CALL OUT出力端子」を参考に適切な接続を行ってください。

・ HDD残量発報

HDDの残量が設定した値になると、CALL OUT端子から信号を出力ならびに「記録/残量警告」表示を行います。

HDD残量発報の設定項目（初期設定は「切」）
 「2%」、「4%」、「6%」、「8%」、「10%」、「15%」、「20%」、「30%」、
 「40%」、「50%」、「切」

<CALL OUT設定>		
>>HDD残量発報		切
HDDフル		

- 1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <I/O端子設定> → <CALL OUT設定>画面の「HDD残量発報」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。
- 2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

- 警告消去ボタンを押すことにより、CALL OUTによるHDD残量警告の解除ができます。

参考 警告表示とCALL OUT信号の出力の関係は、☞ 98ページをごらんください。CALL OUT信号の出力項目で「共通」となっている警告表示は無条件に表示されますが、「選択」ではCALL OUT信号を出力する状態を追加して設定できます。たとえば、<I/O端子設定>画面の「ブザー」を「警告」に設定した場合、<CALL OUT設定>画面の「HDD残量発報」で設定した値に達したとき、ブザーを鳴らすことができます。

<基本設定・情報表示>(つづき)

・HDDフル

HDDの記録残量がなくなったとき、CALL OUT端子から信号を出力し、警告「記録フル」表示を行います。

HDDフルの設定項目(初期設定は「切」)

「入」: 記録残量がなくなったとき、信号を出力します。

「切」: 記録残量がなくなったとき、信号を出力しません。

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <I/O端子設定> → <CALL OUT設定>画面の「HDDフル」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<CALL OUT設定>	
HDD残量発報	切
>>HDDフル	切

◆エマージェンシー記録

エマージェンシー記録時の記録時間を設定することができます。

(☞ 56ページ「エマージェンシー記録」)

設定項目(初期設定は「10分」)

「1分」、「2分」、「5分」、「10分」、「20分」、「30分」、「60分」

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <I/O端子設定>画面の「エマージェンシー記録」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<I/O端子設定>	
MODE OUT 1	切
MODE OUT 2	切
MODE OUT 3	切
MODE OUT 4	切
ボタン音	入
ブザー	切
残量検出位置	HDD-10%
CALL OUT設定	
>>エマージェンシー記録	10分

■通信設定

本機に接続する通信機器の設定をします。

◆RS-232C運用

本機のRS-232C端子に接続したパーソナルコンピューターから、本機を遠隔操作できます。また、パーソナルコンピューターからコメントを入力し、コメントの情報を映像とともに記録することもできます。(☞ 72~93ページ)

設定項目(初期設定は「リモート操作1」)

「リモート操作1」: パーソナルコンピューターから本機を操作でき、本機から状態遷移通知を返します。

「リモート操作2」: パーソナルコンピューターから本機を操作でき、本機から状態遷移通知を返しません。

「切」: パーソナルコンピューターから、本機を操作できません。

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <通信設定>画面の「RS-232C運用」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<通信設定>	
>>RS-232C運用	リモート操作1
RS-232C設定	

◆RS-232C設定

前記「RS-232C運用」を「リモート操作1」または、「リモート操作2」に設定しているときに、RS-232C関連の設定をします。

① 接続するパーソナルコンピューターと、設定が同じになるように設定してください。

転送速度の設定項目(初期設定は「1200」)

「1200」、「2400」、「4800」、「9600」、「19200」

データビットの設定項目(初期設定は「8ビット」)

「8ビット」、「7ビット」

パリティの設定項目(初期設定は「無」)

「無」、「奇数」、「偶数」

ストップビットの設定項目(初期設定は「1ビット」)

「1ビット」、「2ビット」

CR/CR・LF(キャリッジリターンとラインフィード)の設定項目(初期設定は「CR」)

「CR」、「CR・LF」

<RS-232C設定>	
>>転送速度	1200
データビット	8ビット
パリティ	無
ストップビット	1ビット
CR/CR・LF	CR

- 1 上記「RS-232C運用」を、「リモート操作1」または、「リモート操作2」にする。
- 2 「RS-232C設定」を選択し、シャトルを右に回す。
・ <RS-232C設定>画面が表示されます。
- 3 内容を変更したい設定を選択し、シャトルを右に回す。
・ 設定項目の背景が赤色表示になり、点滅します。
- 4 希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。
・ 設定が確定し、点滅がとまります。
- 5 他の設定も変更する場合は、ステップ3、4の操作を繰り返す。
- 6 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

■ 情報表示・保守設定

<情報表示・保守設定>画面では、停電などの障害発生時のログリストやデバイスリストを確認したり、メニューの初期化を行うことができます。またメニュー画面下側には、ご使用開始からの積算の運用時間を表示しています。

◆ 情報表示(HDD) / 情報表示(CFC)

HDDや本機に挿入しているコンパクトフラッシュカードに記録されている範囲を、確認することができます。

- 1 (HDDの記録範囲を確認する場合は・・・)
設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <情報表示・保守設定>画面の「情報表示(HDD)」を選択し、シャトルを右に回す。
・ HDDの<情報表示>画面が表示されます。
- 2 (本機に挿入しているコンパクトフラッシュカードの記録範囲および、メニュー情報の記録の有無を確認する場合は・・・)
設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <情報表示・保守設定>画面の「情報表示(CFC)」を選択し、シャトルを右に回す。
・ 本機に挿入しているコンパクトフラッシュカードの<情報表示>画面が表示されます。
- 3 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<情報表示> HDD			
マスター	HDD (160GB)		
開始	2005-03-01	00:00:00	
終了	2005-03-30	12:30:15	

<情報表示> CFC			
容量	64MB		
メニュー情報			
開始	2005-03-01	00:00:00	
終了	2005-03-30	00:00:05	

◆ 障害ログリスト

停電などの障害発生 の件数・発生日・時刻・障害の種類を確認することができます。

- 1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <情報表示・保守設定>画面の「障害ログリスト」を選択し、シャトルを右に回す。
・ <障害ログリスト>画面が表示されます。
・ 障害ログリストは1000件まで表示できます。それ以上の場合、最後の1000件が表示されます。
・ ▲ ボタン/ジョグを左に回す : 選択が次の番号に移動します。
・ ▼ ボタン/ジョグを右に回す : 選択が前の番号に移動します。
・ ► ボタン : 開いているページより古い日時のページを表示します。
・ ◀ ボタン : 開いているページより新しい日時のページを表示します。
・ 障害ログリストをリセットする場合は、リスト表示中に警告消去ボタンを5秒間押し続けてください。
 - ➡ <障害ログリスト>画面を表示中に障害が発生した場合、一度<障害ログリスト>画面を抜けて、再び表示させてください。新しいリストが追加されます。
 - ➡ 障害ログリストで表示される障害(☞ 98ページ)
- P-LOSS : 停電があった。(赤色で表示されます)
 SYS RST : リセットボタンを押し、リセットをした。(赤色で表示されます)
 HLD ON : アラームホールドボタンを押し、ホールド状態にした。
 HLD OFF : アラームホールドボタンを押し、ホールドを解除した。

<情報表示・保守設定> 情報表示 (HDD) 情報表示 (CFC)	
) 障害ログリスト メニュー初期化	
HDDデータ消去 CFCデータ消去	
運用時間	10H

<障害ログリスト>			
番号	発生日	時刻	障害
) 0001 05-03-24 16:15:15 P-LOSS			

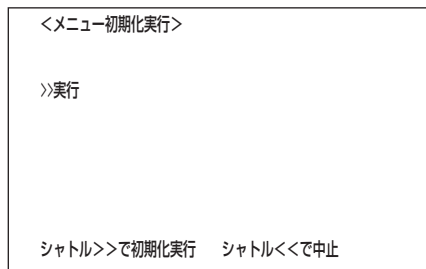
- 2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<基本設定・情報表示>(つづき)

◆メニュー初期化

メニュー画面上的の設定を初期化することができます。

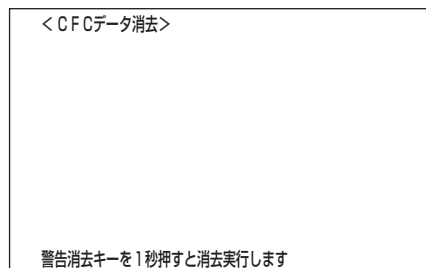
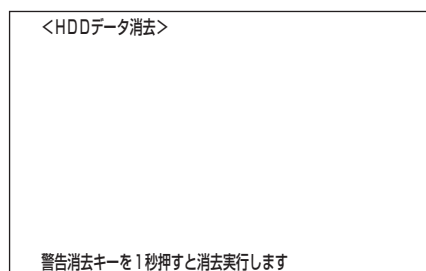
- 1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <情報表示・保守設定>画面の「メニュー初期化」を選択し、シャトルを右に回す。
 - ・ <メニュー初期化実行>画面が表示されます。
 - ・ メニュー画面の設定を初期化しない場合は、このあと、シャトルを左に回してください。
- 2 シャトルを右に回す。
 - ・ メニュー画面の設定が初期化されます。
- 3 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。



◆HDDデータ消去/CFCデータ消去

HDD(ハードディスク)またはCFC(コンパクトフラッシュカード)に記録されたデータを消去します。

- 1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <情報表示・保守設定>画面の「HDDデータ消去」または「CFCデータ消去」を選択し、シャトルを右に回す。
 - ・ 画面下に、“警告消去キーを1秒押すと消去実行します”が表示されます。
 - ・ データの消去を実行しないときは、シャトルを左に回してください。
- 2 警告消去ボタンを1秒押す。
 - ・ 画面に“データ消去実行中・・・”が表示されます。
 - ① 記録/コピーなどHDDにアクセス中は、データ消去できません。ご注意ください。
- 3 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。



<メニュークイック設定>

■メニュークイック設定

本機は、あらかじめコンパクトフラッシュカードに記録されたメニュー設定を読み出し、設定変更することができます。また本機のメニュー設定をコンパクトフラッシュカードにコピーすることもできます。

❗ メニュークイック設定実行中は、他の操作を一切受け付けません。

<メニュークイック設定>
 >>CFCからメニュー設定を読み出し・設定変更
 CFCへメニュー設定をコピー

◆本機のメニュー設定を更新するには

- 1 メニュー設定が記録されたコンパクトフラッシュカードを、本機のコンパクトフラッシュスロットに差し込む。
 - 2 <設定>画面の「メニュークイック設定」を選択し、シャトルを右に回す。
 ・ <メニュークイック設定>画面が表示されます。
 - 3 「CFCからメニュー設定を読み出し・設定変更」を選択し、シャトルを右に回す。
 ・ <メニューロード>画面が表示されます。
 ・ メニュー設定を更新しない場合は、このあと、シャトルを左に回してください。
 - 4 シャトルを右に回す。
 ・ 本機のメニュー設定が更新され、<<終了>>が表示されます。
- ❗ 更新したメニュー設定を確定するには、一度電源を切る必要があります。
- 5 (更新したメニュー設定を確定する・・・)
 シャトルを3回左に回す、または設定ボタンを押して通常画面へ戻る。
 - 6 電源ボタンを押して電源を切り、もう一度電源ボタンを押して電源を入れる。
 ・ メニュー設定が確定されます。

<メニューロード>
 >>実行
 シャトル>>で確定 シャトル<<で復帰

◆本機のメニュー設定の内容をコンパクトフラッシュカードに保存するには

- 1 コンパクトフラッシュカードを、本機のコンパクトフラッシュスロットに差し込む。
- 2 <設定>画面の「メニュークイック設定」を選択し、シャトルを右に回す。
 ・ <メニュークイック設定>画面が表示されます。
- 3 「CFCへメニュー設定をコピー」を選択し、シャトルを右に回す。
 ・ <メニューセーブ>画面が表示されます。
 ・ コンパクトフラッシュカードにメニュー設定の内容を保存しない場合は、このあと、シャトルを左に回してください。
- 4 シャトルを右に回す。
 ・ コンパクトフラッシュカードにメニュー設定の内容が上書き保存され、<<終了>>が表示されます。
- 5 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<メニューセーブ>
 >>実行
 シャトル>>で確定 シャトル<<で復帰

運用例

■ 運用例 1

通常記録の記録運用設定 A と B に異なるカメラ台数を設定し、時間帯や曜日によって運用するカメラの切り換えを行う運用例です。

🔍 カメラ映像の取り込みに関しては、📖 99 ページ「設定カメラ数・記録間隔設定と記録動作の関係」をごらんください。

・ 運用形態

- ・ 月～金曜日の、08:00 から 15:00 に記録運用設定 A (全カメラで通常記録) を設定し、15:00 から 20:00 に記録運用設定 B (カメラ番号 ①、②、③、⑦、⑧、⑨ で通常記録) を設定する。
- ・ 週末の土・日曜日には、記録運用設定 B (カメラ番号 ①、②、③、⑦、⑧、⑨ で通常記録) を 08:00 から 17:00 まで設定する。



・ 設定のしかた

1) <カメラタイトル・メモ設定>画面の設定 (📖 29 ページ)

- ・ カメラ番号 ①～⑨ のすべて
- ・ タイトルを入力

<カメラタイトル・メモ設定>	
>>①	いりぐち
②	ATM1
③	ATM2
④	カウンタ1
⑤	カウンタ2
⑥	カウンタ3
⑦	きんこ
⑧	てぐち
⑨	PARKING
メモ
>>選択で文字入力画面	

2) <基本設定・情報表示>画面の設定 (📖 44-50 ページ)

- ・ 音声記録設定: 「切」 (📖 45 ページ)

<基本設定・情報表示>	
HDD 運用設定	
>>音声記録設定	切
I/O 端子設定	

3) <HDD 運用設定>画面の設定 (📖 44 ページ)

- ・ HDD リピート記録: 「入」

<HDD 運用設定>		
>>HDD リピート記録	入	
HDD リピート再生		切

4) <タイマー記録設定>画面の設定 (📖 39-41 ページ)

- ・ タイマー設定 : 「P1」
- ・ 記録運用設定 A: 「通常・アラーム記録」
- ・ 記録運用設定 B: 「通常・アラーム記録」

<タイマー記録設定>	
タイマー設定	P1-設定
タイマー休日設定	
記録運用設定 A	通常・アラーム記録-設定
>>記録運用設定 B	通常・アラーム記録-設定
記録運用設定 C	通常・アラーム記録-設定

5) <記録運用設定 A>画面の設定 (📖 41 ページ)

- ・ カメラ番号 ①～⑨ のすべて
- ・ 通常間隔、通常画質: カメラごとに希望する間隔と画質に設定
- ・ ALM 間隔 : 「-----」

<記録運用設定 A>		アラームプラスCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM 間隔 ALM 画質
>>①	0.6 秒	スタンダード	----- スタンダード
②	0.6 秒	スタンダード	----- スタンダード
③	0.6 秒	スタンダード	----- スタンダード
④	0.6 秒	スタンダード	----- スタンダード
⑤	0.6 秒	スタンダード	----- スタンダード
⑥	0.6 秒	スタンダード	----- スタンダード
⑦	0.6 秒	スタンダード	----- スタンダード
⑧	0.6 秒	スタンダード	----- スタンダード
⑨	0.6 秒	スタンダード	----- スタンダード
<見積り時間>		□□時間□□分	

6) <記録運用設定 B>画面の設定 (📖 41 ページ)

- ・ カメラ番号 ①、②、③、⑦、⑧、⑨ のみ
- ・ 通常間隔、通常画質: カメラごとに希望する間隔と画質に設定
- ・ ALM 間隔 : 「-----」
- ・ その他のカメラ
- ・ 通常間隔、ALM 間隔: 「-----」

<記録運用設定 B>		アラームプラスCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM 間隔 ALM 画質
>>①	0.4 秒	スーパー	----- スタンダード
②	0.4 秒	スーパー	----- スタンダード
③	0.4 秒	スーパー	----- スタンダード
④	-----	スタンダード	----- スタンダード
⑤	-----	スタンダード	----- スタンダード
⑥	-----	スタンダード	----- スタンダード
⑦	0.4 秒	スタンダード	----- スタンダード
⑧	0.4 秒	スーパー	----- スタンダード
⑨	0.4 秒	スーパー	----- スタンダード
<見積り時間>		□□時間□□分	

- 7) <タイマー設定>画面の設定 (P.39,40ページ)
- ・指定曜日 : 「月 - 金」
 - ・プログラム番号1 : 「指定、08:00、15:00、A運用、切」
 - ・プログラム番号2 : 「指定、15:00、20:00、B運用、切」
 - ・プログラム番号3 : 「土、08:00、17:00、B運用、切」
 - ・プログラム番号4 : 「日、08:00、17:00、B運用、切」

<タイマー設定>					P1
曜日	開始時刻	終了時刻	運用	動検知	
>>1 指定	08:00	15:00	A運用	切	
2 指定	15:00	20:00	B運用	切	
3 土	08:00	17:00	B運用	切	
4 日	08:00	17:00	B運用	切	
5 ---	---	---	---	---	
6 ---	---	---	---	---	
7 ---	---	---	---	---	
8 ---	---	---	---	---	

指定曜日 月 - 金

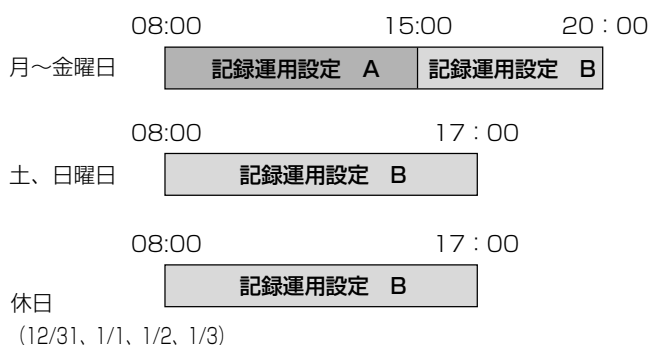
上記の設定がすべて完了してメニュー画面を消したあと、タイマーボタンを押してください。タイマー記録運用状態になります。

■ 運用例2

タイマー休日設定を用いる運用例です。

・ 運用形態

- ・ 月～金曜日の、08:00から15:00に記録運用設定 A(全カメラで通常記録)を設定し、15:00から20:00に記録運用設定 B(カメラ番号 ①、②、③、⑦、⑧、⑨ で通常記録)を設定する。
- ・ 週末の土・日曜日には、記録運用設定 B(カメラ番号 ①、②、③、⑦、⑧、⑨ で通常記録)を08:00から17:00まで設定する。
- ・ 12/31、1/1、1/2、1/3を休日設定とし、記録運用設定 Bを08:00から17:00まで設定する。



・ 設定のしかた

- 1) <カメラタイトル・メモ設定>画面の設定 (P.29ページ)
 - ・カメラ番号 ①～⑨ のすべて
 - ・タイトルを入力
- 2) <基本設定・情報表示設定>画面の設定 (P.44-50ページ)
 - ・音声記録設定 : 「切」 (P.45ページ)
- 3) <HDD運用設定>画面の設定 (P.44ページ)
 - ・HDDリピート記録 : 「入」
- 4) <タイマー記録設定>画面の設定 (P.39-41ページ)
 - ・タイマー設定 : 「P2」
 - ・タイマー休日設定 : 「12/31、01/01、01/02、01/03」
 - ・記録運用設定 A : 「通常・アラーム記録」
 - ・記録運用設定 B : 「通常・アラーム記録」

<カメラタイトル・メモ設定>	
>>①	いりくち
②	ATM1
③	ATM2
④	カウンタ1
⑤	カウンタ2
⑥	カウンタ3
⑦	きんこ
⑧	てくち
⑨	PARKING
メモ

>>選択で文字入力画面

<基本設定・情報表示>	
HDD運用設定	切
>>音声記録設定	
1/0端子設定	

<HDD運用設定>	
>>HDDリピート記録	入
HDDリピート再生	切

<タイマー記録設定>		P2-設定
タイマー設定		
タイマー休日設定		
記録運用設定 A	通常・アラーム記録-設定	
記録運用設定 B	通常・アラーム記録-設定	
記録運用設定 C	通常・アラーム記録-設定	

<タイマー休日設定>			
12/31	01/01	01/02	01/03
---/---	---/---	---/---	---/---
---/---	---/---	---/---	---/---
---/---	---/---	---/---	---/---

月 / 日

運用例(つづき)

5) <記録運用設定 A>画面の設定 (☞41ページ)

- ・カメラ番号①～⑨のすべて
 - ・通常間隔、通常画質：カメラごとに希望する間隔と画質に設定
 - ・ALM間隔：「-----」

<記録運用設定 A>			アラームプラスCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔	ALM画質
>>①	0.6秒	スタンダード	-----	スタンダード
②	0.6秒	スタンダード	-----	スタンダード
③	0.6秒	スタンダード	-----	スタンダード
④	0.6秒	スタンダード	-----	スタンダード
⑤	0.6秒	スタンダード	-----	スタンダード
⑥	0.6秒	スタンダード	-----	スタンダード
⑦	0.6秒	スタンダード	-----	スタンダード
⑧	0.6秒	スタンダード	-----	スタンダード
⑨	0.6秒	スタンダード	-----	スタンダード
<見積り時間>			□□時間□□分	

6) <記録運用設定 B>画面の設定 (☞41ページ)

- ・カメラ番号①、②、③、⑦、⑧、⑨のみ
 - ・通常間隔、通常画質：カメラごとに希望する間隔と画質に設定
 - ・ALM間隔：「-----」
- ・その他のカメラ
 - ・通常間隔、ALM間隔：「-----」

<記録運用設定 B>			アラームプラスCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔	ALM画質
>>①	0.4秒	スーパー	-----	スタンダード
②	0.4秒	スーパー	-----	スタンダード
③	0.4秒	スーパー	-----	スタンダード
④	-----	スタンダード	-----	スタンダード
⑤	-----	スタンダード	-----	スタンダード
⑥	-----	スタンダード	-----	スタンダード
⑦	0.4秒	スタンダード	-----	スタンダード
⑧	0.4秒	スーパー	-----	スタンダード
⑨	0.4秒	スーパー	-----	スタンダード
<見積り時間>			□□時間□□分	

7) <タイマー設定>画面の設定 (☞39,40ページ)

- ・指定曜日：「月 - 金」
- ・プログラム番号1：「指定、08:00、15:00、A運用、切」
- ・プログラム番号2：「指定、15:00、20:00、B運用、切」
- ・プログラム番号3：「土、08:00、17:00、B運用、切」
- ・プログラム番号4：「日、08:00、17:00、B運用、切」
- ・プログラム番号5：「休日、08:00、17:00、B運用、切」

<タイマー設定>					P 2
>>1	曜日	開始時刻	終了時刻	運用	動検知
2	指定	08:00	15:00	A運用	切
3	指定	15:00	20:00	B運用	切
4	土	08:00	17:00	B運用	切
5	日	08:00	17:00	B運用	切
6	休日	08:00	17:00	B運用	切
7	---	---	---	---	---
8	---	---	---	---	---
指定曜日					月 - 金

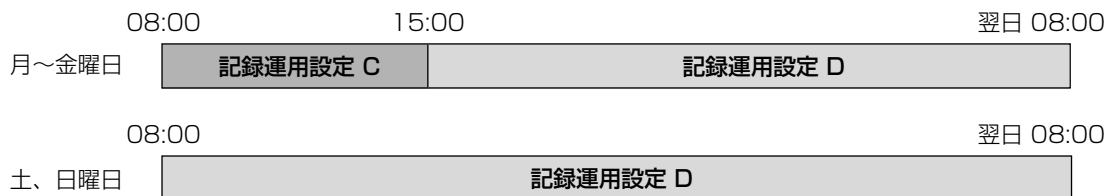
上記の設定がすべて完了してメニュー画面を消したあと、タイマーボタンを押してください。タイマー記録運用状態になります。

■ 運用例3

タイマー記録運用で、通常記録とプリアラーム記録、アラーム記録、エマージェンシー記録を併用した運用例です。

・ 運用形態

- ・月～金曜日の、08:00から15:00に記録運用設定 C(全カメラでプリアラーム記録、アラーム記録、エマージェンシー記録)を設定し、15:00から翌日の08:00に記録運用設定 D(カメラ番号①、②、③、⑦、⑧、⑨でプリアラーム記録、アラーム記録、エマージェンシー記録)を設定する。
- ・週末の土・日曜日には、記録運用設定 D(カメラ番号①、②、③、⑦、⑧、⑨でプリアラーム記録、アラーム記録、エマージェンシー記録)を08:00から翌日の08:00まで設定する。



・ 設定のしかた

- 1) 前記「運用例1」の1)～3)の項目を設定
- 2) <I/O端子設定>画面の設定 (☞46-48ページ)
 - ・エマージェンシー記録：「20分」

<I/O端子設定>	
MODE OUT 1	切
MODE OUT 2	切
MODE OUT 3	切
MODE OUT 4	切
ボタン音	入
プザー	切
残量検出位置	HDD-10%
CALL OUT設定	
>>エマージェンシー記録	20分

- 3) カメラごとに、<動き検知設定>画面の各項目を設定 (☞34-36ページ)
 ・設定カメラ選択、カメラ毎動作設定：カメラごとに動作設定「入」、 「切」を設定

<動き検知設定>		
>>設定カメラ選択		① 切
カメラ毎動作設定		
検知エリアドット設定		
感度		大・・<<<小
記録開始ドット		1
動作テストモード		

- 4) <タイマー記録設定>画面の設定 (☞39-41ページ)
 ・タイマー設定 : 「P3」
 ・記録運用設定 C : 「プリアラーム記録」
 ・記録運用設定 D : 「プリアラーム記録」
 ・アラーム記録時間 : 「5分」
 ・プリアラーム記録設定 : 「中」

<タイマー記録設定>		
タイマー設定		P3—設定
タイマー休日設定		
記録運用設定 A		通常・アラーム記録—設定
記録運用設定 B		通常・アラーム記録—設定
記録運用設定 C		プリアラーム記録—設定
記録運用設定 D		プリアラーム記録—設定
アラーム記録時間		5分
>>プリアラーム記録設定		中

- 5) <記録運用設定 C>画面の設定 (☞41ページ)
 ・画面上の設定：オールCH
 ・カメラ番号 ①～⑨ のすべて
 ・通常間隔、通常画質、ALM間隔、ALM画質
 : カメラごとに希望する間隔と画質に設定

<記録運用設定 C>		オールCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔 ALM画質
>>①	0.6秒	スタンダード	0.6秒 ハイ
②	0.6秒	スタンダード	0.6秒 ハイ
③	0.6秒	スタンダード	0.6秒 ハイ
④	0.6秒	スタンダード	0.6秒 ハイ
⑤	0.6秒	スタンダード	0.6秒 ハイ
⑥	0.6秒	スタンダード	0.6秒 ハイ
⑦	0.6秒	スタンダード	0.6秒 ハイ
⑧	0.6秒	スタンダード	0.6秒 ハイ
⑨	0.6秒	スタンダード	0.6秒 ハイ
<見積り時間>		□□時間□□分	

- 6) <記録運用設定 D>画面の設定 (☞41ページ)
 ・画面上の設定：オールCH
 ・カメラ番号 ①、②、③、⑦、⑧、⑨ のみ
 ・通常間隔、通常画質、ALM間隔、ALM画質
 : カメラごとに希望する間隔と画質に設定
 ・その他のカメラ
 ・通常間隔、ALM間隔：「-----」

<記録運用設定 D>		オールCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔 ALM画質
>>①	0.4秒	スタンダード	0.2秒 ハイ
②	0.4秒	スタンダード	0.2秒 ハイ
③	0.4秒	スタンダード	0.2秒 ハイ
④	-----	スタンダード	----- スタンダード
⑤	-----	スタンダード	----- スタンダード
⑥	-----	スタンダード	----- スタンダード
⑦	0.4秒	スタンダード	0.2秒 ハイ
⑧	0.4秒	スタンダード	0.2秒 ハイ
⑨	0.4秒	スタンダード	0.2秒 ハイ
<見積り時間>		□□時間□□分	

- 7) <タイマー設定>画面の設定 (☞39,40ページ)
 ・指定曜日 : 「月 - 金」
 ・プログラム番号1 : 「指定、08:00、15:00、C運用、入」
 ・プログラム番号2 : 「指定、15:00、08:00、D運用、入」
 ・プログラム番号3 : 「土、08:00、08:00、D運用、入」
 ・プログラム番号4 : 「日、08:00、08:00、D運用、入」

<タイマー設定>					P 3
>>1	曜日	開始時刻	終了時刻	運用	動検知
2	指定	08:00	15:00	C運用	入
3	指定	15:00	08:00	D運用	入
4	土	08:00	08:00	D運用	入
5	日	08:00	08:00	D運用	入
6	---	---	---	---	---
7	---	---	---	---	---
8	---	---	---	---	---
指定曜日		月 - 金			

上記の設定がすべて完了してメニュー画面を消したあと、タイマーボタンを押してください。タイマー記録運用状態になります。

いろいろな記録

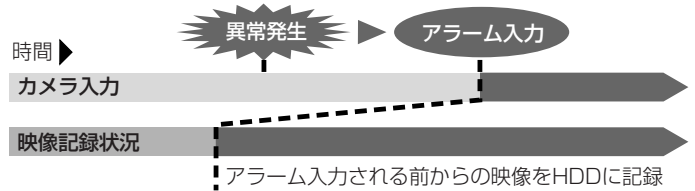
■ プリアラーム記録

アラーム記録時に、ALARM IN端子が接地されたり動きを検出した数秒前からの映像を、記録することができます。

➡ プリアラーム記録に関する設定は、☞41ページ「通常記録・アラーム記録の記録運用設定 A~D」。

プリアラーム記録は・・・

- 1) プリアラームインジケータは、プリアラーム記録中に点滅、待機中に点灯します。
- 2) ALARM IN端子が接地されたり、動きを検出する前からの映像が記録されます。
- 3) <マニュアル記録設定>画面や<タイマー記録設定>画面でプリアラーム記録の設定を行っている場合に実行します。アラーム信号入力後の記録チャンネルは、<マニュアル記録設定>画面や<タイマー記録設定>画面の運用カメラにのみ実行されます。



➡ プリアラーム記録と通常連続記録の併用はできません。ご注意ください。

➡ プリアラーム記録される時間は、記録する映像の内容によって異なります。映像の内容やアラーム信号が入力されるタイミングによっては、記録される時間が変わることがあります。

❗ プリアラームインジケータの点灯中は、再生はできますが通常記録はできません。

■ エマージェンシー記録

本機後面部のMAINスイッチがON、前面部の電源が入であれば、停止中、タイマー記録中のときでもアラームセンサーによってEMERGENCY端子が接地されると、すべてに優先して自動的にエマージェンシー記録を開始します。

❗ MAINスイッチがOFFのとき、電源が切のとき、およびタイマー記録待機中には、エマージェンシー記録をすることはできません。

➡ エマージェンシー記録に関する設定は、☞48ページ。

エマージェンシー記録は・・・

- 1) エマージェンシー記録は、記録間隔「0.03秒」、記録画質「スーパー」で指定した時間だけ記録を行います。
- 2) エマージェンシー記録に運用されるカメラは・・・
 - ・記録運用で「-----」以外に設定しているすべてのカメラで記録します。
 - ・タイマー記録中は、その時間帯に設定されている記録運用で、「-----」以外に設定されたすべてのカメラで記録します。
- 3) エマージェンシー記録の記録中は・・・
 - ・エマージェンシーインジケータが点滅し、記録終了後は点灯します。インジケータを消灯させるには、<アラームリストサーチ>画面を表示させ、警告消去ボタンを5秒以上連続で押してください。
 - ・アラーム記録に運用されているカメラ番号ボタンと画面上のカメラ番号表示が点滅します。
 - ・画面上の動作モード表示、「アラーム記録」が赤色表示されます。
- 4) アラームリストに、赤色表示で登録・表示されます。

■ シリーズ記録

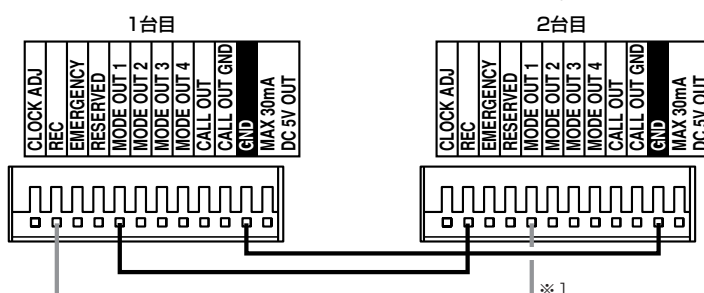
本機を2台接続すると、1台目のHDDの記録中に記録容量がなくなったり異常が発生したときに、自動的に2台目のレコーダーが記録を開始するように設定することができます。

❗ タイマー記録運用中には、使用できません。

◆ シリーズ記録の設定例

2台のレコーダーが、下記のように動作するための設定のしかたです。

- ・1台目のレコーダーのHDDの記録中に → 自動的に2台目のレコーダーのHDDに記録を始める。
記録容量が20%以下になったとき。
- ・2台目のレコーダーのHDDの記録中に → 自動的に1台目のレコーダーのHDDに上書き記録を始める。
記録容量が20%以下になったとき。
(1台目のレコーダーに上書き記録を行わないようにすることも可能です。)



※1 1台目の上書き記録を行わない場合は、この接続は不要です。

以下の設定は、2台とも設定します。

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <HDD運用設定>画面の「HDDリピート記録」を選択し、「記録待機」を表示させ確定する。

➡ 1台目のレコーダーに上書き記録を行わない場合(記録容量が20%以下になったとき)は、1台目のレコーダーの「HDDリピート記録」を「切」に設定してください。

2 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <I/O端子設定>画面の「MODE OUT 1」～「MODE OUT 4」(※2)を選択し、「残量」を表示させ確定する。

・※2：MODE OUT端子に接続している番号の項目を設定します。

➡ 1台目のレコーダーに上書き記録を行わない場合は、2台目のレコーダーにこの設定は不要です。

3 同画面の「残量検出位置」に、「HDD-20%」を表示させ確定する。

➡ 1台目のレコーダーの上書き記録を行わない場合(記録容量が20%以下になったとき)は、2台目のレコーダーにこの設定は不要です。

4 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<HDD運用設定>	
>>HDDリピート記録	記録待機
HDDリピート再生	切
変更確認再生	切
カメラ切換再生	切

<I/O端子設定>	
MODE OUT 1	残量
MODE OUT 2	残量
MODE OUT 3	残量
MODE OUT 4	残量
ボタン音	入
ブザー	切
>>残量検出位置	HDD-20%
CALL OUT設定	
エマージェンシー記録	10分

いろいろな再生

■ 静止画再生

1 再生中に、一時停止ボタンを押す。

- ・ 静止画再生になります。もう一度押すと、再生に戻ります。
- ・ 1画の静止画表示中にカメラ番号(1~9)ボタンを押すと、押した番号のカメラの映像を順方向に検索して表示します。

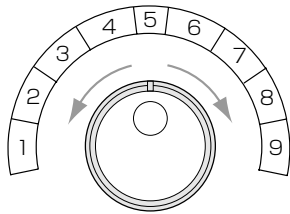
■ シャトル再生／ダイレクトシャトル再生

静止画再生中や再生／逆再生中にシャトルを回すと、再生速度を変えることができます。

1 (シャトル再生の場合は・・・)

静止画再生中に、シャトルを回す。

- ・ 再生の速さは、シャトルを回す角度により異なります。
- ・ シャトルから手を離すと、シャトルが中央の位置に戻り、静止画再生に戻ります。



- 1 高速早戻し (300MB単位)
- 2 逆方向のスピードサーチ (30MB単位)
- 3 逆方向のスピードサーチ (1MB単位)
- 4 逆方向のスピードサーチ (30コマ/秒)
- 5 静止画再生
- 6 順方向のスピードサーチ (30コマ/秒)
- 7 順方向のスピードサーチ (1MB単位)
- 8 順方向のスピードサーチ (30MB単位)
- 9 高速早送り (300MB単位)

2 (ダイレクトシャトル再生の場合は・・・)

再生中または逆再生中に、シャトルを回す。

- ・ 再生の速さは、シャトルを回す角度により異なります。
- ・ シャトルから手を離すと、シャトルが中央の位置に戻り、静止画再生になります。(再生または、逆再生には戻りません。)

■ シャトルホールド

シャトル再生中にシャトルから手を離しても、再生速度を保持することができます。

1 シャトル再生中に、シャトルをその角度で保持したまま、一時停止(シャトルホールド)ボタンを押す。

2 シャトルから手を離す。

- ・ 再生速度を保持します。
- ・ シャトルホールドを解除するときは、一時停止ボタンを押すと静止画再生になります。

■ コマ送り

1 静止画再生中に、ジョグを回す。

- ・ 右に回す : 順方向のコマ送りになる。
- ・ 左に回す : 逆方向のコマ送りになる。
- ・ 右に回し続ける : 順方向の連続コマ送りになる。
- ・ 左に回し続ける : 逆方向の連続コマ送りになる。
- ・ ジョグを回すのをやめる : 静止画再生に戻る。

① 1画表示のコマ送りの場合は、表示しているカメラ番号の映像を検索しながらコマ送りするため、ジョグを早く回すとコマ送り動作が追いつかなくなることがあります。

■ 逆再生

1 停止中に、逆再生ボタンを押す。

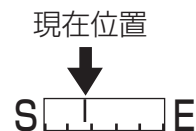
- ・ 逆方向の再生になります。再生停止ボタンを押すと、停止します。

➡ 電源を入れたあと、最初に逆再生をした場合は、最後に記録した映像から逆再生を始めます。

■ 高速早送り／早戻し再生

1 停止中に、シャトルを1秒以上回し続ける。

- ・ 右に1秒以上回し続ける：高速早送り再生状態を保持します。(300MB単位)
- ・ 左に1秒以上回し続ける：高速早戻し再生状態を保持します。(300MB単位)
- ・ 再生停止ボタンを押す：停止します。



- ▶ 高速早送り／早戻し再生中は、画面下または画面上に現在位置が表示されます。S(スタート)とE(エンド)がHDDの容量の初端と終端を表し、現在位置が「|」で表示されます。

■ 再生間隔の変更

再生中または逆再生中は、記録時の記録間隔と同じ間隔で再生されますが、本機では再生間隔を変更することができます。動きの早い記録をゆっくりと連続再生したいとき、長い記録間隔で記録した映像をコマ飛ばしせず早く再生したいとき、などに便利です。

1-1 (動きの早い記録映像をゆっくり再生する場合は・・・)

- 再生中または逆再生中に、逆再生ボタンを押す。
 - ・ 再生中または逆再生中は、1カメラあたり8秒間隔で、9カメラでは72秒間隔で再生されます。

1-2 さらに、再生ボタンを押す。

- ・ 押すたびに4秒、2秒、・・・と早い再生間隔に切り換ります。

2-1 (長い記録間隔の記録映像を早く再生する場合は・・・)

- 再生中または逆再生中に、再生ボタンを押す。
 - ・ 再生中または逆再生中は、1カメラあたり0.03秒間隔で再生されます。

2-2 さらに、逆再生ボタンを押す。

- ・ 押すたびに0.06秒、0.1秒、・・・とゆっくりとした再生間隔に切り換ります。

- ❗ 再生間隔を変更すると、音声は再生されません。
- ❗ 一度再生間隔を変更すると、元の再生間隔に戻しても音声は再生されません。音声を再生したい場合は、一度再生を停止したあと、再び再生を始めてください。
- ❗ 一度再生間隔を変更すると、元の再生間隔に戻しても再生間隔は緑色表示されたままです。記録されたときの再生間隔を確認する場合は、一度再生を停止したあと、再び再生してください。
- ❗ 再生間隔を変更して、長い記録間隔の映像を早く再生する場合、実際の記録時間に対し画面に表示される記録時間が同期しないときがあります。
- ▶ <時刻・画面表示設定>画面の「画面表示形式」を「2」または「3」に設定して1画表示にする場合、再生間隔を記録したときの記録間隔以外に変更すると緑色表示され、画面上で確認することができます。

■ 記録中の同時再生

記録中に記録されているデータを同時に再生することができます。

- ❗ 再生中の映像が、一時的に停止したり、音声が途切れたりすることがあります。
- ❗ シャトル再生中に映像にノイズが出たりすることがあります。
- ▶ 分割表示は、記録/再生それぞれ独立して選択することができます。

いろいろなサーチ

本機に搭載しているサーチ機能を使って、見たい映像をすばやく頭出しすることができます。

■ <サーチ方式設定>

本機では、サーチボタンを押すとサーチ画面が表示されます。このとき、もう一度サーチボタンを押すと、<サーチ方式設定>画面が表示され、再生デバイス、サーチの種類、サーチするカメラ番号の選択を行うことができます。

◆ サーチ方式

サーチボタンを押したときに、5種類のサーチ機能のうち、どのサーチ画面を表示させるかを選びます。

設定項目（初期設定は「タイムデート」）

「タイムデート」、「記録インデックス」、「アラームインデックス」、「スキップ」、「アラームリスト」

- 1 **サーチボタンを2回押す。**
 - ・ 1回押すとサーチ画面が表示され、もう1回押すと<サーチ方式設定>画面が表示されます。
- 2 「**サーチ方式**」に希望する設定を表示させ、**確定する。**
- 3 **シャトルを左に回す。**
 - ・ ステップ2で設定したサーチ画面が表示されます。
- 4 **シャトルを左に回す、またはサーチボタンを押す。**

◆ カメラ選択

サーチするカメラ番号を選びます。

上記「サーチ方式」を「記録インデックス」に設定すると、「カメラ選択」設定は表示されません。

設定項目（初期設定は「全て」）

「全て」、「①」、「②」、「③」、「④」、「⑤」、「⑥」、「⑦」、「⑧」、「⑨」

「全て」 : カメラ番号1~9のすべてについてサーチし、9分割表示します。

「①」~「⑨」 : カメラ番号選択可能なサーチモードでは、該当するカメラ番号のうち、指定条件に合致するサーチを行い、その結果を1画表示します。

- 1 **サーチボタンを2回押して、<サーチ方式設定>画面を表示させる。**
- 2 「**カメラ選択**」に希望する設定を表示させ、**確定する。**
- 3 **シャトルを左に回す。**
 - ・ サーチ画面に戻ります。
- 4 **シャトルを左に回す、またはサーチボタンを押す。**

◆ リスト検索時間設定

上記「サーチ方式」を「アラームリスト」に設定しているときのみ、表示されます。

アラームリストサーチをする場合に、画面に表示されるリスト数を絞り込むときに使います。(☞63ページ)

◆ 再生デバイス選択

再生するメディア(HDD、コンパクトフラッシュ)を選びます。

設定項目（初期設定は「HDD」）

「HDD」、「CF」

- 1 **サーチボタンを2回押して、<サーチ方式>画面を表示させる。**
- 2 「**再生デバイス選択**」に希望する設定を表示させ、**確定する。**
- 3 **シャトルを左に回す。**
- 4 **シャトルを左に回す、またはサーチボタンを押す。**

▶ 開始/終了表示

・ 再生デバイス選択で設定されたデバイスの記録開始点/終了点の日時を表示します。サーチ時の目安となります。

<サーチ方式設定>		タイムデート
サーチ方式		全て
カメラ選択		
>>再生デバイス選択		HDD
開始	2005-03-01	00:00:00
終了	2005-03-30	12:30:15

■ <タイムデートサーチ> — ☞ 19,20ページ

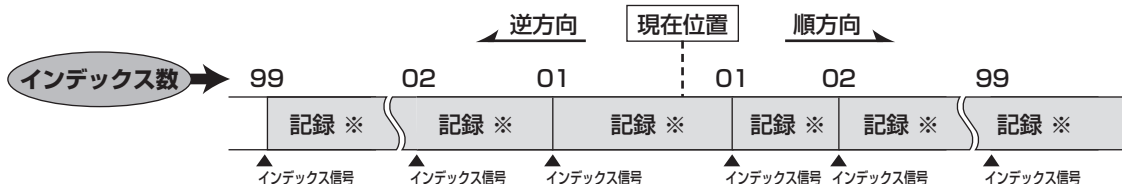
■ <記録インデックスサーチ>/<アラームインデックスサーチ>

本機では、記録開始時に自動的にインデックス信号がHDDに書き込まれるようになっていました。このインデックス信号をサーチして、その信号の記録されているところを頭出しすることができます。

本機のインデックスサーチには、次の2種類の方法があります。

- ・<記録インデックスサーチ> : 通常記録時に書き込まれたインデックス信号をサーチします。
 - ・<アラームインデックスサーチ> : アラーム記録時やエマージェンシー記録時に書き込まれたインデックス信号をサーチします。
- 本機では、順方向/逆方向とも最大99までのインデックス数をサーチすることができます。

<記録/アラームインデックスサーチ>の場合のインデックス数の数えかた



- ※ <記録インデックスサーチ>の場合は、「通常記録」になります。
- <アラームインデックスサーチ>の場合は、「アラーム記録」または、「エマージェンシー記録」になります。

1 サーチボタンを押す。

- ・前記「サーチ方式」で選択されているサーチ画面が表示されます。

☑ 「記録インデックスサーチ」を選択した場合、「カメラ選択」設定は表示されません。

2 (画面に希望するサーチ画面が表示されていない場合のみ・・・) 前記「サーチ方式」の設定を変更して、<記録インデックスサーチ>画面または<アラームインデックスサーチ>画面を表示させる。

- ・通常記録時のインデックス信号をサーチする場合は、<記録インデックスサーチ>画面を表示させます。
- ・アラーム記録やエマージェンシー記録時のインデックス信号をサーチする場合は、<アラームインデックスサーチ>画面を表示させます。
- ・<記録インデックスサーチ>/<アラームインデックスサーチ>のサーチ後は・・・

<記録インデックスサーチ>の場合
常に9分割表示されます。

<アラームインデックスサーチ>の場合
前記「カメラ選択」を「全て」に設定した場合は、9分割表示されます。カメラ番号を個別に選択した場合は、1画表示の静止画再生になります。

☑ プリアラーム記録部分の開始インデックス信号が書き込まれるカメラ番号とアラームリストに表示されるカメラ番号が同一にならない場合があります。

3 「インデックス数」に希望するインデックス数を表示させ、確定する。

4 「実行(順方向)」または「実行(逆方向)」を選択し、確定する。

- ・「実行(順方向)」: 順方向にサーチを開始する。
- ・「実行(逆方向)」: 逆方向にサーチを開始する。
- ・サーチを実行しない場合は、サーチボタンを2回押し解除してください。
- ・インデックス信号が記録されていない場合は、サーチを実行しません。通常画面に戻るときは、サーチボタンを2回押し解除してください。

5 サーチ結果を再生する。

- ・再生ボタン(逆再生ボタン)、または一時停止ボタンを押す。

6 再生、静止画再生をやめる場合は、再生停止ボタンを押す。

7 サーチ画面を消す場合は、サーチボタンを2回押す。

- ① 9分割表示の静止画再生中に、希望するカメラ番号の1画表示に変更したい場合は、サーチボタンを押してサーチ設定画面を消してから、カメラ番号ボタンを押してください。
- ① インデックス信号の記録状態によっては、正しくサーチできないことがあります。

<記録インデックスサーチ>	
>>インデックス数	01
実行(順方向)	
実行(逆方向)	
開始点サーチ	2005-03-01 00:00:00
終了点サーチ	2005-03-30 12:30:15
サーチボタンを押すとサーチ方式設定に入ります	

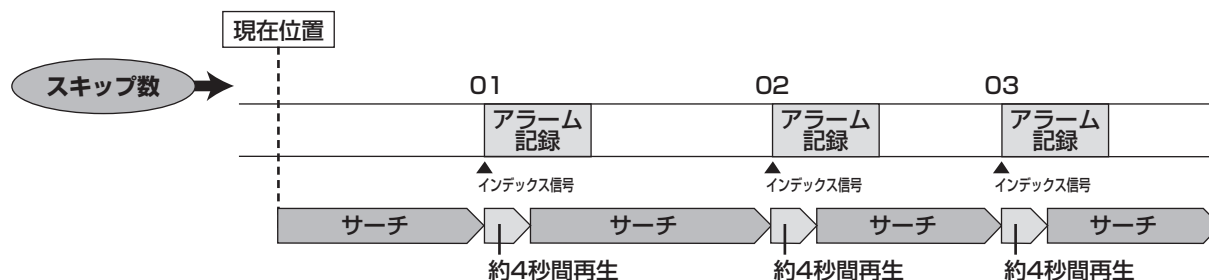
<アラームインデックスサーチ>	
>>インデックス数	01
実行(順方向)	
実行(逆方向)	
開始点サーチ	2005-03-01 00:00:00
終了点サーチ	2005-03-30 12:30:15
サーチボタンを押すとサーチ方式設定に入ります	

いろいろなサーチ(つづき)

■ <スキップサーチ>

アラーム記録のインデックス信号が記録されているところまで早送り／早戻しを行い、約4秒間ずつ再生することができます。

<スキップサーチ> (順方向) の場合の動作



1 サーチボタンを押す。

- ・前記「サーチ方式」で選択されているサーチ画面が表示されます。

2 (画面に希望するサーチ画面が表示されていない場合のみ・・・) 前記「サーチ方式」の設定を変更して、<スキップサーチ>画面を表示させる。

3 「実行(順方向)」または「実行(逆方向)」を選択し、確定する。

- ・「実行(順方向)」：順方向にサーチを開始する。
- ・「実行(逆方向)」：逆方向にサーチを開始する。
- ・サーチを実行しない場合は、サーチボタンを2回押して解除してください。
- ・スキップサーチのサーチ結果再生中は、前記「カメラ選択」で「全て」を選択した場合、個別のカメラ番号を選択した場合、共に9分割表示の再生になります。
- ・通常画面に戻る場合は、サーチボタンを2回押してください。

- ❗ スキップサーチの9分割表示の再生中、希望するカメラ番号ボタンを押すとそのカメラ番号の映像が一画表示再生になります。

4 再生したい映像が映ったら、一時停止ボタンを押し、その後再生ボタンを押す。

5 スキップサーチをやめる場合は、再生停止ボタンを押す。

6 サーチ画面を消す場合は、サーチボタンを2回押す。

- ❗ インデックス信号の間隔が4秒以下の場合に逆方向のスキップサーチをすると、その部分を繰り返し再生することがあります。そのときは、再生停止ボタンを押して一度スキップサーチをやめ、該当部分を逆再生などで越えてからもう一度逆方向のスキップサーチを行ってください。

- ❗ インデックス信号の記録状態によっては、正しくサーチできないことがあります。

<スキップサーチ>

>>実行(順方向)
実行(逆方向)

■ <アラームリストサーチ>

本機では、アラーム記録やエマージェンシー記録が始まると、アラームリストにアラーム記録やエマージェンシー記録の開始時刻を登録するようになっています。このアラームリストに登録されたアラーム記録(エマージェンシー記録)開始時刻の中から、希望する時刻(またはその時刻に最も近い時刻)の映像を頭出しすることができます。

- ➡ アラーム記録(エマージェンシー記録)開始時刻は、最大10000件まで登録・表示可能です。

- ➡ アラームリストのうち、後面部のALARM IN端子が接地された場合は白色で、動きを検出した場合は緑色で、EMERGENCY端子が接地された場合は赤色で、表示されます。

- ➡ アラームリストを消去するには、<HDDデータ消去>画面で、データの消去を行ってください。データを消去すると、画像データを含むHDD内のすべてのデータが消去されますのでご注意ください。次回、アラーム記録時は00001から連番で登録されます。

1 サーチボタンを押す。

- ・前記「サーチ方式」で選択されているサーチ画面が表示されます。

2 (画面に希望するサーチ画面が表示されていない場合のみ・・・) 前記「サーチ方式」の設定を変更して、<アラームリストサーチ>画面を表示させる。

- ・アラームリストにエマージェンシー記録開始時刻を表示させる場合は、<サーチ方式設定>画面の「カメラ選択」設定を「全て」にしてください。アラームリストに表示されるカメラ番号の位置に、エマージェンシー記録を表す「E」が表示されます。

<サーチ方式設定>			
>>サーチ方式		アラームリスト	
カメラ選択		全て	
リスト検索時間設定	****-**-**	**:*:*	**
再生デバイス選択		HDD	
開始	2005-03-01	00:00:00	
終了	2005-03-30	12:30:15	

3 希望するアラームリスト番号を選択する。

- ・▲ ボタン/ジョグを左に回す：選択が次の番号に移動します。
- ・▼ ボタン/ジョグを右に回す：選択が前の番号に移動します。
- ・▶ ボタン：開いているページより古い日時のページを表示します。
- ・◀ ボタン：開いているページより新しい日時のページを表示します。
- ・サーチを実行しない場合は、サーチボタンを2回押して解除してください。

<アラームリストサーチ>				
>>00004	2005-03-01	04:00:00	①	
00003	2005-03-01	03:00:00	E	
00002	2005-03-01	02:00:00	①	
00001	2005-03-01	01:00:00	E	

サーチボタンを押すとサーチ方式設定に入ります

- ❗ プリアラーム記録部分の開始インデックス信号が書き込まれるカメラ番号とアラームリストに表示されるカメラ番号が同一にならない場合があります。

- ❗ 「HDDリピート記録」設定を「切」、「記録待機」のいずれかに設定し、HDDの終端でアラーム記録(エマージェンシー記録)が入った場合、その記録はアラームリストに登録されず、その番号が欠番になり表示されないときがあります。

- ➡ <アラームリストサーチ>画面を表示中にアラーム記録(エマージェンシー記録)が始まった場合、一度<アラームリストサーチ>画面を抜けて、再び表示させてください。新しいリストが追加されます。

- ➡ <サーチ方式設定>画面の「リスト検索時間設定」を用いると、画面に表示されるリスト数を絞り込むことができます。

- 1 サーチボタンを押して、<サーチ方式設定>画面を表示させる。
- 2 「リスト検索時間設定」に検索を希望する年月日、時刻を設定し、確定する。
- 3 シャトルを左に回すと、指定した条件に一致したリストのみ表示される。

4 希望するアラームリスト番号を選択し、シャトルを右に回して確定する。

- ・サーチを実行しない場合は、サーチボタンを2回押して解除してください。
- ・アラームリストサーチのサーチ後は、前記「カメラ選択」で「全て」を選択した場合、カメラ番号を個別に選択した場合どちらも1画表示の静止画再生になります。

5 サーチ結果を再生する。

- ・再生ボタン、または一時停止ボタンを押す。

6 再生、静止画再生をやめる場合は、再生停止ボタンを押す。

7 サーチ画面を消す場合は、サーチボタンを2回押す。

いろいろなサーチ(つづき)

■ 開始点サーチ／終了点サーチ

<タイムデートサーチ>、<記録インデックスサーチ>、<アラームインデックスサーチ>で選択しているデバイスの記録開始点／終了点をサーチし、それらの部分を頭出しすることができます。

1 サーチボタンを押す。

- ・ 前記「サーチ方式」で選択されているサーチ画面が表示されます。

2-1 (最も古い記録部分を頭出しする場合は・・・) 「開始点サーチ」を選択して、シャトルを右に回す。

2-2 (最後の記録部分を頭出しする場合は・・・) 「終了点サーチ」を選択して、シャトルを右に回す。

- ・ 開始点サーチ/終了点サーチのサーチ後は・・・

<タイムデートサーチ>、<アラームインデックスサーチ>の場合
前記「カメラ選択」で「全て」を選択した場合は、9分割表示されます。カメラ番号を個別に選択した場合は、1画表示の静止画再生になります。

<記録インデックスサーチ>の場合
常に9分割表示されます。

3 サーチ結果を再生する。

- ・ 再生ボタン、または一時停止ボタンを押す。

4 再生、静止画再生をやめる場合は、再生停止ボタンを押す。

5 サーチ画面を消す場合は、サーチボタンを2回押す。

- ① 9分割表示の静止画再生中に、希望するカメラ番号の1画表示に変更したい場合は、サーチボタンを押してサーチの設定画面を消してから、カメラ番号ボタンを押してください。

<タイムデートサーチ>

年 月 日 時 分 秒
»2004-01-01 00:00:00

実行(順方向)

開始点サーチ 2005-03-01 00:00:00
終了点サーチ 2005-03-30 12:30:15
サーチボタンを押すとサーチ方式設定に入ります

コピーのしかた

HDDの記録内容の一部をコンパクトフラッシュカードにコピーしたり、コンパクトフラッシュカードの記録をHDDへリストアしたりすることができます。また、アナログビデオ記録装置を接続して、ビデオテープにコピーすることもできます。

- ① コンパクトフラッシュカードをご使用になる前に、コンパクトフラッシュカードの取扱説明書で使用上の注意などを確認してください。

■ HDDからコンパクトフラッシュカードにコピーする/コンパクトフラッシュカードからHDDへリストアする

1 コンパクトフラッシュカードを、本機のコンパクトフラッシュスロットに差し込む。

2 コピーボタンを押す。

- ・ <コピー>画面が表示されます。

3 「転送動作」に、希望する設定を表示させ、確定する。

設定項目(初期設定は「HDD→CFC」)

「HDD→CFC」: HDDからコンパクトフラッシュカードへコピーします。

「CFC→HDD」: コンパクトフラッシュカードからHDDへリストアします。

- ① 「CFC→HDD」設定を選択した場合、メニューが<リストア>に変わります。

4 「コピーモード」(リストアの場合は「リストアモード」)に、希望する設定を表示させ、確定する。

設定項目(初期設定は「上書き」)

「上書き」: 記録内容を上書きします。

「追記」: 記録内容を追記します。

- ① 転送動作: 「HDD→CFC」、コピーモード: 「上書き」を設定し実行した場合、コンパクトフラッシュカードの記録データ、メニューデータの区別無く、全記録データに対し、上書きします。ご注意ください。

5 範囲指定に希望する設定を表示させ、確定する。

設定項目(初期設定は「開始・終了」)

「開始・終了」: 記録開始・終了日時を設定します。

「開始」: 記録開始日時のみを設定します。

6 「開始」に、希望するコピー(リストア)開始日時・時刻を設定し、確定する。

7 (ステップ5で「開始・終了」を設定した場合のみ・・・)

「終了」に、希望するコピー(リストア)終了日時・時刻を設定し、確定する。

8 「実行」を選択し、シャトルを右に回す。

- ・ コピー(リストア)が実行されます。

- ・ コピー(リストア)を実行しない場合は、シャトルを左に回すか、コピーボタンを押してください。

- ① コンパクトフラッシュカードが挿入されていない状態で、コピーまたはリストアを実行すると「メディア無し」警告が表示されます。
- ① コピー範囲がコンパクトフラッシュカードの空き容量を上回る場合は、コピー実行時に画面に「コピー/サイズエラー」警告が表示されます(☞98ページ)。そのときは、コピー範囲を狭めてもう一度設定するか、空き容量の大きいメディアを入れてください。
- ① コピー範囲にデータの無い日が含まれていると、画面に「コピー/サイズエラー」警告が表示されますので、ご注意ください。
- ① コンパクトフラッシュカードにリストアするデータが存在しないときは、リストアを実行時に「リストア/サイズエラー」が表示されます。
- ① コピーおよびリストアが可能な記録フォーマットは当社独自フォーマット(FSM1)です。
- ① 当社独自フォーマット(FSM1)のコンパクトフラッシュカードと異なるフォーマットのコンパクトフラッシュカードからのリストア実行時には、「リストア/サイズエラー」が表示されます。
- ① 使用可能なコンパクトフラッシュカードについては、販売店にご確認ください。
- ➡ コンパクトフラッシュカードへのコピー可能な記録時間については、☞94ページ。

<コピー>		HDD→CFC	
>>転送動作			上書き
コピーモード			開始・終了
範囲指定			
開始	2004-01-01	00:00:00	
終了	2004-01-01	00:00:00	
実行			

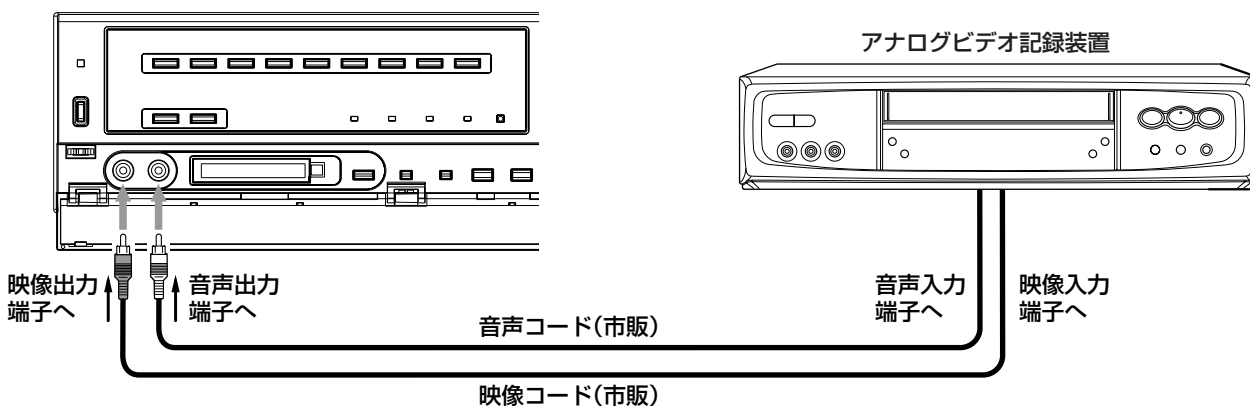
<リストア>		CFC→HDD	
>>転送動作			上書き
リストアモード			開始・終了
範囲指定			
開始	2004-01-01	00:00:00	
終了	2004-01-01	00:00:00	
実行			

コピーのしかた(つづき)

■ レコーダーからビデオテープにコピーする

本機が記録中でも、コピーすることができます。

アナログビデオ記録装置の録画の操作については、アナログビデオ記録装置の取扱説明書をごらんください。



- 1 [アナログビデオ記録装置] 録画の準備をする。
 - ・必ず、入力切換を本機を接続している外部入力にしてください。
 - 2 [本機] 分割/シーケンスボタンを押して、再生する画面の種類を選ぶ。(☞ 30ページ)
 - ・1画、4分割(a~c)、9分割表示が選べます。
 - ▶ 各カメラの映像を順番に1画シーケンシャル再生して、コピーすることも可能です。(☞ 45ページ「カメラ切替再生」)
 - 3 [本機] サーチ機能を使って、コピーしたい場面を頭出しする。(☞ 64ページ「開始点サーチ/終了点サーチ」)
 - 4 [アナログビデオ記録装置] 録画を始める。
 - 5 [本機] 再生ボタンを押して、再生を始める。
 - 6 コピーをやめる場合は、[本機]の再生停止ボタンを押して再生を停止させたあと、[アナログビデオ記録装置]の録画を停止する。
- ❗ ビデオテープには、画面に表示されているカメラ番号の映像のみが、コピーされます。

便利な機能について

■ 停電補償回路

本機は停電補償回路を内蔵していますので、48時間以上の充電(フル充電時)を行えば非通電状態でも日付・時刻の設定、タイマー記録やメニュー画面の設定は、約1ヵ月間保たれます。

長い期間電源プラグがコンセントから外れていると、時刻精度が多少悪くなります。このような状態が続いたときは、現在時刻設定を確認することをおすすめします。

■ 停電復帰記録

記録中に停電しても、停電復帰後に再び記録を開始します。タイマー記録中に停電すると、設定時間内であれば停電復帰後に再び記録を開始します。アラーム記録中は、設定記録時間内でも記録を停止します。

- ➡ 停電復帰後に再び記録を開始したところは、再生映像が一部乱れたり、サーチ機能が正常に働かないことがあります。

■ 本機稼働中の停電発生、後面部MAINスイッチOFF操作時の履歴の記録

停電発生ならびに後面部のMAINスイッチOFF操作時の日時情報と障害履歴表示が、他の障害履歴と合わせて最大1000件まで、<障害ログリスト>(P.49ページ)に登録され、画面上に赤字で表示されます。

■ リセットボタン

本機後面部のリセットボタンをボールペンなどで押すと、初期状態となり電源が切れます。

- ➡ このときメニュー設定、現在時刻および映像データは、そのまま取り消されず保持されます。

■ 簡易ロック／パスワードロック

本機のロック機能には、ロック解除にパスワードが不要な簡易ロックと、パスワードが必要なパスワードロックの2種類があります。

- ・ ロック解除用のパスワードを設定していない場合：簡易ロックになります。
- ・ ロック解除用のパスワードを設定している場合：パスワードロックになります。

- ➡ 後面部のMAINスイッチ(主電源)がONの場合は、前面の電源が切でも簡易ロック／パスワードロックの設定は可能です。

- ⚠ 後面部のMAINスイッチ(主電源)がOFFの場合やメニュー表示中は、簡易ロック／パスワードロックは機能しません。

◆ 簡易ロック

簡易ロックをかけると、分割/シーケンスボタン、拡大ボタン、カメラ番号ボタン1～9およびMAINスイッチ(主電源)ON/OFF以外の操作ができなくなり、現在の状態にロック(固定)されます。

簡易ロックをかける場合は・・・

- 1 MAINスイッチがONで、電源が入の場合に、ロックボタンをボールペンなどで押す。
 - ・ ロックがかかり、ロックインジケータが点灯します。

簡易ロックを解除する場合は・・・

- 1 ロックボタンを押す。
 - ・ ロックが解除され、ロックインジケータが消灯します。

便利な機能について(つづき)

◆パスワードロック

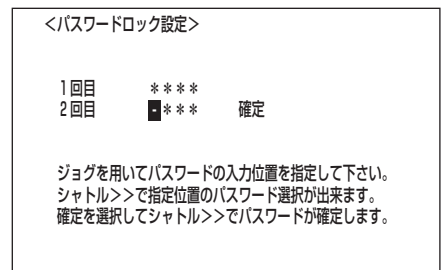
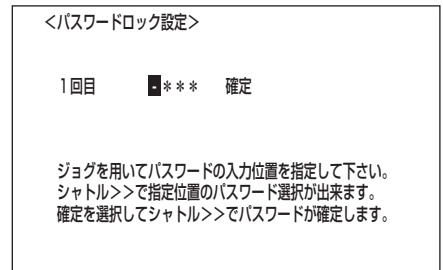
パスワードロックをかけると、正しいパスワードを入力してロックを解除しない限り、分割/シーケンスボタン、拡大ボタン、カメラ番号ボタン1～9およびMAINスイッチ(主電源)ON/OFF以外の操作をすることができなくなります。

- 後面部のMAINスイッチがONの場合は、前面部の電源が切でもパスワードロックの登録/設定/設定解除ができます。

パスワードを登録する場合は・・・

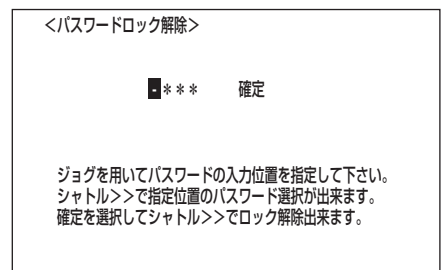
パスワードは、0～9の4桁の番号で登録します。

- 1 MAINスイッチがONの場合に、ロックボタンをボールペンなどで5秒以上押し続ける。
 - ・ <パスワードロック設定>画面が表示され、「1回目」の最初の入力位置が反転表示になります。
 - 2 シャトルを右に回す。
 - ・ 反転している入力位置の背景が赤色表示され、点滅します。
 - 3 ジョグを回して番号を入力し、シャトルを右に回す。
 - ・ 入力した番号の点滅がとまります。
 - 4 ジョグを回して反転表示を次の入力位置に移動し、シャトルを右に回す。
 - ・ 次の入力位置の背景が赤色表示され、点滅します。
 - 5 ステップ3、4の操作を繰り返して、「1回目」の残りの番号を入力する。
 - ・ 入力を間違った場合は、変更したい入力位置へジョグを回して移動し、ステップ3、4を繰り返します。
 - 6 ジョグを回して反転表示を「確定」に移動させ、シャトルを右に回して確定する。
 - ・ 「2回目」が表示され、最初の入力位置が反転表示になります。
- ❗ パスワードロック設定中に画面を抜けるときは、入力位置が反転表示の状態でもロックボタンを5秒以上押し続けてください。設定画面が消え、ロックインジケーターが点滅します。もう一度ロックボタンを押して消灯させてください。入力位置が点滅中は抜けることはできません。
- 7 「2回目」に、「1回目」で入力した番号を再入力する。
 - 8 ジョグを回して反転表示を「確定」に移動させ、シャトルを右に回して確定する。
 - ・ <パスワードロック設定>画面が消えて、パスワードが登録されます。
 - ・ パスワードロックがかかり、ロックインジケーターが点灯します。



パスワードロックを解除する場合は・・・

- 1 ロックボタンを5秒以上押し続ける。
 - ・ <パスワードロック解除>画面が表示され、最初の入力位置が反転表示されます。
- 2 シャトルを右に回す。
 - ・ 反転している入力位置の背景が赤色表示になり、点滅します。
- 3 ジョグを回して番号を入力し、シャトルを右に回す。
 - ・ 入力した番号の点滅がとまります。
- 4 ジョグを回して反転表示を次の入力位置に移動させ、シャトルを右に回す。
 - ・ 次の入力位置が点滅します。



5 ステップ3、4の操作を繰り返して、残りの番号を入力する。

- ・ 入力を間違ったときは、変更したい入力位置へジョグを回して移動し、ステップ3、4を繰り返す。

6 ジョグを回して反転表示を「確定」に移動させ、シャトルを右に回して確定する。

- ・ <パスワードロック解除>画面が消えてロックが解除され、ロックインジケーターが消灯します。

- 🔁 設定したパスワードを忘れてしまった場合は、サービスセンターへご相談ください。

パスワードロックをかける場合は…**1 電源が入のときに、ロックボタンをボールペンなどで押す。**

- ・ パスワードロックがかかり、ロックインジケーターが点灯します。

パスワードを変更する場合は…**1 パスワードロックが解除されているときに、ロックボタンをボールペンなどで5秒以上押し続ける。**

- ・ <パスワードロック設定>画面が表示されます。

2 変更する前のパスワードを入力する。

- ・ <パスワードロック設定>画面が表示されます。

3 前記「パスワードを登録するときは・・・」のステップ2～8の操作を行い、変更したいパスワードを入力し確定する。

- ・ <パスワードロック設定>画面が消えて、パスワードが登録されます。
- ・ パスワードロックがかかり、ロックインジケーターが点灯します。

パスワードロックモードから簡易ロックモードへ変更する場合は…**1 パスワードロックが解除されているときに、ロックボタンをボールペンなどで5秒以上押し続ける。**

- ・ <パスワードロック設定>画面が表示されます。

2 変更する前のパスワードを入力する。

- ・ <パスワードロック設定>画面が表示されます。

3 前記「パスワードを登録する場合は・・・」のステップ2～8の操作を行い、1回目、2回目ともにすべてのパスワード入力位置に「ー」を入力し確定する。

- ・ <パスワードロック設定>画面が消えて、簡易ロックモードへ変更されます。

便利な機能について(つづき)

■ 表示カメラ設定

映像信号の有無にかかわらず、指定したカメラ番号の映像を非表示に設定することができます。

設定項目(初期設定は「有り」)

「有り」、「無し」

- ➡ 表示カメラ設定運用中にカメラの故障などにより映像が途切れた場合、画面上には警告は表示されず、ブザー設定を「警告」にしているときは、ブザーが鳴ります。また、障害ログリストに記録され、CALL OUT信号が出力されます。
- ➡ 記録運用に設定しているカメラで、表示カメラ設定を「無し」にした場合、画面非表示の状態記録は行われます。
- ❗ 表示カメラ設定を「無し」に設定した場合、再生映像は表示されず、該当カメラ番号表示部に「-」が表示されます。また、動作モード表示、アラームディスプレイ設定は機能しません。

1 設定ボタン → <設定> → <マルチプレクサ設定>画面を表示中に、警告消去ボタンを5秒以上押し続ける。

・ <表示カメラ設定>画面が表示されます。

2 ジョグを回して設定するカメラ番号を選択し、シャトルを右に回す。

・ 設定項目の背景が赤色表示され、点滅します。

3 ジョグを回して「無し」を選択し、シャトルを右に回す。

・ 設定が確定し、点滅がとまります。
・ 設定したカメラ番号画面が黒画面になります。

4 他のカメラ番号も設定する場合は、ステップ2、3の操作を繰り返す。

5 すべての設定が完了したら、シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

・ 表示カメラ設定を「無し」に設定したカメラ番号画面のチャンネル表示は「-」になり、黒画面表示されます。

<表示カメラ設定>	
カメラ	表示
>>①	有り
②	有り
③	有り
④	有り
⑤	有り
⑥	有り
⑦	有り
⑧	有り
⑨	有り
アラームディスプレイ	切

①	②	③
-	⑤	⑥
⑦	-	⑨

◆ アラームディスプレイ

アラーム信号入力時にアラームの入った映像を1画表示させる設定です。アラーム記録中に別のアラーム信号が入った場合、最新のアラーム信号が入ったカメラ映像が1画表示されます。アラーム記録完了後は、元の画面表示に戻ります。

設定項目(初期設定は「切」)

「切」、「入」

1 設定ボタン → <設定> → <マルチプレクサ設定>画面を表示中に、警告消去ボタンを5秒以上押し続ける。

・ <表示カメラ設定>画面が表示されます。

2 ジョグを回して「アラームディスプレイ」を選択し、シャトルを右に回す。

・ 設定項目の背景が赤色表示され、点滅します。

3 ジョグを回して「入」を選択し、シャトルを右に回す。

・ 設定が確定し、点滅がとまります。

4 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

■メモ

はじめに

基本操作

設置

メニュー一覧

運用

記録時間表

故障かな？

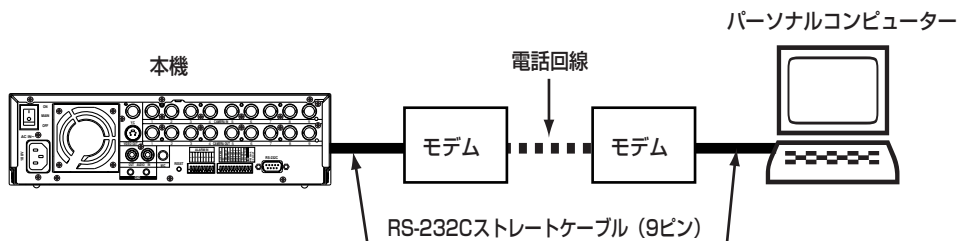
用語集・索引

パーソナルコンピュータとの接続

本機とRS-232C端子付のパーソナルコンピュータを接続することにより、パーソナルコンピュータから本機を遠隔操作することができます。また、パーソナルコンピュータからコメントを入力し、コメント情報を映像とともに記録することもできます。

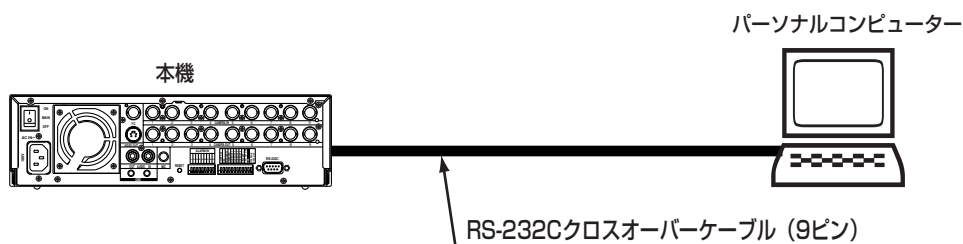
◆ モデムを介して接続する場合

本機とモデムの接続には、市販のRS-232Cストレートケーブル(9ピン)をご使用ください。本機と接続するモデムのCTS(送信許可)の設定はHIGHまたはONにしてください。設定のしかたについては、モデムの説明書をお読みください。

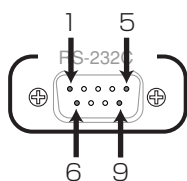


◆ ダイレクト接続する場合

本機とパーソナルコンピュータの接続には、市販のRS-232Cクロスオーバーケーブルをご使用ください。RS-232C端子の形状は、パーソナルコンピュータによって異なりますので、ピン配列をご確認の上、適切なケーブルをご使用ください。



◆ RS-232C端子について

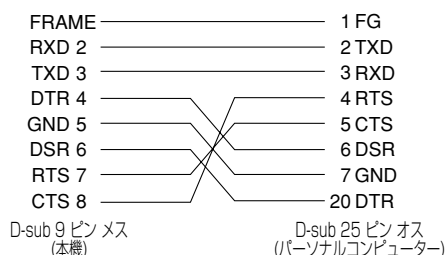


ピン記号	記号	信号内容	ピン記号	記号	信号内容
2	RXD	受信データ	6	DSR	データセットレディ
3	TXD	送信データ	7	RTS	送信要求
4	DTR	データターミナルレディ	8	CTS	送信許可
5	GND	シグナル グラウンド			

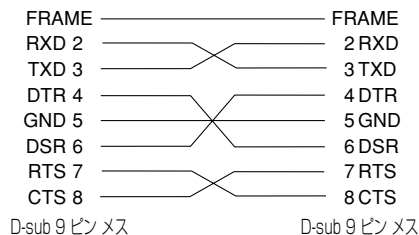
◆ RS-232Cケーブル

本機のRS-232C端子とパーソナルコンピュータのRS-232C端子を接続するときは、下記のRS-232Cクロスオーバーケーブルをご使用ください。

1) パーソナルコンピュータのRS-232C端子がD-sub 25ピンのとき



2) パーソナルコンピュータのRS-232C端子がD-sub 9ピンのとき



コマンドコード表について

■ 通信設定

本機の通信関連の設定は、＜通信設定＞画面の「RS-232C運用」および「RS-232C設定」で設定します。接続するモデムやパーソナルコンピュータとの設定が同じになるように設定してください。

- ① パーソナルコンピュータから本機を遠隔操作する場合は、＜通信設定＞画面の「RS-232C運用」を「リモート操作1」(本機から状態遷移通知ステータスを返します)または「リモート操作2」(本機から状態遷移通知ステータスを返しません)に設定してください。

本機が設定可能な項目

項目	画面表示	設定可能値
1 送受信時の通信速度	転送速度	1200/2400/4800/9600/19200
2 データビット長	データビット	8ビット/7ビット
3 パリティ処理	パリティ	無/奇数/偶数
4 ストップビット長	ストップビット	1ビット/2ビット
5 ラインフィード処理	CR/CR・LF	CR/CR・LF

下記の項目は、パーソナルコンピュータで設定してください。

項目	画面表示
1 Xコントロール	なし
2 Sパラメーター	なし
3 CS-RSハンドシェイク	あり

■ コマンドコード体系

本機はレコーダーの運用用途に合わせ、「直接動作指定」タイプと「擬似操作パネル」タイプの2種類のコマンドコード形式を選択することができます。

■ コマンドコード体系の概要

◆ 直接動作指定コマンド形式

パーソナルコンピュータから送信されたコマンドに対し、レコーダーから返信されたステータスにより、実行やエラー等を確認し、制御や設定を行なう形式です。動作を設定する動作設定系コマンドと各種メニューを直接設定するメニュー設定系コマンドから構成されています。

・ 入力形式

動作設定系コマンドは、レコーダーの電源入/切、記録、再生など動作ごとにパーソナルコンピュータからコマンドを送信してください。

メニュー設定系コマンドは、レコーダーの各メニュー設定ごとに設定項目を指定してください。

原則として、連続してコマンドを送信せず、コマンド毎に実行、完了したことを確認したあと、次のコマンドを送信してください。

・ 応答形式

コマンド送信後、レコーダーから返信されたステータスにより下記の項目を確認することができます。

1) 実行の有無、エラー種別、コマンド名、動作状態。

2) 動作設定系コマンドは、返信されたステータスのモード番号によりレコーダーの動作モードが識別できます。

メニュー設定系は、識別できません。(モード番号は、状態が移行した場合のみ、通知されます。)

実施例) 本機の電源を入れる。

PCから送信するコマンド	レコーダーからPCへ返すステータス	意味
PW 1[#1]		電源 入 コマンドを送信したことを表す
	RC [#2]	レコーダーがコマンドを受信したことを表す
	EX, OOPW1, 03[#2]	EX : コマンドを実行したことを表す 00 : 正常に実行されたことを表す(エラー種別) PW1 : 電源 入 コマンドへの応答を表す 03 : 電源 入 状態を表す

- ① パーソナルコンピュータから送信される動作設定系、メニュー設定系コマンドをレコーダーが実行できない場合、レコーダーから返信されたステータスのエラー種別にその内容が表示されます。エラーコードを確認のうえ、適切な処置を行なってください。

- ① 記録、再生などの制御系コマンドでは、コマンド送信と実動作(コマンド実行)の間隔が長くなる場合があります。操作と実動作の“ずれ”を防止するため、コマンド送信後ステータスを読み込み、実動作の移行を確認してください。

コマンドコード表について(つづき)

◆ 擬似操作パネルコマンド形式

レコーダーの出力映像を見ながらレコーダーの操作パネルを実際に操作する感覚でパーソナルコンピュータから動作の指定などを行うケースを想定した形式です。各コマンドは、レコーダーの操作ボタンに対応したコマンド体系としています。

・入力確認形式

操作パネルのボタン、ジョグ、シャトルを操作する感覚でコマンドを送信してください。原則として、連続してコマンドを送信せず、コマンドごとに本機の実動作を確認したあと、次のコマンドを送信してください。コマンド送信後、レコーダーから返信されたステータスによりコマンドの実行の有無、エラー種別、コマンド名を確認することができます。動作の実行確認は、モニター画面上でレコーダーの出力画面を見て動作移行を確認してください。

実施例) 記録データを静止画再生する。

PCから送信するコマンド	レコーダーからPCへ返すステータス	意味
KKP0 [#1]		「電源ボタンを押す」に相当するコマンドを送信したことを表わす
	RC [#2]	レコーダーがコマンドを受信したことを表わす
	EX, 00KKP0 [#2]	EX : コマンドが実行されたことを表わす 00 : 正常に実行されたことを表わす(エラー種別) KKP0 : 電源ボタンが操作されたことを表わす
KKB1 [#1]		「再生ボタンを押す」に相当するコマンドを送信したことを表わす
	RC [#2]	レコーダーがコマンドを受信したことを表わす
	EX, 00KKB1 [#2]	EX : コマンドが実行されたことを表わす 00 : 正常に実行されたことを表わす(エラー種別) KKB1 : 再生ボタンが操作されたことを表わす
KKB4 [#1]		「一時停止ボタンを押す」に相当するコマンドを送信したことを表わす
	RC [#2]	レコーダーがコマンドを受信したことを表わす
	EX, 00KKB4 [#2]	EX : コマンドが実行されたことを表わす 00 : 正常に実行されたことを表わす(エラー種別) KKB4 : 一時停止ボタンが操作されたことを表わす

- ① シャトル操作コマンドを使用する場合は、コマンド送信後に必ずシャトル中央コマンドを送信してください。シャトル中央コマンドを送信するまでシャトル動作は保持されます。
- ① 記録、再生などの制御系コマンドでは、タイミングによりコマンド送信と実動作(コマンド実行)の間隔が長くなる場合があります。操作と実動作の“ずれ”を防止するため、コマンド送信後モニター画面で実動作の移行を確認してください。

◆ 状態遷移通知機能

実施例) システムモード、電源 入 の状態遷移通知を発行

レコーダーからPCへ返すステータス	意味
EX, AA, 0103 [#2]	EX : コマンドが実行されたことを表わす AA : 状態遷移通知を表わす 0103 : 電源 入 状態を表わす

RS-232C運用設定(48ページ)を「リモート操作1」に設定すると、レコーダーの状態が遷移したときにパーソナルコンピュータへ状態遷移通知を送信します。「リモート操作2」に設定すると、状態遷移通知は送信されません。

◆ コマンド受取確認通知機能

受信したコマンドを実行すると、実行ステータス[EX]に続き、コマンド実行時のエラー種別が通知されます。

エラー種別	備 考
00	正常に動作しています
01	実行できません
02	実行不可エラー
03	コマンドが間違っています
04	パラメータが間違っています
05	コマンドを実行しています
06	対応していません

コマンドコード表

記号の説明

- #1: <RS-232C設定>画面のCR/CR・LFの設定を「CR」に設定したときは、キャリッジリターンコード(ODH)を入力します。
「CR・LF」に設定したときは、キャリッジリターンコード(ODH)とラインフィードコード(OAH)を入力します。
- #2: <RS-232C設定>画面のCR/CR・LFの設定を「CR」に設定したときは、キャリッジリターンコード(ODH)が出力されます。
「CR・LF」に設定したときは、キャリッジリターンコード(ODH)とラインフィードコード(OAH)が出力されます。
- * : 1個につき1つの数字(または文字)が入ります。

☎ コメントサーチ用コマンドは、☎ 92ページ。

◆ コマンドコード

・RS-232C 「直接動作指定」動作設定系コマンド形式

コマンド名	コマンド	ステータス	備考
電源コマンド	PW*(1) #1	RC #2 EX,**(2)PW*(1),**(3) #2	* (1): 電源 入/切 0: 切 1: 入 * (2): エラー種別(別紙参照) * (3): システムモード番号 00: 電源切 03: 電源入 06: 設定メニュー 07: コピーメニュー 08: 検索メニュー 09: デバイス異常 0A: デバイス初期化 0B: デバイス再構築 0F: システム異常
記録コマンド	RC*(1) #1	RC #2 EX,**(2)RC*(1),**(3) #2	* (1): 記録/記録停止 0: 記録停止 1: 記録 * (2): エラー種別(別紙参照) * (3): 記録モード番号 00: 停止 03: 停止(一時停止) 04: 記録 05: プリアラーム記録 06: 一時停止からのアラーム記録 07: 記録からのアラーム記録 08: プリアラーム記録からのアラーム記録 0A: 記録エラー
再生コマンド	PB***(1) #1	RC #2 EX,**(2)PB***(1),**(3) #2	* (1): 再生系コマンド 00: 再生停止 11: 順再生 12: 順方向早送り1 13: 順方向早送り2 14: 順方向早送り3 15: 順方向早送り4 16: 順方向高速早送り 17: 順方向コマ送り 21: 逆再生 22: 逆方向早送り1 23: 逆方向早送り2 24: 逆方向早送り3 25: 逆方向早送り4 26: 逆方向高速早送り 27: 逆方向コマ送り 30: 一時停止 41: 順方向タイムデートサーチ 42: 順方向記録インデックスサーチ 43: 順方向アラームインデックスサーチ 44: 順方向スキップサーチ 52: 逆方向記録インデックスサーチ 53: 逆方向アラームインデックスサーチ 54: 逆方向スキップサーチ 70: 開始点サーチ 71: 終了点サーチ * (2): エラー種別(別紙参照) * (3): 再生モード番号 00: 再生停止 03: 順再生(単画) 04: 逆再生(単画) 05: 順再生一時停止(単画) 06: 逆再生一時停止(単画) 07: 早送り(単画) 08: 早戻し(単画) 09: 高速早送り(単画) 0A: 高速早戻し(単画) 0B: 順再生(分割) 0C: 逆再生(分割) 0D: 順再生一時停止(分割) 0E: 逆再生一時停止(分割) 0F: 早送り(分割) 10: 早戻し(分割) 11: 高速早送り(分割) 12: 高速早戻し(分割) 13: 順再生(拡大) 14: 逆再生(拡大) 15: 順再生一時停止(拡大) 16: 逆再生一時停止(拡大) 17: 早送り(拡大) 18: 早戻し(拡大) 19: 高速早送り(拡大) 1A: 高速早戻し(拡大) 1C: 再生エラー
アラームリストサーチ コマンド	PB***(1)***** (4) #1	RC #2 EX,**(2)PB***(1)***** (4), ** (3) #2	* (1): 60 * (2): エラー種別(別紙参照) * (3): 再生モード番号(再生コマンド参照) * (4): アラームリスト番号(00000~09999) (最新が00000)
コメントサーチ	PB***(1)***(2)***(3)***(4) ***** (5)***** ***** (6) #1	RC #2 EX,**(7)PB***(1)***(2)***(3)***(4) ***** (5)***** ***** (6), ** (8) #2	* (1): コメントサーチ(80) * (2): 検索方向 00: 順方向 01: 逆方向 * (3): 検索回数(01~99) * (4): カメラ番号 00: CH1 01: CH2 02: CH3 03: CH4 04: CH5 05: CH6 06: CH7 07: CH8 08: CH9 * (5): 文字サイズ(00~32) * (6): コメント * (7): エラー種別(別紙参照) * (8): 再生モード番号(再生コマンド参照)

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C 「直接動作指定」動作設定系コマンド形式 (つづき)

コマンド名	コマンド	ステータス	備考
スイッチャーコマンド	SW**** ⁽¹⁾ <u>#1</u>	RC <u>#2</u> EX,** ⁽²⁾ SW**** ⁽¹⁾ ,** ⁽³⁾ <u>#2</u>	*** ⁽¹⁾ :スイッチャーコマンド 0100:1画シーケンシャル 0101:CH1 0102:CH2 0103:CH3 0104:CH4 0105:CH5 0106:CH6 0107:CH7 0108:CH8 0109:CH9 0180:拡大解除 0181:1倍拡大 0182:2倍拡大 0184:4倍拡大 0191:拡大上移動 0192:拡大下移動 0193:拡大右移動 0194:拡大左移動 0400:4画面シーケンシャル 0401:4a 0402:4b 0403:4c 0901:9a ** ⁽²⁾ :エラー種別(別紙参照) <再生中の場合> ** ⁽³⁾ :再生中は再生モード番号、再生中以外は表示モード番号 再生モード番号は再生コマンド参照 <それ以外の場合> ** ⁽³⁾ :表示モード番号 03:単画 04:分割 05:拡大 07:表示エラー
タイマーコマンド	TM* ⁽¹⁾ <u>#1</u>	RC <u>#2</u> EX,** ⁽²⁾ TM* ⁽¹⁾ ,** ⁽³⁾ <u>#2</u>	* ⁽¹⁾ :タイマーコマンド 0:タイマー切 1:タイマー入 ** ⁽²⁾ :エラー種別(別紙参照) ** ⁽³⁾ :タイマーモード番号 00:タイマー切 01:タイマー入 02:タイマーエラー
アラームホールド コマンド	AD* ⁽¹⁾ <u>#1</u>	RC <u>#2</u> EX,** ⁽²⁾ AD* ⁽¹⁾ ,** ⁽³⁾ <u>#2</u>	* ⁽¹⁾ :アラームホールドコマンド 0:アラームホールド切 1:アラームホールド入 ** ⁽²⁾ :エラー種別(別紙参照) ** ⁽³⁾ :アラームディセーブルモード番号 00:アラーム禁止切 01:アラーム禁止入
コピーコマンド	CP* ⁽¹⁾ <u>#1</u>	RC <u>#2</u> EX,** ⁽²⁾ CP* ⁽¹⁾ ,** ⁽³⁾ <u>#2</u>	* ⁽¹⁾ :コピーコマンド 0:停止 1:開始 ** ⁽²⁾ :エラー種別(別紙参照) ** ⁽³⁾ :コピーモード番号 00:停止 02:実行 04:コピーエラー
リストコマンド	RP* ⁽¹⁾ <u>#1</u>	RC <u>#2</u> EX,** ⁽²⁾ RP* ⁽¹⁾ ,** ⁽³⁾ <u>#2</u>	* ⁽¹⁾ :リストコマンド 0:停止 1:開始 ** ⁽²⁾ :エラー種別(別紙参照) ** ⁽³⁾ :リストモード番号 00:停止 02:実行 04:リストエラー
記録情報取得コマンド	IF**** ⁽¹⁾ <u>#1</u>	RC <u>#2</u> EX,** ⁽²⁾ IF**** ⁽¹⁾ ,** ⁽³⁾ ,** ⁽⁴⁾ ** ⁽⁵⁾ ** ⁽⁶⁾ ** ⁽⁷⁾ ** ⁽⁸⁾ ** ⁽⁹⁾ ** ⁽¹⁰⁾ ** ⁽¹¹⁾ ** ⁽¹²⁾ ** ⁽¹³⁾ ** ⁽¹⁴⁾ ** ⁽¹⁵⁾ ***** ⁽¹⁶⁾ <u>#2</u>	* ⁽¹⁾ :記録情報取得コマンド 01:メイン 03:コピー ** ⁽²⁾ :エラー種別(別紙参照) ** ⁽³⁾ :情報取得モード番号 00:終了 02:情報取得エラー ** ⁽⁴⁾ :開始年 ** ⁽⁵⁾ :開始月 ** ⁽⁶⁾ :開始日 ** ⁽⁷⁾ :開始時 ** ⁽⁸⁾ :開始分 ** ⁽⁹⁾ :開始秒 ** ⁽¹⁰⁾ :終了年 ** ⁽¹¹⁾ :終了月 ** ⁽¹²⁾ :終了日 ** ⁽¹³⁾ :終了時 ** ⁽¹⁴⁾ :終了分 ** ⁽¹⁵⁾ :終了秒 ***** ⁽¹⁶⁾ :アラームリスト件数
警告消去コマンド	WC* ⁽¹⁾ <u>#1</u>	RC <u>#2</u> EX,** ⁽²⁾ WC* ⁽¹⁾ ,** ⁽³⁾ <u>#2</u>	* ⁽¹⁾ :警告消去コマンド 0:簡易消去(表示のみ) ** ⁽²⁾ :エラー種別(別紙参照) ** ⁽³⁾ :システムモード番号(電源コマンド参照)
メニュー初期化・ロード・ セーブコマンド	MC* ⁽¹⁾ <u>#1</u>	RC <u>#2</u> EX,** ⁽²⁾ MC* ⁽¹⁾ ,** ⁽³⁾ <u>#2</u>	* ⁽¹⁾ :メニュー初期化・ロード・セーブコマンド 0:初期化 1:ロード 2:セーブ ** ⁽²⁾ :エラー種別(別紙参照) ** ⁽³⁾ :システムモード番号(電源コマンド参照)
データ消去コマンド	CL**** ⁽¹⁾ <u>#1</u>	RC <u>#2</u> EX,** ⁽²⁾ CL**** ⁽¹⁾ ,** ⁽³⁾ <u>#2</u>	* ⁽¹⁾ :データ消去コマンド 01:メイン 03:コピー ** ⁽²⁾ :エラー種別(別紙参照) ** ⁽³⁾ :データ消去モード番号 00:終了 02:データ消去エラー

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式 <時刻・画面表示設定>

メニュー	コマンド	ステータス	備考
時刻設定	<設定> DW,***** ⁽¹⁾ ***** ⁽²⁾ [#1] <設定情報の問い合わせ> DR,***** ⁽¹⁾ [#1]	<メニュー情報書き込み> RC [#2] EX,*** ⁽³⁾ DW,***** ⁽¹⁾ *** *** ⁽²⁾ [#2] <メニュー情報読み込み> RC [#2] EX,*** ⁽³⁾ DR,***** ⁽¹⁾ *** *** ⁽²⁾ [#2]	***** ⁽¹⁾ : 00048 : 時刻(年) 00049 : 時刻(月) 00050 : 時刻(日) 00053 : 時刻(時) 00054 : 時刻(分) 00055 : 時刻(秒) ***** ⁽²⁾ : 00001~00099 : 時刻(年) 00001~00012 : 時刻(月) 00001~00031 : 時刻(日) 00000~00023 : 時刻(時) 00000~00059 : 時刻(分) 00000~00059 : 時刻(秒) *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
画面表示形式	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 00033 ***** ⁽²⁾ : 00001~00006 *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
画面表示位置	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 00034 ***** ⁽²⁾ : 00000~00383 *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
カメラ表示設定	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 00035 ***** ⁽²⁾ : 00000~00003 00000 : 無 00001 : カメラ設定 00002 : タイトル 00003 : コメント *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
カメラタイトル・メモ設定	<設定> DW02,***** ⁽¹⁾ ***** ⁽²⁾ [#1] <設定情報の問い合わせ> DR02,***** ⁽¹⁾ [#1]	<メニュー情報書き込み> RC [#2] EX,*** ⁽³⁾ DW02,***** ⁽¹⁾ *** *** ⁽²⁾ [#2] <メニュー情報読み込み> RC [#2] EX,*** ⁽³⁾ DR02,***** ⁽¹⁾ *** *** ⁽²⁾ [#2]	***** ⁽¹⁾ : CH1 : 00080~00095 CH2 : 00096~00111 CH3 : 00112~00127 CH4 : 00128~00143 CH5 : 00144~00159 CH6 : 00160~00175 CH7 : 00176~00191 CH8 : 00192~00207 CH9 : 00208~00223 メモ : 05329~05344 ***** ⁽²⁾ : (カメラタイトル・メモ設定用文字コード一覧参照) *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
画面動作モード表示	<設定> DW,***** ⁽¹⁾ ***** ⁽²⁾ [#1] <設定情報の問い合わせ> DR,***** ⁽¹⁾ [#1]	<メニュー情報書き込み> RC [#2] EX,*** ⁽³⁾ DW,***** ⁽¹⁾ *** *** ⁽²⁾ [#2] <メニュー情報読み込み> RC [#2] EX,*** ⁽³⁾ DR,***** ⁽¹⁾ *** *** ⁽²⁾ [#2]	***** ⁽¹⁾ : 05282 ***** ⁽²⁾ : 00000 : 切 00001 : 上 00002 : 下 *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式 <マルチプレクサ設定>

メニュー	コマンド	ステータス	備考
4分割表示位置	<設定> DW,***** ⁽¹⁾ ***** ⁽²⁾ [E1] <設定情報の問い合わせ> DR,***** ⁽¹⁾ [E1]	<メニュー情報書き込み> RC [E2] EX,*** ⁽³⁾ DW,***** ⁽¹⁾ ** *** ⁽²⁾ [E2] <メニュー情報読み込み> RC [E2] EX,*** ⁽³⁾ DR,***** ⁽¹⁾ ** *** ⁽²⁾ [E2]	4分割表示a ***** ⁽¹⁾ : 00368~00371 00368: 左上 00369: 右上 00370: 左下 00371: 右下 4分割表示b ***** ⁽¹⁾ : 00384~00387 00384: 左上 00385: 右上 00386: 左下 00387: 右下 4分割表示c ***** ⁽¹⁾ : 00400~00403 00400: 左上 00401: 右上 00402: 左下 00403: 右下 ***** ⁽²⁾ : 00000~00008 00000: CH1 00001: CH2 00002: CH3 00003: CH4 00004: CH5 00005: CH6 00006: CH7 00007: CH8 00008: CH9 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
9分割表示位置	↑	↑	9分割表示 ***** ⁽¹⁾ : 00432~00440 00432: 上左 00433: 上中 00434: 上右 00435: 中左 00436: 中中 00437: 中右 00438: 下左 00439: 下中 00440: 下右 ***** ⁽²⁾ : 00000~00008 00000: CH1 00001: CH2 00002: CH3 00003: CH4 00004: CH5 00005: CH6 00006: CH7 00007: CH8 00008: CH9 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
シーケンス表示 表示順-カメラ番号	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 00480~00488 00480: 1 00481: 2 00482: 3 00483: 4 00484: 5 00485: 6 00486: 7 00487: 8 00488: 9 ***** ⁽²⁾ : 00000~00008 00000: CH1 00001: CH2 00002: CH3 00003: CH4 00004: CH5 00005: CH6 00006: CH7 00007: CH8 00008: CH9 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
シーケンス表示4分割	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 00489 ***** ⁽²⁾ : 00001~00002 00001: 4ab 00002: 4abc ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
シーケンス表示 切換時間	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 00512~00521 00512: 表示順1 00513: 表示順2 00514: 表示順3 00515: 表示順4 00516: 表示順5 00517: 表示順6 00518: 表示順7 00519: 表示順8 00520: 表示順9 00521: 4分割 ***** ⁽²⁾ : 00001~00030(秒) ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
分割表示画質	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 00339 ***** ⁽²⁾ : 00000~00001 00000: ソフト 00001: シャープ ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
表示カメラ設定	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 00528~00536 00528: CH1 00529: CH2 00530: CH3 00531: CH4 00532: CH5 00533: CH6 00534: CH7 00535: CH8 00536: CH9 ***** ⁽²⁾ : 00000~00001 00000: 無し 00001: 有り ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
アラームディスプレイ	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 00544 ***** ⁽²⁾ : 00000~00001 00000: 切 00001: 入 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式 <動き検知設定>

メニュー	コマンド	ステータス	備考
カメラ毎動作設定	<設定> DW,***** ⁽¹⁾ ***** ⁽²⁾ [#1] <設定情報の問い合わせ> DR,***** ⁽¹⁾ [#1]	<メニュー情報書き込み> RC [#2] EX,*** ⁽³⁾ DW,***** ⁽¹⁾ ** *** ⁽²⁾ [#2] <メニュー情報読み込み> RC [#2] EX,*** ⁽³⁾ DR,***** ⁽¹⁾ ** *** ⁽²⁾ [#2]	***** ⁽¹⁾ :00576~00584 00576:CH1 00577:CH2 00578:CH3 00579:CH4 00580:CH5 00581:CH6 00582:CH7 00583:CH8 00584:CH9 ***** ⁽²⁾ :00000~00001 00000:切 00001:入 *** ⁽³⁾ :エラー種別(別紙参照)
検知エリアドット	↑	↑	***** ⁽¹⁾ :00656~02383 00656~00847:CH1 00848~01039:CH2 01040~01231:CH3 01232~01423:CH4 01424~01615:CH5 01616~01807:CH6 01808~01999:CH7 02000~02191:CH8 02192~02383:CH9 ***** ⁽²⁾ :00000~00001 00000:切 00001:入 *** ⁽³⁾ :エラー種別(別紙参照)
感度	↑	↑	***** ⁽¹⁾ :00608~00616 00608:CH1 00609:CH2 00610:CH3 00611:CH4 00612:CH5 00613:CH6 00614:CH7 00615:CH8 00616:CH9 ***** ⁽²⁾ :00000~00004 00000:大 <小 00001:大 <<小 00002:大 <<<小 00003:大 <<<<小 00004:大<<<<<<小 *** ⁽³⁾ :エラー種別(別紙参照)
記録開始ドット	↑	↑	***** ⁽¹⁾ :00624~00632 00624:CH1 00625:CH2 00626:CH3 00627:CH4 00628:CH5 00629:CH6 00630:CH7 00631:CH8 00632:CH9 ***** ⁽²⁾ :00001~00192 (ポイント) *** ⁽³⁾ :エラー種別(別紙参照)

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式 <マニュアル記録設定>

メニュー	コマンド	ステータス	備考
マニュアル記録・ 通常記録間隔	<設定> DW,***** ⁽¹⁾ ***** ⁽²⁾ [#1] <設定情報の問い合わせ> DR,***** ⁽¹⁾ [#1]	<メニュー情報書き込み> RC [#2] EX,*** ⁽³⁾ DW,***** ⁽¹⁾ ** *** ⁽²⁾ [#2] <メニュー情報読み込み> RC [#2] EX,*** ⁽³⁾ DR,***** ⁽¹⁾ ** *** ⁽²⁾ [#2]	***** ⁽¹⁾ : 04032~04040 04032: CH1 04033: CH2 04034: CH3 04035: CH4 04036: CH5 04037: CH6 04038: CH7 04039: CH8 04040: CH9 ***** ⁽²⁾ : 65535: ----- 00001: 30F(0.03秒) 00002: 15F(0.06秒) 00003: 10F(1秒) 00004: 7.5F(0.13秒) 00005: 6F(0.16秒) 00006: 5F(0.2秒) 00010: 3F(0.33秒) 00015: 2F(0.5秒) 00030: 1F(1秒) 00060: 0.5F(2秒) 00120: 0.25F(4秒) 00240: 0.125F(8秒) *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
マニュアル記録・ 通常記録画質	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 04064~04072 04064: CH1 04065: CH2 04066: CH3 04067: CH4 04068: CH5 04069: CH6 04070: CH7 04071: CH8 04072: CH9 ***** ⁽²⁾ : 00000: スーパー 00001: ハイ 00002: スタンダード 00003: ベーシック 00004: ロング *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
マニュアル記録・ アラーム記録間隔	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 04048~04056 04048: CH1 04049: CH2 04050: CH3 04051: CH4 04052: CH5 04053: CH6 04054: CH7 04055: CH8 04056: CH9 ***** ⁽²⁾ : 65535: ----- 00001: 30F(0.03秒) 00002: 15F(0.06秒) 00003: 10F(1秒) 00004: 7.5F(0.13秒) 00005: 6F(0.16秒) 00006: 5F(0.2秒) 00010: 3F(0.33秒) 00015: 2F(0.5秒) 00030: 1F(1秒) 00060: 0.5F(2秒) 00120: 0.25F(4秒) 00240: 0.125F(8秒) *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
マニュアル記録・ アラーム記録画質	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 04080~04088 04080: CH1 04081: CH2 04082: CH3 04083: CH4 04084: CH5 04085: CH6 04086: CH7 04087: CH8 04088: CH9 ***** ⁽²⁾ : 00000: スーパー 00001: ハイ 00002: スタンダード 00003: ベーシック 00004: ロング *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
マニュアル記録・ アラーム動作設定	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 05283 ***** ⁽²⁾ : 00000: オールCH 00001: アラームCH 00002: アラームプラスCH *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
マニュアル記録・ アラーム記録時間	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 03985 ***** ⁽²⁾ : 00000~03600 00000: 接点 00002: 2秒 00005: 5秒 00010: 10秒 00015: 15秒 00030: 30秒 00045: 45秒 00060: 1分 00120: 2分 00300: 5分 00600: 10分 01200: 20分 01800: 30分 03600: 60分 *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
マニュアル記録・ プリアラーム記録時間	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 03986 ***** ⁽²⁾ : 00001~00003,00255 00001: 短 00002: 中 00003: 長 00255: 切 *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式 <タイマー記録設定>

メニュー	コマンド	ステータス	備考
タイマー記録・ タイマー設定	<設定> DW,***** ⁽¹⁾ ***** ⁽²⁾ #1 <設定情報の問い合わせ> DR,***** ⁽¹⁾ #1	<メニュー情報書き込み> RC#2 EX,*** ⁽³⁾ DW,***** ⁽¹⁾ *** *** ⁽²⁾ #2 <メニュー情報読み込み> RC#2 EX,*** ⁽³⁾ DR,***** ⁽¹⁾ *** *** ⁽²⁾ #2	***** ⁽¹⁾ :04112 ***** ⁽²⁾ : 00000:設定1 00001:設定2 00002:設定3 *** ⁽³⁾ :エラー種別(別紙参照)
タイマープログラム	<設定> DWO1,*** ⁽¹⁾ ***** ⁽²⁾ *** *** ⁽³⁾ ***** ⁽⁴⁾ ***** ⁽⁵⁾ *** *** ⁽⁶⁾ ***** ⁽⁷⁾ ***** * ⁽⁸⁾ #1 <設定情報の問い合わせ> DRO1,*** ⁽¹⁾ #1	<メニュー情報書き込み> RC#2 EX,*** ⁽³⁾ DWO1,*** ⁽¹⁾ *** *** ⁽²⁾ ***** ⁽³⁾ ***** ⁽⁴⁾ *** *** ⁽⁵⁾ ***** ⁽⁶⁾ ***** ⁽⁷⁾ *** * ⁽⁸⁾ #2 <メニュー情報読み込み> RC#2 EX,*** ⁽³⁾ DRO1,*** ⁽¹⁾ *** *** ⁽²⁾ ***** ⁽³⁾ ***** ⁽⁴⁾ *** *** ⁽⁵⁾ ***** ⁽⁶⁾ ***** ⁽⁷⁾ *** * ⁽⁸⁾ #2	***** ⁽¹⁾ :プログラム番号 00:設定1-1 01:設定1-2 02:設定1-3 03:設定1-4 04:設定1-5 05:設定1-6 06:設定1-7 07:設定1-8 08:設定2-1 09:設定2-2 10:設定2-3 11:設定2-4 12:設定2-5 13:設定2-6 14:設定2-7 15:設定2-8 16:設定3-1 17:設定3-2 18:設定3-3 19:設定3-4 20:設定3-5 21:設定3-6 22:設定3-7 23:設定3-8 ***** ⁽²⁾ :プログラム番号に相当する曜日 00000:日 00001:月 00002:火 00003:水 00004:木 00005:金 00006:土 00128:毎日 00129:指定 00130:休日 00255:---- ***** ⁽³⁾ :プログラム番号に相当する開始時刻(時) 00000~00023(時) 00255:---- ***** ⁽⁴⁾ :プログラム番号に相当する開始時刻(分) 00000~00059(分) 00255:---- ***** ⁽⁵⁾ :プログラム番号に相当する終了時刻(時) 00000~00023(時) 00255:---- ***** ⁽⁶⁾ :プログラム番号に相当する終了時刻(分) 00000~00059(分) 00255:---- ***** ⁽⁷⁾ :プログラム番号に相当する運用 00001:A運用 00002:B運用 00003:C運用 00004:D運用 00016:スキップ 00255:----- ***** ⁽⁸⁾ :プログラム番号に相当する検知 00000:切 00001:入 00255:- *** ⁽⁹⁾ :エラー種別(別紙参照)
タイマー記録・ アラーム動作設定	<設定> DW,***** ⁽¹⁾ ***** ⁽²⁾ #1 <設定情報の問い合わせ> DR,***** ⁽¹⁾ #1	<メニュー情報書き込み> RC#2 EX,*** ⁽³⁾ DW,***** ⁽¹⁾ *** *** ⁽²⁾ #2 <メニュー情報読み込み> RC#2 EX,*** ⁽³⁾ DR,***** ⁽¹⁾ *** *** ⁽²⁾ #2	***** ⁽¹⁾ :05284~05287 05284:A 05285:B 05286:C 05287:D ***** ⁽²⁾ : 00000:オールCH 00001:アラームCH 00002:アラームプラスCH *** ⁽³⁾ :エラー種別(別紙参照)
タイマー記録・ タイマー指定曜日、 開始曜日	↑	↑	***** ⁽¹⁾ :04400~04402 04400:設定1 04401:設定2 04402:設定3 ***** ⁽²⁾ : 00000:日 00001:月 00002:火 00003:水 00004:木 00005:金 00006:土 *** ⁽³⁾ :エラー種別(別紙参照)
タイマー記録・ タイマー指定曜日、 終了曜日	↑	↑	***** ⁽¹⁾ :04416~04418 04416:設定1 04417:設定2 04418:設定3 ***** ⁽²⁾ : 00000:日 00001:月 00002:火 00003:水 00004:木 00005:金 00006:土 *** ⁽³⁾ :エラー種別(別紙参照)
タイマー記録・ タイマー休日設定月日	↑	↑	***** ⁽¹⁾ :04432~04471 04432:月 04433:日 (1-1) (行-列) 04434:月 04435:日 (1-2) 04436:月 04437:日 (1-3) 04438:月 04439:日 (1-4) 04440:月 04441:日 (2-1) 04442:月 04443:日 (2-2) 04444:月 04445:日 (2-3) 04446:月 04447:日 (2-4) 04448:月 04449:日 (3-1) 04450:月 04451:日 (3-2) 04452:月 04453:日 (3-3) 04454:月 04455:日 (3-4) 04456:月 04457:日 (4-1) 04458:月 04459:日 (4-2) 04460:月 04461:日 (4-3) 04462:月 04463:日 (4-4) 04464:月 04465:日 (5-1) 04466:月 04467:日 (5-2) 04468:月 04469:日 (5-3) 04470:月 04471:日 (5-4) ***** ⁽²⁾ : 月:00001~00012 00255:無 日:00001~00031 00255:無 *** ⁽³⁾ :エラー種別(別紙参照)

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式 <タイマー記録設定> (つづき)

メニュー	コマンド	ステータス	備考
タイマー記録・ 運用パターン	<設定> DW,***** ⁽¹⁾ ***** ⁽²⁾ #1 <設定情報の問い合わせ> DR,***** ⁽¹⁾ #1	<メニュー情報書き込み> RC #2 EX,*** ⁽³⁾ DW,***** ⁽¹⁾ ** *** ⁽²⁾ #2 <メニュー情報読み込み> RC #2 EX,*** ⁽³⁾ DR,***** ⁽¹⁾ ** *** ⁽²⁾ #2	***** ⁽¹⁾ : 04480 : A 04482 : B 04484 : C 04486 : D ***** ⁽²⁾ : 00000 : 通常・アラーム記録 00001 : プリアラーム記録 *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
タイマー記録・ 通常記録間隔	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 04560~04595 04560 : A-CH1 04561 : A-CH2 04562 : A-CH3 04563 : A-CH4 04564 : A-CH5 04565 : A-CH6 04566 : A-CH7 04567 : A-CH8 04568 : A-CH9 04569 : B-CH1 04570 : B-CH2 04571 : B-CH3 04572 : B-CH4 04573 : B-CH5 04574 : B-CH6 04575 : B-CH7 04576 : B-CH8 04577 : B-CH9 04578 : C-CH1 04579 : C-CH2 04580 : C-CH3 04581 : C-CH4 04582 : C-CH5 04583 : C-CH6 04584 : C-CH7 04585 : C-CH8 04586 : C-CH9 04587 : D-CH1 04588 : D-CH2 04589 : D-CH3 04590 : D-CH4 04591 : D-CH5 04592 : D-CH6 04593 : D-CH7 04594 : D-CH8 04595 : D-CH9 ***** ⁽²⁾ : 65535 : ----- 00001 : 30F(0.03秒) 00002 : 15F(0.06秒) 00003 : 10F(1秒) 00004 : 7.5F(0.13秒) 00005 : 6F(0.16秒) 00006 : 5F(0.2秒) 00010 : 3F(0.33秒) 00015 : 2F(0.5秒) 00030 : 1F(1秒) 00060 : 0.5F(2秒) 00120 : 0.25F(4秒) 00240 : 0.125F(8秒) *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
タイマー記録・ 通常記録画質	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 04688~04723 04688 : A-CH1 04689 : A-CH2 04690 : A-CH3 04691 : A-CH4 04692 : A-CH5 04693 : A-CH6 04694 : A-CH7 04695 : A-CH8 04696 : A-CH9 04697 : B-CH1 04698 : B-CH2 04699 : B-CH3 04700 : B-CH4 04701 : B-CH5 04702 : B-CH6 04703 : B-CH7 04704 : B-CH8 04705 : B-CH9 04706 : C-CH1 04707 : C-CH2 04708 : C-CH3 04709 : C-CH4 04710 : C-CH5 04711 : C-CH6 04712 : C-CH7 04713 : C-CH8 04714 : C-CH9 04715 : D-CH1 04716 : D-CH2 04717 : D-CH3 04718 : D-CH4 04719 : D-CH5 04720 : D-CH6 04721 : D-CH7 04722 : D-CH8 04723 : D-CH9 ***** ⁽²⁾ : 00000 : スーパー 00001 : ハイ 00002 : スタンダード 00003 : ベーシック 00004 : ロング *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
タイマー記録・ アラーム記録間隔	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 04624~04659 04624 : A-CH1 04625 : A-CH2 04626 : A-CH3 04627 : A-CH4 04628 : A-CH5 04629 : A-CH6 04630 : A-CH7 04631 : A-CH8 04632 : A-CH9 04633 : B-CH1 04634 : B-CH2 04635 : B-CH3 04636 : B-CH4 04637 : B-CH5 04638 : B-CH6 04639 : B-CH7 04640 : B-CH8 04641 : B-CH9 04642 : C-CH1 04643 : C-CH2 04644 : C-CH3 04645 : C-CH4 04646 : C-CH5 04647 : C-CH6 04648 : C-CH7 04649 : C-CH8 04650 : C-CH9 04651 : D-CH1 04652 : D-CH2 04653 : D-CH3 04654 : D-CH4 04655 : D-CH5 04656 : D-CH6 04657 : D-CH7 04658 : D-CH8 04659 : D-CH9 ***** ⁽²⁾ : 65535 : ----- 00001 : 30F(0.03秒) 00002 : 15F(0.06秒) 00003 : 10F(1秒) 00004 : 7.5F(0.13秒) 00005 : 6F(0.16秒) 00006 : 5F(0.2秒) 00010 : 3F(0.33秒) 00015 : 2F(0.5秒) 00030 : 1F(1秒) 00060 : 0.5F(2秒) 00120 : 0.25F(4秒) 00240 : 0.125F(8秒) *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式 <タイマー記録設定> (つづき)

メニュー	コマンド	ステータス	備考
タイマー記録・ アラーム記録画質	<設定> DW,***** ⁽¹⁾ ***** ⁽²⁾ [#1] <設定情報の問い合わせ> DR,***** ⁽¹⁾ [#1]	<メニュー情報書き込み> RC[#2] EX,*** ⁽³⁾ DW,***** ⁽¹⁾ ** *** ⁽²⁾ [#2] <メニュー情報読み込み> RC[#2] EX,*** ⁽³⁾ DR,***** ⁽¹⁾ ** *** ⁽²⁾ [#2]	***** ⁽¹⁾ : 04752~04787 04752: A-CH1 04753: A-CH2 04754: A-CH3 04755: A-CH4 04756: A-CH5 04757: A-CH6 04758: A-CH7 04759: A-CH8 04760: A-CH9 04761: B-CH1 04762: B-CH2 04763: B-CH3 04764: B-CH4 04765: B-CH5 04766: B-CH6 04767: B-CH7 04768: B-CH8 04769: B-CH9 04770: C-CH1 04771: C-CH2 04772: C-CH3 04773: C-CH4 04774: C-CH5 04775: C-CH6 04776: C-CH7 04777: C-CH8 04778: C-CH9 04779: D-CH1 04780: D-CH2 04781: D-CH3 04782: D-CH4 04783: D-CH5 04784: D-CH6 04785: D-CH7 04786: D-CH8 04787: D-CH9 ***** ⁽²⁾ : 00000: スーパー 00001: ハイ 00002: スタンダード 00003: ベーシック 00004: ロング *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
タイマー記録・ アラーム記録時間	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 04102 ***** ⁽²⁾ : 00000~03600 00000: 接点 00002: 2秒 00005: 5秒 00010: 10秒 00015: 15秒 00030: 30秒 00045: 45秒 00060: 1分 00120: 2分 00300: 5分 00600: 10分 01200: 20分 01800: 30分 03600: 60分 *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
タイマー記録・ プリアラーム記録時間	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 04103 ***** ⁽²⁾ : 00001~00003 00001: 短 00002: 中 00003: 長 *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式 <基本設定・情報表示>

メニュー	コマンド	ステータス	備考
HDDリピート記録	<設定> DW,***** ⁽¹⁾ ***** ⁽²⁾ # <設定情報の問い合わせ> DR,***** ⁽¹⁾ #	<メニュー情報書き込み> RC # EX, ** ⁽³⁾ DW,***** ⁽¹⁾ ** ** ⁽²⁾ # <メニュー情報読み込み> RC # EX, ** ⁽³⁾ DR,***** ⁽¹⁾ ** ** ⁽²⁾ #	***** ⁽¹⁾ : 04832 ***** ⁽²⁾ : 00000: 切 00001: 入 00002: 記録待機 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
HDDリピート再生	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 04834 ***** ⁽²⁾ : 00000: 切 00001: 入 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
改変確認再生	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 04821 ***** ⁽²⁾ : 00000: 切 00001: 入 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
カメラ切替再生	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 04822 ***** ⁽²⁾ : 00000: 切 00001: 入 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
音声記録	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 04817 ***** ⁽²⁾ : 00000: 切 00001: 入 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
MODE OUT	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 04848~04851 04848: MODE OUT1 04849: MODE OUT2 04850: MODE OUT3 04851: MODE OUT4 ***** ⁽²⁾ : 00000: 切 00001: 記録中 00002: 再生中 00003: 残量 00004: パワーオン 00006: 動き検知 00009: アラーム記録 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
ボタン音	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 04853 ***** ⁽²⁾ : 00000: 切 00001: 入 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
ブザー	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 04855 ***** ⁽²⁾ : 00000: 切 00001: 残量 00002: 警告 00003: アラーム ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
残量検出デバイス	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 04864 ***** ⁽²⁾ : 00000: 切 00001: HDD ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
残量検出位置	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 04865 ***** ⁽²⁾ : 00002: 2% 00004: 4% 00006: 6% 00008: 8% 00010: 10% 00015: 15% 00020: 20% 00030: 30% 00040: 40% 00050: 50% ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
HDD残量発報	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 04880 ***** ⁽²⁾ : 00002: 2% 00004: 4% 00006: 6% 00008: 8% 00010: 10% 00015: 15% 00020: 20% 00030: 30% 00040: 40% 00050: 50% 00255: 切 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
エマーゼンシー 記録時間	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 04823 ***** ⁽²⁾ : 00060: 1分 00120: 2分 00300: 5分 00600: 10分 01200: 20分 01800: 30分 03600: 60分 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
HDDフル	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 05360 ***** ⁽²⁾ : 00000: 切 00001: 入 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式 <基本設定・情報表示> (つづき)

メニュー	コマンド	ステータス	備考
RS-232C運用	<設定> DW,***** ⁽¹⁾ ***** ⁽²⁾ [#1] <設定情報の問い合わせ> DR,***** ⁽¹⁾ [#1]	<メニュー情報書き込み> RC[#2] EX,*** ⁽³⁾ DW,***** ⁽¹⁾ ** *** ⁽²⁾ [#2] <メニュー情報読み込み> RC[#2] EX,*** ⁽³⁾ DR,***** ⁽¹⁾ ** *** ⁽²⁾ [#2]	***** ⁽¹⁾ :04896 ***** ⁽²⁾ : 0000:切 00001:リモート操作1 00002:リモート操作2 *** ⁽³⁾ :エラー種別(別紙参照)
RS-232C転送速度	↑	↑	***** ⁽¹⁾ :04912 ***** ⁽²⁾ : 01200:1200 02400:2400 04800:4800 09600:9600 19200:19200 *** ⁽³⁾ :エラー種別(別紙参照)
RS-232Cデータビット	↑	↑	***** ⁽¹⁾ :04913 ***** ⁽²⁾ : 00007:7ビット 00008:8ビット *** ⁽³⁾ :エラー種別(別紙参照)
RS-232Cパリティ	↑	↑	***** ⁽¹⁾ :04914 ***** ⁽²⁾ : 00000:無 00001:奇数 00002:偶数 *** ⁽³⁾ :エラー種別(別紙参照)
RS-232C ストップビット	↑	↑	***** ⁽¹⁾ :04915 ***** ⁽²⁾ : 00001:1ビット 00002:2ビット *** ⁽³⁾ :エラー種別(別紙参照)
RS-232C CR/CR・LF	↑	↑	***** ⁽¹⁾ :04916 ***** ⁽²⁾ : 00000:CR 00001:CR・LF *** ⁽³⁾ :エラー種別(別紙参照)

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式 <サーチ設定>

検索実行は、「直接動作指定」動作指定系コマンド形式の再生コマンドを参照。

メニュー	コマンド	ステータス	備考
タイムデートサーチ	<設定> DW,***** ⁽¹⁾ ***** ⁽²⁾ [#1] <設定情報の問い合わせ> DR,***** ⁽¹⁾ [#1]	<メニュー情報書き込み> RC[#2] EX,*** ⁽³⁾ DW,***** ⁽¹⁾ *** *** ⁽²⁾ [#2] <メニュー情報読み込み> RC[#2] EX,*** ⁽³⁾ DR,***** ⁽¹⁾ *** *** ⁽²⁾ [#2]	***** ⁽¹⁾ ; 05044 : 検索時間 (年) 05045 : 検索時間 (月) 05046 : 検索時間 (日) 05047 : 検索時間 (時) 05048 : 検索時間 (分) 05049 : 検索時間 (秒) ***** ⁽²⁾ ; 年 : 00001~00099 月 : 00001~00012 日 : 00001~00031 時 : 00000~00023 分 : 00000~00059 秒 : 00000~00059 *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
記録インデックスサーチ・インデックス数	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 05072 ***** ⁽²⁾ ; 00001~00099 *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
アラームインデックスサーチ・インデックス数	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 05088 ***** ⁽²⁾ ; 00000~00099 *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
アラームリスト検索・リスト検索時間設定	↑	↑	***** ⁽¹⁾ ; 05060 : リスト時間マスク (年) 05061 : リスト時間マスク (月) 05062 : リスト時間マスク (日) 05063 : リスト時間マスク (時) 05064 : リスト時間マスク (分) 05065 : リスト時間マスク (秒) ***** ⁽²⁾ ; 年 : 00001~00099 月 : 00001~00012 日 : 00001~00031 時 : 00000~00023 分 : 00000~00059 秒 : 00000~00059 マスク無 : 00238 *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
サーチ方式	<設定情報の問い合わせ> DR,***** ⁽¹⁾ [#1]	<メニュー情報読み込み> RC[#2] EX,*** ⁽³⁾ DR,***** ⁽¹⁾ *** *** ⁽²⁾ [#2]	***** ⁽¹⁾ : 05057 ***** ⁽²⁾ ; 00000 : タイムデート 00001 : 記録インデックス 00002 : アラームインデックス 00003 : スキップ 00004 : アラームリスト *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
再生デバイス選択	<設定> DW,***** ⁽¹⁾ ***** ⁽²⁾ [#1] <設定情報の問い合わせ> DR,***** ⁽¹⁾ [#1]	<メニュー情報書き込み> RC[#2] EX,*** ⁽³⁾ DW,***** ⁽¹⁾ *** *** ⁽²⁾ [#2] <メニュー情報読み込み> RC[#2] EX,*** ⁽³⁾ DR,***** ⁽¹⁾ *** *** ⁽²⁾ [#2]	***** ⁽¹⁾ : 05056 ***** ⁽²⁾ ; 00001 : HDD 00003 : CFC *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
検索カメラ選択	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 05058 ***** ⁽²⁾ ; 00000 : CH1 00001 : CH2 00002 : CH3 00003 : CH4 00004 : CH5 00005 : CH6 00006 : CH7 00007 : CH8 00008 : CH9 00032 : 全て *** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式 <コピー設定>

メニュー	コマンド	ステータス	備考
コピー転送モード	<設定情報の問い合わせ> DR,***** ⁽¹⁾ [#1]	<メニュー情報読み込み> RC [#2] EX, ** ⁽³⁾ DR,***** ⁽¹⁾ ** ***(2) [#2]	***** ⁽¹⁾ : 05120 ***** ⁽²⁾ : 00000: HDD→CFC 00001: CFC→HDD ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
コピーモード	<設定> DW,***** ⁽¹⁾ ***** ⁽²⁾ [#1] <設定情報の問い合わせ> DR,***** ⁽¹⁾ [#1]	<メニュー情報書き込み> RC [#2] EX, ** ⁽³⁾ DW,***** ⁽¹⁾ ** ***(2) [#2] <メニュー情報読み込み> RC [#2] EX, ** ⁽³⁾ DR,***** ⁽¹⁾ ** ***(2) [#2]	***** ⁽¹⁾ : 05121 ***** ⁽²⁾ : 00000: 上書き 00001: 追記 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
コピー	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 05136: コピー開始時間 (年) 05137: コピー開始時間 (月) 05138: コピー開始時間 (日) 05139: コピー開始時間 (時) 05140: コピー開始時間 (分) 05141: コピー開始時間 (秒) 05142: コピー終了時間 (年) 05143: コピー終了時間 (月) 05144: コピー終了時間 (日) 05145: コピー終了時間 (時) 05146: コピー終了時間 (分) 05147: コピー終了時間 (秒) ***** ⁽²⁾ : 年: 00001~00099 月: 00001~00012 日: 00001~00031 時: 00000~00023 分: 00000~00059 秒: 00000~00059 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
コピー範囲指定	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 05126 ***** ⁽²⁾ : 00000: 開始・終了 00001: 開始 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
リストアモード	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 05152 ***** ⁽²⁾ : 00000: 上書き 00001: 追記 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
リストア	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 05168: リストア開始時間 (年) 05169: リストア開始時間 (月) 05170: リストア開始時間 (日) 05171: リストア開始時間 (時) 05172: リストア開始時間 (分) 05173: リストア開始時間 (秒) 05174: リストア終了時間 (年) 05175: リストア終了時間 (月) 05176: リストア終了時間 (日) 05177: リストア終了時間 (時) 05178: リストア終了時間 (分) 05179: リストア終了時間 (秒) ***** ⁽²⁾ : 年: 00001~00099 月: 00001~00012 日: 00001~00031 時: 00000~00023 分: 00000~00059 秒: 00000~00059 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)
リストア範囲指定	↑	↑	***** ⁽¹⁾ : 05157 ***** ⁽²⁾ : 00000: 開始・終了 00001: 開始 ** ⁽³⁾ : エラー種別(別紙参照)

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式 <その他の設定>

メニュー	コマンド	ステータス	備考
状態情報読み込み	MD?#1	RC #2 EX, ** (26) MD, * (1) * (2) * (3) * (4) * (5) * (6) * (7) * (8) * (9) * (10) * (11) * (12) * (13) * (14) * (15) * (16) * (17) * (18) * (19) * (20) * (21) * (22) * (23) * (24) * (25) #2 (各ステータスは、状態遷移通知系の各動作モードの低位2桁に対応します。)	* (1) : システム状態 * (2) : キーロック状態 * (3) : リモートローカル状態 * (4) : タイマー状態 * (5) : アラームホールド状態 * (6) : メニュー状態 * (7) : 記録状態 * (8) : 再生状態 * (9) : 表示状態 * (10) : 動き検知記録状態 * (11) : バックアップ状態 * (12) : コピー状態 * (13) : リストア状態 * (14) : デバイス制御状態 * (15) : 情報取得状態 * (16) : デバイス消去状態 * (17) : データリセット状態 * (18)~* (25) : Reserved * (26) : エラー種別(別紙参照)
状態情報読み込み	ME?#1	RC #2 EX, ** (26) ME, * (1) * (2) * (3) * (4) * (5) * (6) * (7) * (8) * (9) * (10) * (11) * (12) * (13) * (14) * (15) * (16) * (17) * (18) * (19) * (20) * (21) * (22) * (23) * (24) * (25) #2 (各ステータスは、状態遷移通知系の各動作モードの低位2桁に対応します。)	* (1) : システム状態 * (2) : キーロック状態 * (3) : リモートローカル状態 * (4) : タイマー状態 * (5) : アラームホールド状態 * (6) : メニュー状態 * (7) : 記録状態 * (8) : 再生状態 * (9) : 表示状態 * (10) : 動き検知記録状態 * (11) : バックアップ状態 * (12) : コピー状態 * (13) : リストア状態 * (14) : デバイス制御状態 * (15) : 情報取得状態 * (16) : デバイス消去状態 * (17) : データリセット状態 * (18)~* (25) : Reserved * (26) : エラー種別(別紙参照) (状態遷移中等、レコーダーからの応答に時間がかかる場合、本コマンド送信により、受信バッファ内にあるコマンドをクリアし状態を読み込むコマンドです。)
積算時間読み込み	UTO?#1	RC #2 EX, ** (2) UTO?, * * * * * #1	* (1) : 積算時間 0000000000~9999999999(時間) * (2) : エラー種別(別紙参照)
コメントデータ情報書き込み	COMD, * (1) * (2) * * * * * * * * * * #1	RC #2 EX, ** (4) COMD, * (1) * (2) * * * * * * * * * * #2	* (1) : カメラ番号 00 : CH1 01 : CH2 02 : CH3 03 : CH4 04 : CH5 05 : CH6 06 : CH7 07 : CH8 08 : CH9 * (2) : 01~32 文字サイズ * * * * * #3 : コメント * (4) : エラー種別(別紙参照)
コメント書き込み	COMS, * (1) #1	RC #2 EX, ** (2) COMS, * (1) #2	* (1) : カメラ番号 00 : CH1 01 : CH2 02 : CH3 03 : CH4 04 : CH5 05 : CH6 06 : CH7 07 : CH8 08 : CH9 * (2) : エラー種別(別紙参照)
コメント表示消去コマンド	DC #1	RC #2 EX, 00DC #2	

・RS-232C 「疑似操作パネル」コマンド形式

操作ボタン	コマンド	ステータス	備考
電源	KKP0 #1	RC #2 EX.** #2(2)KKP0 #2	電源 入/切 ** #2(2) : エラー種別 (別紙参照)
記録/停止	KKR0 #1 KKR1 #1	RC #2 EX.** #2(2)KKR0 #2 RC #2 EX.** #2(2)KKR1 #2	記録 記録停止 ** #2(2) : エラー種別 (別紙参照)
再生停止	KKB0 #1	RC #2 EX.** #2(2)KKB0 #2	再生停止 ** #2(2) : エラー種別 (別紙参照)
再生	KKB1 #1	RC #2 EX.** #2(2)KKB1 #2	順再生 ** #2(2) : エラー種別 (別紙参照)
逆再生	KKB2 #1	RC #2 EX.** #2(2)KKB2 #2	逆再生 ** #2(2) : エラー種別 (別紙参照)
一時停止	KKB4 #1	RC #2 EX.** #2(2)KKB4 #2	再生一時停止 ** #2(2) : エラー種別 (別紙参照)
タイマー	KKTO #1 KKTI #1	RC #2 EX.** #2(2)KKTO #2 RC #2 EX.** #2(2)KKTI #2	タイマー 入 タイマー 切 ** #2(2) : エラー種別 (別紙参照)
拡大	KKZ #1	RC #2 EX.** #2(2)KKZ #2	拡大 ** #2(2) : エラー種別 (別紙参照)
分割/シーケンス	KKE #1	RC #2 EX.** #2(2)KKE #2	分割/シーケンス ** #2(2) : エラー種別 (別紙参照)
チャンネル (CH1~CH9)	KKD01 #1 KKD02 #1 KKD03 #1 KKD04 #1 KKD05 #1 KKD06 #1 KKD07 #1 KKD08 #1 KKD09 #1	RC #2 EX.** #2(2)KKD01 #2 RC #2 EX.** #2(2)KKD02 #2 RC #2 EX.** #2(2)KKD03 #2 RC #2 EX.** #2(2)KKD04 #2 RC #2 EX.** #2(2)KKD05 #2 RC #2 EX.** #2(2)KKD06 #2 RC #2 EX.** #2(2)KKD07 #2 RC #2 EX.** #2(2)KKD08 #2 RC #2 EX.** #2(2)KKD09 #2	CH1 CH2 CH3 CH4 CH5 CH6 CH7 CH8 CH9 ** #2(2) : エラー種別 (別紙参照)
ロック	KKL0 #1 KKL5 #1	RC #2 EX.** #2(2)KKL0 #2 RC #2 EX.** #2(2)KKL5 #2	簡易ロック パスワードロック ** #2(2) : エラー種別 (別紙参照)
設定	KKM #1	RC #2 EX.** #2(2)KKM #2	設定 ** #2(2) : エラー種別 (別紙参照)
コピー	KKC #1	RC #2 EX.** #2(2)KKC #2	コピー ** #2(2) : エラー種別 (別紙参照)
サーチ	KKK0 #1	RC #2 EX.** #2(2)KKK0 #2	サーチ ** #2(2) : エラー種別 (別紙参照)
警告消去	KKWO #1 KKW5 #1	RC #2 EX.** #2(2)KKWO #2 RC #2 EX.** #2(2)KKW5 #2	警告消去 警告消去ボタン5秒押し ** #2(2) : エラー種別 (別紙参照)
アラームホールド	KKA #1	RC #2 EX.** #2(2)KKA #2	アラームホールド ** #2(2) : エラー種別 (別紙参照)
ジョグ	KKJ0 #1 KKJ1 #1	RC #2 EX.** #2(2)KKJ0 #2 RC #2 EX.** #2(2)KKJ1 #2	ジョグ右回し ジョグ左回し ** #2(2) : エラー種別 (別紙参照)
シャトル	KKS00 #1 KKS01 #1 KKS02 #1 KKS03 #1 KKS04 #1 KKS11 #1 KKS12 #1 KKS13 #1 KKS14 #1	RC #2 EX.** #2(2)KKS00 #2 RC #2 EX.** #2(2)KKS01 #2 RC #2 EX.** #2(2)KKS02 #2 RC #2 EX.** #2(2)KKS03 #2 RC #2 EX.** #2(2)KKS04 #2 RC #2 EX.** #2(2)KKS11 #2 RC #2 EX.** #2(2)KKS12 #2 RC #2 EX.** #2(2)KKS13 #2 RC #2 EX.** #2(2)KKS14 #2	シャトル中央 シャトル右1 シャトル右2 シャトル右3 シャトル右4 シャトル左1 シャトル左2 シャトル左3 シャトル左4 ** #2(2) : エラー種別 (別紙参照) ※本コマンド送信前に必ずシャトル中央を送信すること。

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C 状態遷移通知系

モード	ステータス	備 考
システムモード	EX,AA,**** ⁽¹⁾ #2	**** ⁽¹⁾ :システムモード 0100:電源 切 0103:電源 入 0106:設定メニュー 0107:コピーメニュー 0108:サーチメニュー 0109:デバイス異常 010A:デバイス初期化 010B:デバイス再構築 010F:システム異常
タイマーモード	↑	**** ⁽¹⁾ :タイマーモード 0500:タイマー 切 0501:タイマー 入 0502:タイマーエラー
アラーム禁止モード	↑	**** ⁽¹⁾ :アラーム禁止モード 0600:アラーム禁止 切 0601:アラーム禁止 入
記録モード	↑	**** ⁽¹⁾ :記録モード 0800:停止 0803:停止 (一時停止) 0804:記録 0805:プリアラーム記録 0806:一時停止からのアラーム記録 0807:記録からのアラーム記録 0808:プリアラーム記録からのアラーム記録 080A:記録エラー
再生モード	↑	**** ⁽¹⁾ :記録モード 0900:再生停止 0903:順再生(単画) 0904:逆再生(単画) 0905:順再生一時停止(単画) 0906:逆再生一時停止(単画) 0907:早送り(単画) 0908:早戻し(単画) 0909:高速早送り(単画) 090A:高速早戻し(単画) 090B:順再生(分割) 090C:逆再生(分割) 090D:順再生一時停止(分割) 090E:逆再生一時停止(分割) 090F:早送り(分割) 0910:早戻し(分割) 0911:高速早送り(分割) 0912:高速早戻し(分割) 0913:順再生(拡大) 0914:逆再生(拡大) 0915:順再生一時停止(拡大) 0916:逆再生一時停止(拡大) 0917:早送り(拡大) 0918:早戻し(拡大) 0919:高速早送り(拡大) 091A:高速早戻し(拡大) 091C:再生エラー
表示モード	↑	**** ⁽¹⁾ :表示モード 0A07:表示エラー
動き検知モード	↑	**** ⁽¹⁾ :動き検知モード 0B05:動き検知記録エラー
コピーモード	↑	**** ⁽¹⁾ :コピーモード 0D00:停止 0D02:実行 0D04:コピーエラー
リストアモード	↑	**** ⁽¹⁾ :リストアモード 0E00:停止 0E02:実行 0E04:リストアエラー
情報取得モード	↑	**** ⁽¹⁾ :情報取得モード 1000:終了 1002:情報取得エラー
データ消去モード	↑	**** ⁽¹⁾ :データ消去モード 2000:終了 2002:データ消去エラー
映像信号無し状態通知	EX,AB11,***** ***** * ⁽¹⁾ #2	***** ⁽¹⁾ :映像信号無し状態通知 始めから9番目までの*がカメラ番号に対応しています。(それ以外は無効です。)実際に記録を行っているカメラ番号に対してのみ、映像信号無し状態(3:有 2:有判定中 1:無判定中 0:無)を状態が変化したタイミングで出力します。但し、記録を行っていないカメラ番号の情報は無効です。
エラー・警告通知	EX,AB,**** ⁽¹⁾ #2	* ⁽¹⁾ : 12:記録R/Wエラー 13:記録システムエラー 32:コピーR/Wエラー 33:コピーシステムエラー 34:コピーオーバーライトエラー 35:コピーアーリーワーニングエラー 36:コピーオーバーライトワーニング 42:リストアR/Wエラー 43:リストアシステムエラー
データ改変エラー通知	EX,AB51,**** ⁽¹⁾ #2	* ⁽¹⁾ :カメラ番号
アラーム番号更新通知	EX,AC11,***** ⁽¹⁾ #2	***** ⁽¹⁾ :アラーム番号更新 (アラーム番号が更新したタイミングで出力する)
ポジション通知	EX,AC,**** ⁽¹⁾ ,*** ⁽²⁾ #2	* ⁽¹⁾ :ポジション 12:メインデバイスの記録ポジション 32:コピーデバイスのコピーポジション 42:リストアデバイスのリストアポジション *** ⁽²⁾ :000~100(%)

◆文字コード一覧

・カメラタイトル・メモ設定に使用できるキャラクターです。

文字	・	(スペース)	!	"	#	\$	%	&	'	(
文字コード	00012	00032	00033	00034	00035	00036	00037	00038	00039	00040

文字)	*	+	,	-	.	/			
文字コード	00041	00042	00043	00044	00045	00046	00047			

文字	:	;	<	=	>	?	@	°	°	
文字コード	00058	00059	00060	00061	00062	00063	00064	00473	00474	

文字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
文字コード	00048	00049	00050	00051	00052	00053	00054	00055	00056	00057

文字	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
文字コード	00065	00066	00067	00068	00069	00070	00071	00072	00073	00074	00075	00076	00077

文字	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
文字コード	00078	00079	00080	00081	00082	00083	00084	00085	00086	00087	00088	00089	00090

文字	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m
文字コード	00097	00098	00099	00100	00101	00102	00103	00104	00105	00106	00107	00108	00109

文字	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z
文字コード	00110	00111	00112	00113	00114	00115	00116	00117	00118	00119	00120	00121	00122

文字	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
文字コード	00128	00129	00130	00131	00132	00133	00134	00135	00136	00137

文字	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
文字コード	00138	00139	00140	00141	00142	00143	00144	00145	00146	00147

文字	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
文字コード	00148	00149	00150	00151	00152	00153	00154	00155	00156	00157

文字	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ
文字コード	00158	00159	00160	00161	00162	00163	00164	00165	00166	00167

文字	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン	ァ	ィ	ゥ	ェ
文字コード	00168	00169	00170	00171	00172	00173	00199	00200	00201	00202

文字	ォ	ャ	ュ	ョ	ツ					
文字コード	00203	00204	00205	00206	00207					

文字	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	か	き	く	け	こ
文字コード	00208	00209	00210	00211	00212	00213	00214	00215	00216	00217

文字	さ	し	す	せ	そ	た	ち	つ	て	と
文字コード	00218	00219	00220	00221	00222	00223	00224	00225	00226	00227

文字	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ
文字コード	00228	00229	00230	00231	00232	00233	00234	00235	00236	00237

文字	ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り
文字コード	00238	00239	00240	00241	00242	00243	00244	00245	00246	00247

文字	る	れ	ろ	わ	を	ん	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ
文字コード	00248	00249	00250	00251	00252	00253	00279	00280	00281	00282

文字	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	つ					
文字コード	00283	00284	00285	00286	00287					

◆ 実施例

1) キャラクター「ABCDEF」を、コメントとして映像と共に記録する。(＜RS-232C設定＞画面の「CR/CR・LF」を「CR」にしたとき)
 パーソナルコンピュータ上で行います。

- 1 記録するキャラクター(文字列)をセットする。
- 2 セットしたキャラクターを記録する。

一度セットしたキャラクターは、COMSコマンドにより何度でも記録することが可能です。別のキャラクターを記録するためには、再度COMDコマンドにより、キャラクターをセットし直します。

➡ **キャラクターは、最大32文字まで入力できます。**

2) 記録したコメントを表示する。

1 <設定> → <時刻・画面表示設定>画面の「カメラ表示設定」を選択し、「コメント」を表示させて、確定する。

➡ **画面に表示される文字数は、1画表示：32文字すべて、4分割表示：最初から10文字まで、9分割表示：最初から6文字までを表示します。**

3) キャラクター「ABCDEF」が記録されているところを頭出しする。(＜RS-232C設定＞画面の「CR/CR・LF」を「CR」にしたとき)
 パーソナルコンピュータ上で行います。
 コメントサーチ後は、検知すると静止画再生になります。

❗ **コメントサーチは、停止中、静止画再生中、再生中、記録中も実行可能です。**

❗ **同じキャラクターが複数あり、希望の画面が表示されなかったときは、再び同じ操作を行ってください。**

❗ **コメントサーチは、すべてのデータを検索するため、かなり時間がかかることがあります。**

➡ **入力したキャラクターを検知できないときは、自動的に停止します。**

記録時間表

■ 連続記録可能時間表

◆ HDDの連続記録可能時間(160GBの場合)

およその記録時間(内蔵の160GBハードディスクに記録する場合)を表示しています。

❗ この記録時間表は、1カメラのみで運用し、記録間隔を同じ間隔に設定した場合の値です。ご注意ください。

音声記録「切」の場合

画質 \ 間隔	0.03秒	0.07秒	0.1秒	0.13秒	0.17秒	0.2秒	0.33秒	0.5秒	1秒	2秒	4秒	8秒	記録枚数
スーパー	1日8時間	2日16時間	4日1時間	5日9時間	6日18時間	8日2時間	13日12時間	20日7時間	40日14時間	81日4時間	162日9時間	324日19時間	350万枚
ハイ	2日	4日	6日	8日	10日	12日	20日	30日	60日	120日	240日1時間	480日3時間	518万枚
スタンダード	3日4時間	6日8時間	9日12時間	12日17時間	15日21時間	19日1時間	31日18時間	47日15時間	95日7時間	190日15時間	381日6時間	762日13時間	823万枚
ベーシック	4日16時間	9日9時間	14日2時間	18日19時間	23日12時間	28日5時間	47日1時間	70日14時間	141日5時間	282日10時間	564日20時間	1129日17時間	1220万枚
ロング	9日9時間	18日19時間	28日5時間	37日15時間	47日1時間	56日11時間	94日3時間	141日5時間	282日10時間	564日20時間	1129日17時間	2259日10時間	2440万枚

音声記録「入」の場合 <PCM方式12.8KHzサンプリングで音声記録が可能です。>

画質 \ 間隔	0.03秒	0.07秒	0.1秒	0.13秒	0.17秒	0.2秒	0.33秒	0.5秒	1秒	2秒	4秒	8秒
スーパー	1日7時間	2日14時間	3日21時間	5日4時間	6日4時間	7日9時間	11日18時間	16日18時間	29日9時間	48日10時間	162日9時間	324日19時間
ハイ	2日	3日21時間	5日19時間	7日12時間	9日2時間	10日22時間	17日1時間	23日19時間	38日20時間	58日19時間	240日1時間	480日3時間
スタンダード	3日1時間	6日	8日15時間	11日7時間	13日19時間	16日5時間	24日2時間	32日15時間	49日10時間	69日4時間	381日6時間	762日13時間
ベーシック	4日12時間	8日16時間	12日12時間	16日	19日10時間	22日14時間	32日22時間	43日5時間	61日18時間	77日16時間	564日20時間	1129日17時間
ロング	7日12時間	15日1時間	22日14時間	28日	32日22時間	37日10時間	50日14時間	61日18時間	77日16時間	88日6時間	1129日17時間	2259日10時間

❗ 上記記載の連続記録可能時間とメニュー画面に表示される見積り時間は、機能動作上の連続記録可能時間であり、製品保証期間ではありません。また、使用部品の動作信頼性を保証する期間でもありません。

- ❗ 「音声記録設定」を「入」に設定しても下記の設定条件では音声記録できません。ご注意ください。
- ・通常記録を設定するとき、「記録運用設定」の「通常間隔」がすべて「3秒」より長く設定されていると音声記録できません。このとき、<見積り時間>の右どなりに()Xが表示されます。
 - ・アラーム記録時のカメラ選択項目が下記の場合。
 「オールCH」、「アラームCH」：アラーム記録時に運用設定したすべてのカメラの「ALM間隔」が「3秒」より長く設定されているとき。
 「アラームプラスCH」：通常記録、アラーム記録に運用設定したすべてのカメラの「通常間隔」、「ALM間隔」が「3秒」より長く設定されているとき。

❗ ：音声記録「入」の記録時間中、記録間隔4秒、8秒は音声記録できないため、記録時間は音声記録「切」と同一になります。

◆ コンパクトフラッシュカードの連続記録可能時間(64MBの場合)

およその記録時間(コンパクトフラッシュカード 64MBに記録する場合)を表示しています。

音声記録「切」の場合

画質 \ 間隔	0.03	0.07	0.1	0.13	0.17	0.2	0.33	0.5	1	2	4	8	記録枚数
スーパー	40秒	1分30秒	2分20秒	3分	3分50秒	4分40秒	7分50秒	11分	23分	47分	1時間30分	3時間	1416枚
ハイ	1分	2分10秒	3分20秒	4分30秒	5分40秒	6分50秒	11分	17分	34分	1時間	2時間10分	4時間30分	2065枚
スタンダード	1分40秒	3分30秒	5分20秒	7分10秒	9分	10分	18分	27分	54分	1時間40分	3時間30分	7時間10分	3245枚
ベーシック	2分30秒	5分10秒	7分50秒	10分	13分	15分	26分	39分	1時間10分	2時間30分	5時間10分	10時間30分	4779枚
ロング	5分10秒	10分	15分	21分	26分	31分	52分	1時間10分	2時間30分	5時間10分	10時間30分	21時間	9499枚

音声記録「入」の場合 <PCM方式12.8KHzサンプリングで音声記録が可能です。>

画質 \ 間隔	0.03	0.07	0.1	0.13	0.17	0.2	0.33	0.5	1	2	4	8
スーパー	40秒	1分30秒	2分10秒	3分	3分30秒	4分10秒	6分50秒	9分50秒	16分	27分	1時間30分	3時間
ハイ	1分	2分10秒	3分20秒	4分10秒	5分10秒	6分10秒	9分40秒	13分	22分	33分	2時間10分	4時間30分
スタンダード	1分40秒	3分20秒	4分50秒	6分20秒	7分50秒	9分10秒	13分	18分	28分	39分	3時間30分	7時間10分
ベーシック	2分30秒	4分50秒	7分	9分	10分	12分	18分	24分	35分	45分	5時間10分	10時間30分
ロング	4分10秒	8分20秒	12分	15分	18分	21分	28分	34分	44分	51分	10時間30分	21時間

❗ ：音声記録「入」の記録時間中、記録間隔4秒、8秒は音声記録できないため、記録時間は音声記録「切」と同一になります。

■ プリアラーム記録時間表

❗ この記録時間表は、1カメラのみで運用し、記録間隔を同じ間隔に設定した場合の値です。ご注意ください。

音声記録「切」・記録時間「長」の場合

画質 \ 間隔	0.03	0.07	0.1	0.13	0.17	0.2	0.33	0.5	1	2	4	8	記録枚数
スーパー	2.3秒	4.7秒	7.2秒	9.5秒	11秒	14秒	23秒	36秒	1分10秒	2分20秒	4分40秒	9分30秒	72枚
ハイ	3.4秒	6.9秒	10秒	13秒	17秒	21秒	34秒	52秒	1分40秒	3分30秒	7分	14分	105枚
スタンダード	5.4秒	10秒	16秒	21秒	27秒	33秒	54秒	1分20秒	2分40秒	5分30秒	11分	22分	165枚
ベーシック	8秒	16秒	24秒	32秒	40秒	48秒	1分20秒	2分	4分	8分	16分	32分	243枚
ロング	16秒	32秒	48秒	1分	1分20秒	1分30秒	2分40秒	4分	8分	16分	32分	1時間	483枚

音声記録「切」・記録時間「中」の場合

画質 \ 間隔	0.03	0.07	0.1	0.13	0.17	0.2	0.33	0.5	1	2	4	8	記録枚数
スーパー	1.5秒	3.1秒	4.8秒	6.3秒	7.9秒	9.6秒	15秒	24秒	48秒	1分30秒	3分10秒	6分20秒	48枚
ハイ	2.3秒	4.6秒	7秒	9.3秒	11秒	14秒	23秒	35秒	1分10秒	2分20秒	4分40秒	9分20秒	70枚
スタンダード	3.6秒	7.3秒	11秒	14秒	18秒	22秒	36秒	55秒	1分50秒	3分40秒	7分20秒	14分	110枚
ベーシック	5.3秒	10秒	16秒	21秒	26秒	32秒	53秒	1分20秒	2分40秒	5分20秒	10分	21分	162枚
ロング	10秒	21秒	32秒	42秒	53秒	1分	1分40秒	2分40秒	5分20秒	10分	21分	42分	322枚

音声記録「切」・記録時間「短」の場合

画質 \ 間隔	0.03	0.07	0.1	0.13	0.17	0.2	0.33	0.5	1	2	4	8	記録枚数
スーパー	0.7秒	1.5秒	2.4秒	3.1秒	3.9秒	4.8秒	7.9秒	12秒	24秒	48秒	1分30秒	3分10秒	24枚
ハイ	1.1秒	2.3秒	3.5秒	4.6秒	5.8秒	7秒	11秒	17秒	35秒	1分10秒	2分20秒	4分40秒	35枚
スタンダード	1.8秒	3.6秒	5.5秒	7.3秒	9.1秒	11秒	18秒	27秒	55秒	1分50秒	3分40秒	7分20秒	55枚
ベーシック	2.6秒	5.3秒	8.1秒	10秒	13秒	16秒	26秒	40秒	1分20秒	2分40秒	5分20秒	10分	81枚
ロング	5.3秒	10秒	16秒	21秒	26秒	32秒	53秒	1分20秒	2分40秒	5分20秒	10分	21分	161枚

音声記録「入」・記録時間「長」の場合

画質 \ 間隔	0.03	0.07	0.1	0.13	0.17	0.2	0.33	0.5	1	2	4	8
スーパー	2.2秒	4.5秒	6.9秒	9.1秒	10秒	13秒	20秒	30秒	51秒	1分20秒	4分40秒	9分30秒
ハイ	3.4秒	6.7秒	10秒	13秒	15秒	19秒	29秒	42秒	1分	1分40秒	7分	14分
スタンダード	5.2秒	10秒	15秒	19秒	23秒	28秒	41秒	57秒	1分20秒	2分	11分	22分
ベーシック	7.7秒	14秒	21秒	27秒	33秒	39秒	56秒	1分10秒	1分40秒	2分10秒	16分	32分
ロング	12秒	25秒	38秒	47秒	58秒	1分	1分20秒	1分40秒	2分10秒	2分30秒	32分	1時間

音声記録「入」・記録時間「中」の場合

画質 \ 間隔	0.03	0.07	0.1	0.13	0.17	0.2	0.33	0.5	1	2	4	8
スーパー	1.5秒	3秒	4.6秒	6.1秒	7.3秒	8.8秒	13秒	20秒	34秒	56秒	3分10秒	6分20秒
ハイ	2.3秒	4.5秒	6.8秒	8.7秒	10秒	12秒	19秒	28秒	46秒	1分	4分40秒	9分20秒
スタンダード	3.5秒	6.9秒	10秒	13秒	15秒	18秒	27秒	38秒	58秒	1分20秒	7分20秒	14分
ベーシック	5.1秒	9.9秒	14秒	18秒	22秒	26秒	37秒	50秒	1分10秒	1分30秒	10分	21分
ロング	8.5秒	17秒	25秒	31秒	37秒	42秒	57秒	1分10秒	1分30秒	1分40秒	21分	42分

音声記録「入」・記録時間「短」の場合

画質 \ 間隔	0.03	0.07	0.1	0.13	0.17	0.2	0.33	0.5	1	2	4	8
スーパー	0.7秒	1.5秒	2.3秒	3秒	3.6秒	4.4秒	6.9秒	10秒	17秒	28秒	1分30秒	3分10秒
ハイ	1.1秒	2.2秒	3.4秒	4.3秒	5.3秒	6.4秒	9.9秒	14秒	23秒	34秒	2分20秒	4分40秒
スタンダード	1.7秒	3.4秒	5秒	6.5秒	7.9秒	9.4秒	13秒	19秒	29秒	40秒	3分40秒	7分20秒
ベーシック	2.5秒	4.9秒	7.2秒	9.1秒	11秒	13秒	18秒	25秒	36秒	46秒	5分20秒	10分
ロング	4.2秒	8.5秒	12秒	15秒	18秒	21秒	28秒	35秒	45秒	52秒	10分	21分

❗ : 音声記録「入」の記録時間中、記録間隔4秒、8秒は音声記録できないため、記録時間は音声記録「切」と同一になります。

「故障かな」と思う前に

下記の内容をお調べになったあと、それでも不都合がある場合は、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてからお買上げの販売店にご連絡ください。

	Q こんな症状が出たら	A ここをお調べください	P 参照ページ
設置	本機の電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグがコンセントからはずれていませんか？ ● ロックインジケータが点灯していませんか？ ● タイマーボタンが点灯していませんか？ ● 後面部のMAINスイッチが「OFF」になっていませんか？ 	— 10,67-69 10 12
	電源が入っているのに動かない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ロックインジケータが点灯していませんか？ ● 電源ボタンが点滅していませんか？ 点滅中は、操作を受け付けません。 ● 安全装置が働いている可能性があります。後面部のRESETボタンをボールペンなどで押してから、電源を入れ直してください。 	10,67-69 10 12,67
	モニターに映像が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターやカメラが正しく接続されていますか？ ● 選択されたカメラ番号にカメラ信号が入力されていますか？ 9分割表示にして、確認してください。 	21 31
	モニターの映像が不鮮明である。	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続コードの接続不良はありませんか？ ● カメラのピントは正しく調整されていますか？ 	— —
記録	記録ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「HDDリピート記録」の設定が、「切」になっていませんか？ ● 記録は、設定した記録間隔の時間が経過したあとに始まりません。設定した記録間隔時間以内に、停止させませんでしたか？ ● プリアラームインジケータが点灯していませんか？ 	44 17,18 10
	記録を停止することができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ロックインジケータが点灯していませんか？ ● 通常記録、アラーム記録、エマージェンシー記録の記録中は、記録/停止ボタンを1秒以上連続で押してください。 ● タイマー記録の記録中ではありませんか？ タイマー記録を解除したいときは、もう一度タイマーボタンを1秒以上連続で押してください。 	10,67-69 18 39,40
	リピート記録ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「HDDリピート記録」の設定を、「入」にしていますか？ 	44
	タイマー記録ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 日付・現在時刻は正確に設定しましたか？ ● 記録開始時刻、終了時刻、記録間隔を正しく設定しましたか？ ● 「HDDリピート記録」の設定が、「切」になっていませんか？ 	15,16 39-41 44
	アラーム記録ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● タイマー記録の待機中ではありませんか？ (タイマーボタンが点灯していませんか？) ● 外部のスイッチなどが正しく接続されていますか？ 	10 21
再生	再生ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ロックインジケータが点灯していませんか？ ● データが消去されていませんか？ ● 再生デバイスの選択は合っていますか？ 	10,67-69 49 20,60
	コンパクトフラッシュカードの再生ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● カードが正しく挿入されていますか？ ● 再生デバイスの選択は合っていますか？ ● FSM1 フォーマットの映像データが記録されていますか？ 	13 20,60 103

	Q こんな症状が出たら	A ここをお調べください	P 参照ページ
その他	動き検知機能が働かない。	<ul style="list-style-type: none"> ● <動き検知設定>画面の「設定カメラ選択」で選択されているカメラの「カメラ毎動作設定」が「入」になっていますか？ ● <動き検知設定>画面の「記録開始ドット数」の数値が「検知エリアドット設定」の数値より大きくなっていませんか？ 	34 34,35
	パーソナルコンピュータで制御できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● <RS-232C設定>は正しく設定されていますか？ ● 正しく接続されていますか？ ● 接続コードに接続不良はありませんか？ ● 接続コードは合っていますか？ 	48 72 — 72
	分割表示のときに、青い画面が表示されるカメラ番号がある。	<ul style="list-style-type: none"> ● 運用設定をしても、映像信号の入力がないカメラ番号の画面は、青く表示されます。 	31
	ボタン操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ボタンが点滅していませんか？ 点滅中は、操作を受け付けません。 ● ロックインジケータが点灯していませんか？ 	10 10,67-69
	カメラ番号ボタンでカメラの切り換え操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● メニュー画面が表示されていませんか？ メニュー画面を表示中は、カメラ番号ボタンは使用できません。 	14,30

警告表示とCALL OUT信号の出力

※1 CALL OUT信号の出力について

選択：メニュー画面でCALL OUT信号の出力の入/切が設定できる。

共通：メニュー画面の設定に関わらず、CALL OUT端子からCALL OUT信号を出力する。

なし：CALL OUT信号は出力しないが、画面上に警告表示をする。

➡ CALL OUT信号の出力は、警告消去ボタンを押すことによりとめることができます。

警告表示	表示の意味	対 処	警告表示の解除方法	コード	CALL OUT信号の出力※1	参照ページ
記録フル	HDDの記録容量が無くなった。	・警告を解除することにより、最も古い記録の部分から上書き記録に移行する。 ・必要に応じコピーを行う。	警告消去ボタンを押す。	WNG1100	選択	48
コピー/フル リストア/フル	メディアの記録容量が無くなった。	・新しいメディアと交換する。 ・必要に応じメディアを交換する。	警告消去ボタンを押す。	WNG3100 WNG4100	なし	13
記録/残量警告	HDDの残量が設定したHDDの残量発報の値になった。	・必要に応じ、コピーを行う。	警告消去ボタンを押す。	WNG1200	選択	47
コピー/サイズエラー リストア/サイズエラー	コンパクトフラッシュへコピーするときに、データがコンパクトフラッシュの記録容量を上回っている。または、コピー元のデータがない。フォーマット違いのコンパクトフラッシュをリストアした。	・コピー/リストアする範囲を再設定する。 ・新しいメディアと交換する。	警告消去ボタンを押す。	WNG3701 WNG4701	なし	65
コピー/メディアエラー リストア/メディアエラー	コンパクトフラッシュのメディアに、異常が発生している。	・メディアをチェックする。 (メディアが入っていないときはメディアを挿入する。)	警告消去ボタンを押す。	WNG3702 WNG4702	なし	65
コピー/メディア無し リストア/メディア無し	コンパクトフラッシュのメディアが挿入されていない。	・メディアを挿入する。	警告消去ボタンを押す。	WNG3703 WNG4703	なし	13
映像信号無し (○○○○○○) ○：映像信号のない カメラ番号を表示	記録中に、映像信号が5秒以上継続して欠落した。	・本機とカメラが正しく接続されているか、電源が入っているか確認する。 ・カメラから所定の映像信号が出力されているか確認する。 ・映像信号の入力がないカメラを運用設定していないか確認する。	記録を停止させる。 映像信号を出力させる。 警告消去ボタンを押す。	WNG5400	共通	21 31 17,18 37,38 41
データ改ざんエラー (○○○)○：カメラ番号	映像改変が行われた映像データを再生した。	—	警告消去ボタンを押す。	WNG5500	設定「入」 のとき共通	44
再立上げ実行 再生/動作異常 記録/動作異常 コピー/動作異常 リストア/動作異常	システムに異常が発生した。	・再起動する。 ・HDD/メディアを確認をする。	警告消去ボタンを押す。	WNG5100 WNG24□□ ※2 WNG14□□ ※2 WNG34□□ ※2 WNG44□□ ※2	共通	—
記録/動作エラー コピー/動作エラー リストア/動作エラー	HDD/メディアのデータの読み書きで障害が発生している。	・HDD/メディアを確認をする。	警告消去ボタンを押す。	WNG13□□ ※2 WNG33□□ ※2 WNG43□□ ※2	なし	—
<デバイス異常>	HDDが認識できなくなった。	・再起動する。	電源を切る。	WNG62□□ ※2	共通	49
高温検知	許容範囲の高温環境下で発行する。	・電源を切り、設置状態を変える。	警告消去ボタンを押す。 温度を下げる。	WNG5200	共通	—
高温停止	異常高温環境下で強制電源OFF後、再起動時に発行する。	・設置状態を確認する。	警告消去ボタンを押す。	WNG5201	共通	—
ファン停止	ファンが停止した。	・電源を切り、使用を中止する。 ・修理を依頼する。	警告消去ボタンを押す。 ファンを回転させる。	WNG5300	共通	—

※2 □□

00：マスター

11：CFC

用語集／設定カメラ数・記録間隔設定と記録動作の関係

■ 用語集

I/O端子

入力(input)と出力(output)を合わせて呼ぶ言葉です。

RS-232C

パソコンとモデムなどの機器でデータをやり取りするのに用いる接続規格。パソコンとモデムを接続するときの基準となっています。規格上の通信速度の上限は115.2kdpsで、最大転送距離は、15mです。規格では、コネクタピン役割や物理特性などが定めてあるだけで、コネクタ形状には25ピンのD-subなどいくつかの種類があります。

コピー

データの一部を外部記録メディアに複写することです。なお、本機では連続している映像の中から異常発生時の前後の映像データだけを外部に持ち出して分析するために、コンパクトフラッシュカードやビデオなどに複写することをいいます。

コンパクトフラッシュカード(CFC)

小型メモリー・カードの規格の1つです。丈夫で取扱いが簡単といったメリットがあります。

ハードディスクドライブ(HDD)

テープと同じ磁気記録による記録装置で、パソコンの記録装置として使われます。記録媒体として表面に磁性体を塗布したアルミの円盤が使用されており、非接触で記録・再生を行なうため、ヘッドの摩耗などありません。さらにデータはセクタと呼ばれる番地付きの区切りの中に記録されますので、検索が早いのも特徴です。

メディア

もともとは情報を伝達する媒体のことをいいます。ハードディスクやDVD・RAM、MOディスク、磁気テープなどデータを記録しておく媒体を指すことが多く、記録媒体ともいいます。メディアはデータの記録方式により、光ディスク、光磁気ディスク、磁気ディスクなどに大きく分類されます。

容量

メモリーやディスクなどの記録装置に収納できるデータ量のこと、単位はB(バイト)です。

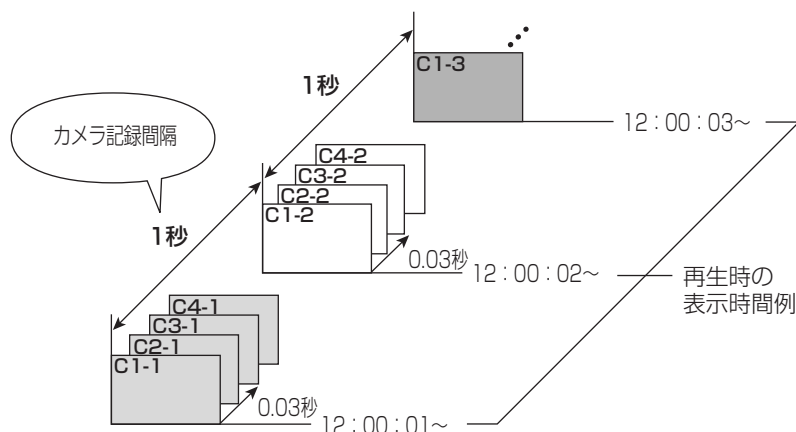
リストア

外部記録装置などにバックアップしておいたデータを、デジタルレコーダーの内蔵ハードディスクに複写して戻すことをいいます。

■ 設定カメラ数・記録間隔設定と記録動作の関係

本機での映像の取り込み(記録)は、下図のようなタイミングで行われます。

映像は、カメラ台数×記録間隔の時間ごとに、設定された全カメラから連続して(通常記録で0.03秒間隔)取り込まれます。



索引

数字/記号

1画シーケンシャル	30,31
1画表示	30,31
4分割シーケンシャル	30,31
4分割表示位置	32
9分割表示位置	32
Ⓜ	45

A

ALARM IN端子	12
ALM画質	17,41
ALM間隔	17,41

C

CALL OUT	
CALL OUT GND端子	12
CALL OUT設定	47
CAMERA IN端子	12
CAMERA OUT端子	12
CCTVカメラとの接続	21
CFC(コンパクトフラッシュカード)	19
CFCからメニュー設定を 読み出し・設定変更	51
CFCデータ消去	50
CFCへメニュー設定をコピー	51
CLOCK ADJ端子	12
CR/CR・LF	48

D

DC 5V OUT端子	12
-------------	----

E

EMERGENCY端子	12
-------------	----

G

GND端子	12
-------	----

H

HDDからコンパクトフラッシュ カードにコピーする	65
HDDデータ消去	50
HDDフル	48
HDDリポート記録	44
HDDリポート再生	44
HDD運用設定	44,45
HDD残量発報	47
HDD使用量	16

I

I/O端子	12,99
I/O端子設定	46-48

M

MAINスイッチ	12
MICジャック	12
MODE OUT1~4	46
MODE OUT(1~4)端子	12

R

REC端子	12
RESERVED端子	12
RESETボタン	12,67
RS-232Cケーブル	72
RS-232C運用	48
RS-232C設定	48
RS-232C端子	12

RS-232C端子について	72
---------------	----

S

S(Y/C)OUT端子	12
-------------	----

V

VIDEO OUT端子	12
-------------	----

ア

アクセスインジケータ	10
アナログ出力端子	11
アフターサービス	裏表紙
アラームCH	37
アラームインデックスサーチ	61
アラーム記録の記録運用設定 A~D(タイマー記録)	41
アラーム記録に関する設定 (マニュアル記録)	37,38
アラームディスプレイ	70
アラームプラスCH	37
アラームホールドボタン	11
アラームリストサーチ	62,63
アラーム記録の接続方法	21
アラーム記録時間(タイマー記録)	42
アラーム記録時間(マニュアル記録)	38
アラーム記録時のカメラ選択項目	37
アラーム記録番号	16

イ

一時停止ボタン	11
移動ボタン	14,30
インデックス数の数えかた	61

ウ

動き検知インジケータ	10
動き検知設定	34-36
動き検知の注意事項	36
運用時間	49
運用例	52-55

エ

映像出力端子	11
エマージェンシーインジケータ	10
エマージェンシー記録	48,56
エラーコード	74

オ

オールCH	37
音声記録設定	45
音声出力端子	11

カ

開始点サーチ	64
外部記録機器との接続	22,66
変更確認再生	44
拡大ボタン	10
拡大ボタンの動作	14,30
拡大ボタンの動作表	31
拡大中心点(X)	30
カメラタイトル・メモ設定	29
カメラ切換再生	45
カメラ選択	60
カメラ番号ボタン	10
カメラ番号ボタンの動作	14,30
カメラ番号ボタンの動作表	31
カメラ表示設定	28

カメラ毎動作設定	34
画面表示位置	28
画面表示形式	28
簡易ロック	67
感度	35

キ

擬似操作パネルコマンド形式	74
基本設定・情報表示	44-50
基本的なサーチのしかた	19,20
基本的なマニュアル記録の しかた	17,18
基本的な再生のしかた	19
逆再生	58
逆再生ボタン	11
記録(アラーム記録)	38,42
記録(エマージェンシー記録)	48,56
記録(タイマー記録)	39-43
記録(マニュアル記録)	17,18,37,38
記録/停止ボタン	10
記録インデックスサーチ	61
記録運用設定(マニュアル記録)	37,38
記録運用設定A~D(タイマー記録)	41
記録開始ドット	35
記録時間表	94,95

ケ

警告消去ボタン	11
警告表示と CALL OUT信号の出力	98
検知エリアドット設定	34,35

コ

高速早送り/早戻し再生	59
「故障かな」と思う前に	96,97
コピーのしかた	65,66
コピーボタン	11
コピーモード	65
コマンドコード体系	73,74
コマンドコード表	75-91
コマンド受取確認通知機能	74
コマ送り	58
コメントサーチ	92,93
コメントサーチ用コマンドコード	92
コメント記録に使用できる文字	92
コンパクトフラッシュスロット	11
コンパクトフラッシュカードの 挿入・排出方法	13

サ

サーチボタン	11
サーチメニュー	27
サーチ方式	60
サーチ方式設定	60
再生	19
再生(いろいろな速度)	58,59
再生デバイス選択	60
再生ボタン	11
再生間隔の変更	59
再生停止ボタン	11
残量検出位置	47

シ

シーケンス表示	33
時刻表示画面	16
時刻・画面表示設定	28,29

時刻設定	15,16
シャトル	10,14
シャトルホールド	58
シャトルホールドボタン	11
シャトル再生	58
終了点サーチ	64
仕様	103
障害ログリスト	49
状態遷移通知機能	74
情報表示(CFC)	49
情報表示(HDD)	49
情報表示・保守設定	49
初期化(デバイス)	23
初期化(メニュー)	50
ジョグ	10,14
シリーズ記録	56,57

ス

スキップサーチ	62
ストップビット	48
スピーカーマーク	45

セ

制御入出力信号と回路について	102
静止画再生	58
接続線の加工	21
接続のしかた	21
設定カメラ数・記録間隔設定と 記録動作の関係	99
設定カメラ選択	34
設定ボタン	11
設定メニュー	24-26
センサーとの接続	21

タ

タイマーボタン	10
タイマー記録設定	39-43
タイマー休日設定	41
タイマー設定	39,40
タイムデートサーチ	19,20
ダイレクトシャトル再生	58
ダイレクト接続する場合	72
縦置き設置方法	22
縦置き用スタンド	22

チ

直接動作指定コマンド形式	73
--------------	----

ツ

通常・アラーム記録	41
通常画質	17,41
通常間隔	17,41
通常画面に戻るには	15
通信設定	48-49,73

テ

停電復帰記録	67
停電補償回路	67
データビット	48
デバイス初期化	23
電源コード差込口	12
電源ボタン	10
電源切に戻る	23
転送速度	48
転送動作	65

ト

動作テストモード	36
動作モード表示	29

ハ

パーソナルコンピュータとの接続	72
ハードディスクドライブ(HDD)	99
パスワードロック	68,69
パスワードロック解除	68,69
パスワードロック設定	68
パリティ	48
範囲指定	65

ヒ

日付・時刻の合わせかた	15-16
表示カメラ設定	70

フ

フザー	46
付属品	103
ブリアラームインジケーター	10
ブリアラーム記録	56
ブリアラーム記録設定 (タイマー記録)	42
ブリアラーム記録設定 (マニュアル記録)	38
ブリアラーム記録時間表	95
分割/シーケンスボタン	10
分割/シーケンスボタンの動作	14,30
分割/シーケンスボタンの動作表	31
分割表示画質	33

ホ

ボタン音	46
------	----

マ

マスターHDD	49
マニュアル記録設定	17,18,37,38
マルチプレクサ設定	14,30-33

ミ

見積り時間	18
-------	----

メ

メディア	99
メニュークイック設定	51
メニューセーブ	51
メニューロード	51
メニュー画面から通常画面に 戻るには	15
メニュー画面一覧	24-27
メニュー初期化	50

モ

もくじ	3-5
文字コード一覧	91
文字列入力	29
モデムを介して接続する場合	72
モニターとの接続	21

ヨ

用語集	99
容量	99
予約時刻が重なってしまった場合は	43

リ

リストア	99
リストアモード	65
リスト検索時間設定	60
リセットボタン	12,67

レ

レコーダーからビデオテープに コピーする	66
連続記録可能時間表	94

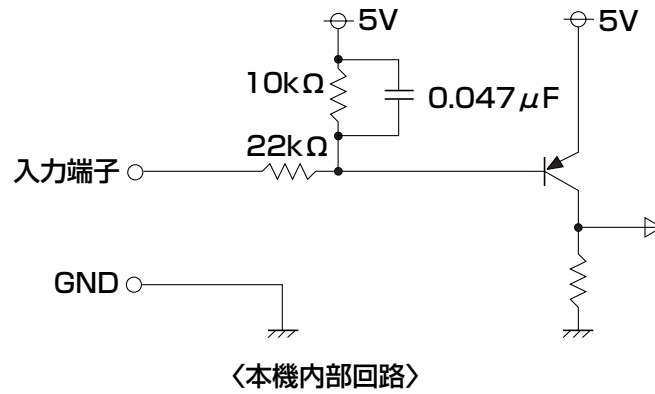
ロ

ロック	67-69
ロックインジケーター	10
ロックボタン	10

制御入出力信号と回路について

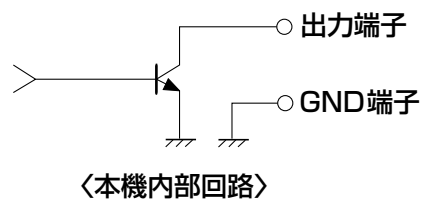
■ EMERGENCY / ALARM IN / REC / CLOCK ADJ入力端子

入力回路



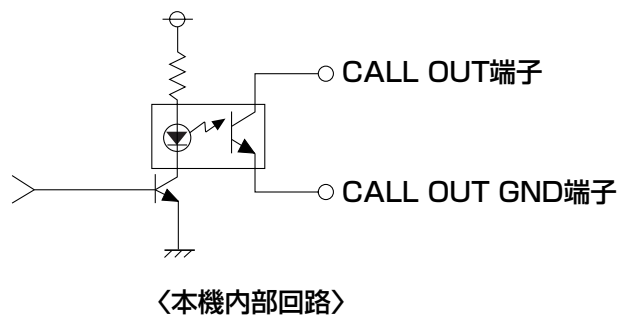
■ MODE OUT1 ~ 4出力端子

出力回路



■ CALL OUT出力端子

出力回路



仕様

一般

電源	AC100V±10% 50/60Hz
定格電流	0.5A
信号方式	NTSC方式
許容周囲温度	5~40°C
許容相対湿度	最大80%
許容高度	2000m以下
外形寸法	横置き：30(幅)×8.8(高さ)×35(奥行)cm 縦置き：15(幅)×32(高さ)×35(奥行)cm (縦置き用スタンド含む)

質量

5.0kg

記録方式

WAVELET方式圧縮によるデジタル記録方式

サンプリング

13.5MHz

データ圧縮方式

WAVELET

映像圧縮単位

フィールド

音声記録方式

PCM方式

処理画素数

684×240

記憶媒体

160GBハードディスクドライブ

入力

9入力BNCコネクター 1.0V(p-p) 75Ω

モニター出力 S(Y/C)コネクター Y(輝度信号)：1.0V(p-p) 75Ω、C(色信号)：0.286V(p-p) 75Ω

モニター出力

BNCコネクター 1.0V(p-p) 75Ω

スルー出力

RCAピン 1.0V(p-p) 75Ω

オーディオ入力

9出力BNCコネクター 1.0V(p-p) 75Ω

オーディオ出力

RCAピン 308mV(rms) 50kΩ

マイク入力

RCAピン 308mV(rms) 1kΩ (2系統)

マイク入力

ミニジャック 0.346mV(rms) 600Ω

時刻精度

±20秒/月以内(電源供給時、常温)

タイマープログラム

プログラム数 完全独立8プログラム×3セット

曜日設定

時間設定 月～日、毎日および任意曜日間設定

時間設定

タイマーONおよびOFF時間設定

バッテリー

バックアップ 約1カ月(フル充電時)

制御端子

ALARM IN アラーム記録開始信号入力 動作時：GND端子に短絡または「L」レベル電圧印加、

非動作時：オープン

CLOCK ADJ

時計正時合わせ入力 同上

REC

記録指令信号入力 同上

EMERGENCY

エマージェンシー記録信号入力 同上

MODE OUT1~4

動作モード信号出力 動作時：「L」レベル電圧出力 最大電流7mA DC、

非動作時：オープン 最大電圧+24V DC

CALL OUT/

ワーニング警報信号(フォトカブラ出力) 動作時：ON状態 最大電流7mA DC、

非動作時：オープン 最大電圧+24V DC

CALL OUT GND

電源ON時：出力 最大電流30mA

DC 5V OUT

DC5V 出力

GND

グラウンド

RS-232C

パーソナルコンピューター接続用、RS-232C規格準拠(D-sub9ピンコネクタ)

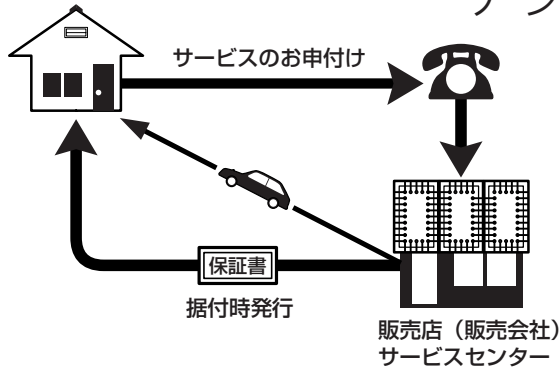
コンパクトフラッシュカードへの記録フォーマット 当社独自フォーマット(FSM1)

仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

付属品

●電源コード	1本
●BNCコード	1本
●縦置き用スタンド	2個
●コンパクトフラッシュスロットカバー	1個
(本体取り付け済み)	
●取扱説明書	1冊
●操作早見表	1冊
●保証書	1通

アフターサービス



デジタルレコーダーを末長くご愛用いただくために、定期点検を受けられることをおすすめします。点検については販売店にご相談ください。

1. 保証書—内容のご確認と保存のお願い

必ず販売店名・保証期間をご確認のうえ、よくお読みになって、大切に保存してください。

2. 保証期間— 1年

正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載事項に基づき販売店で修理いたします(消耗部品を除く)。保証期間内でも原則として有料にさせていただきます場合があります。詳細は、保証書記載事項をごらんください。

3. 修理を依頼される前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、「故障かな」と思う前にの項を点検していただき、なお異常のあるときは保証書をお示しのうえ、販売店にお申し出ください。

4. その他ご不明の点は

販売店にご相談ください。

本機は日本国内専用です。放送方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。

This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

愛情点検

●長年ご使用のデジタルレコーダーの点検をぜひ！

(熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。)



このような
症状は
ありませんか

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、映像が出ない。
- その他の異常・故障がある。

ご使用
中 止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

デジタルレコーダーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

ご購入店などをメモしておく、あとで役に立ちます。

形 名	DX-TL14	お買上げの 販売店	
お買上げ日		(電話番号)	() -



DX-TL14

三菱電機株式会社

京都製作所 〒617-8550 京都府長岡京市馬場園所1番地